

第2章 地域福祉を取り巻く現状と課題

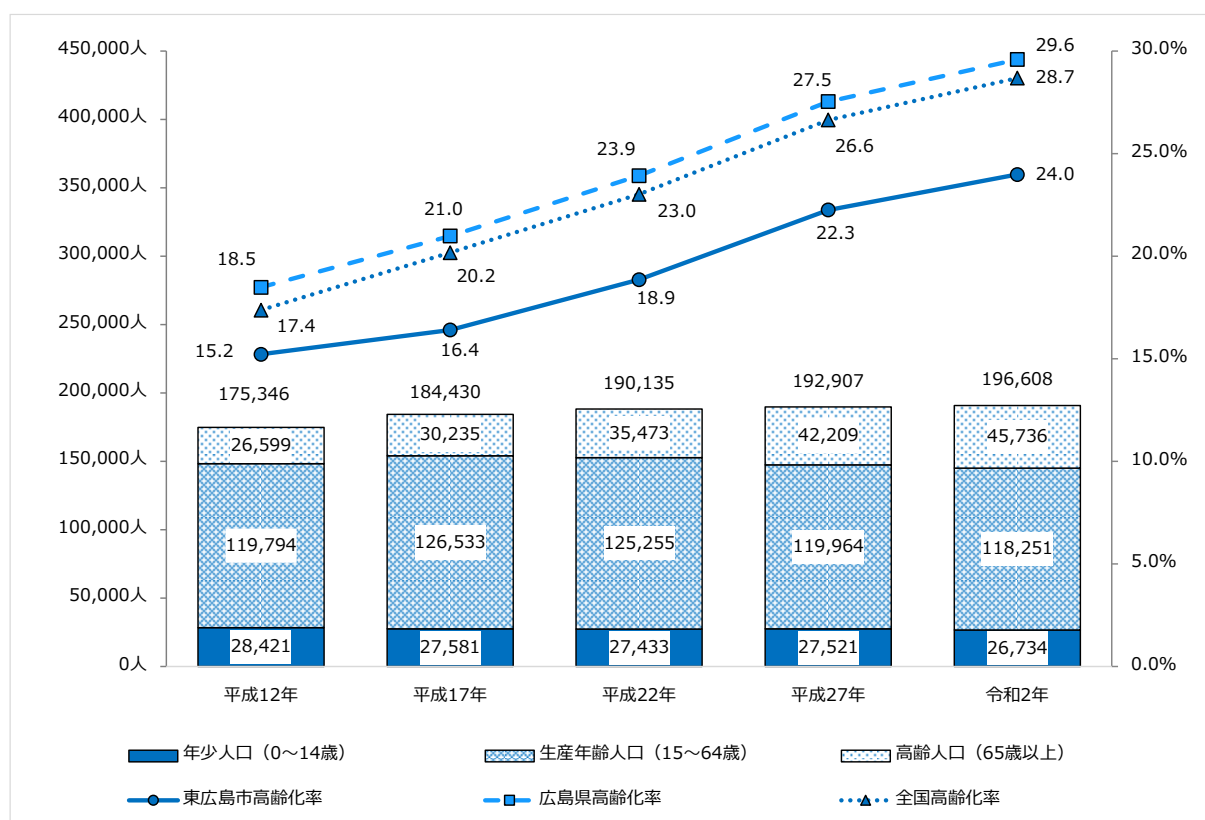
1 本市の状況

(1) 人口・高齢化率等の推移

本市の総人口は増加傾向が続いており、国勢調査によると令和2（2020）年で196,608人となっています。

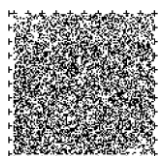
年少人口、生産年齢人口の割合は減少していますが、高齢者人口が占める割合（高齢化率）は増加し、令和2（2020）年で24.0%となっています。広島県（29.6%）、全国（28.7%）に比べると低い割合となっています。

■人口・高齢化率の推移■

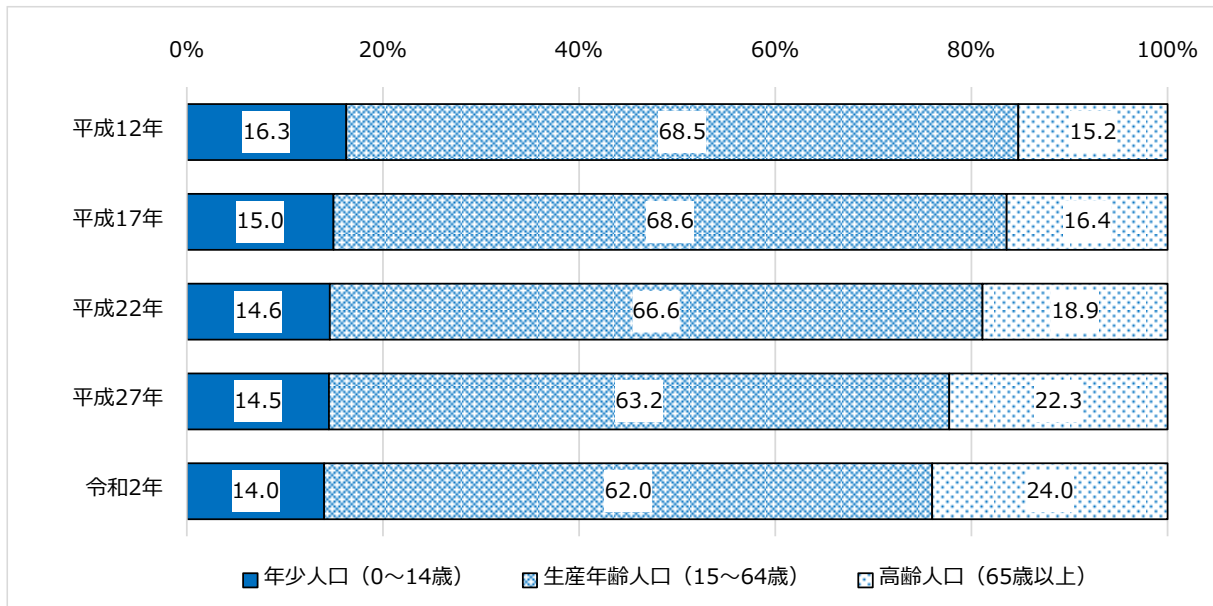


資料: 国勢調査

※各階層の人口の計は、年齢不詳の人がいるため各階層の合計と一致しない。



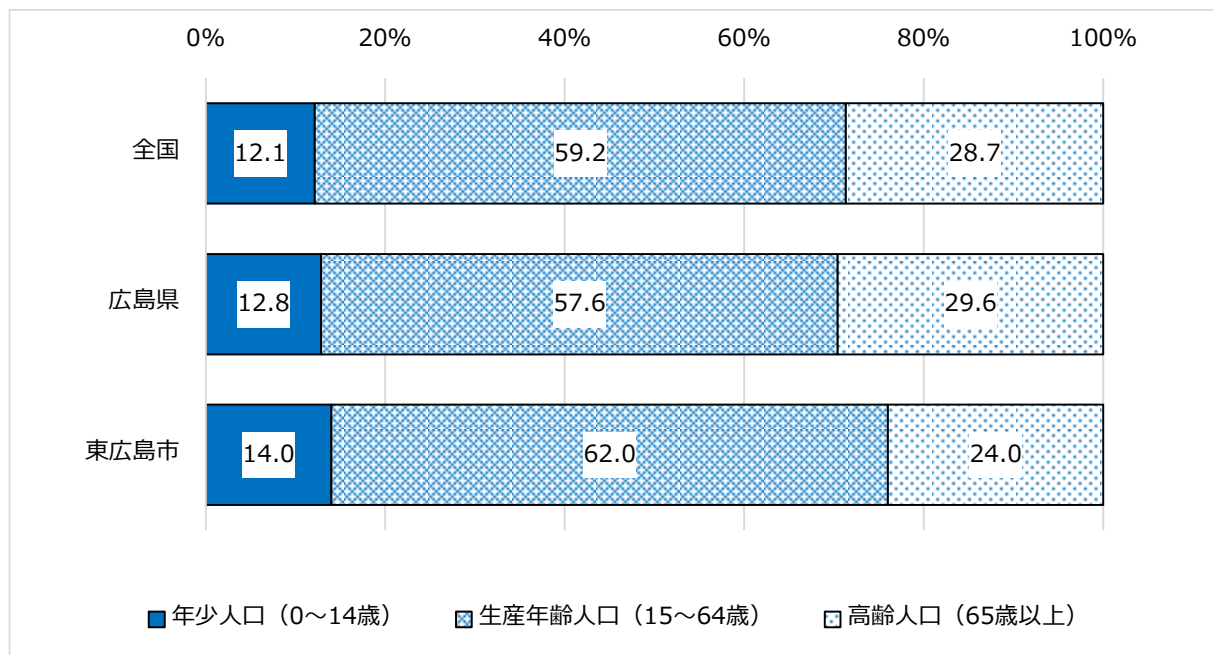
■ 年齢3区分人口の推移 ■



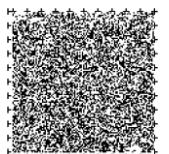
資料: 国勢調査

※各階層割合は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

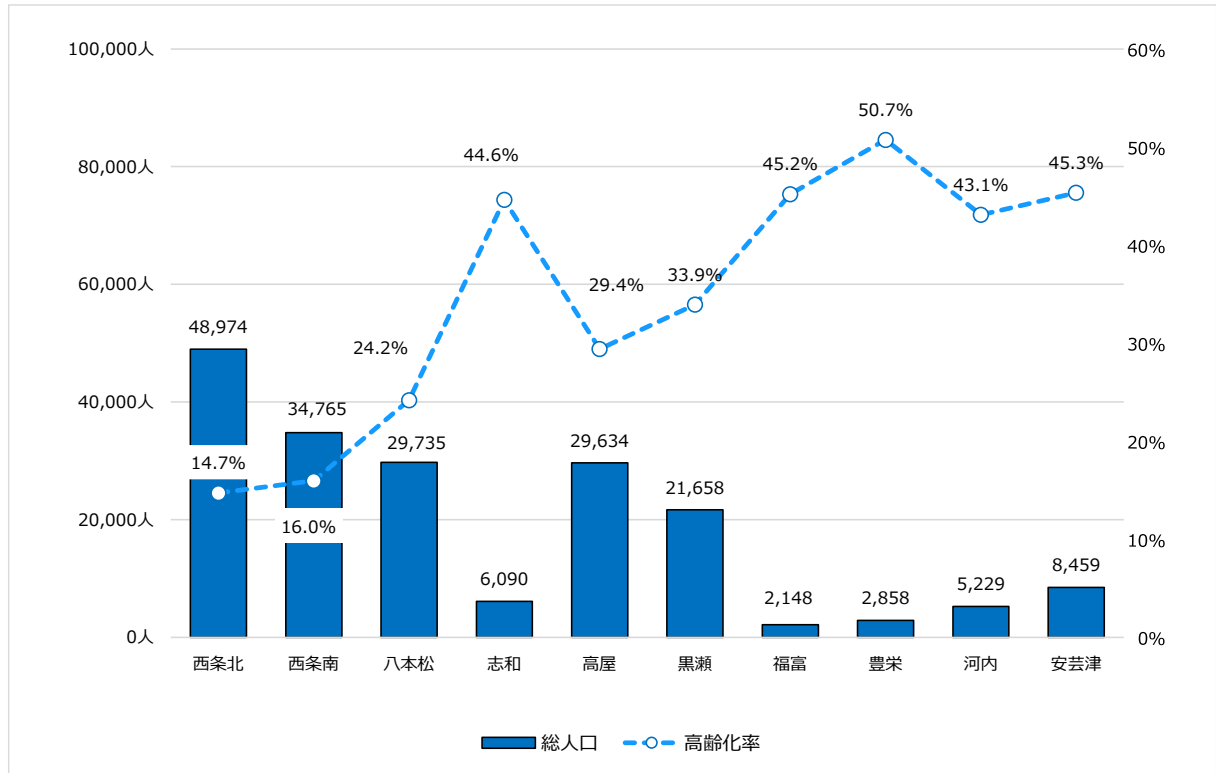
■ 年齢3区分人口の国、県との比較 ■



資料: 国勢調査 (令和2年)

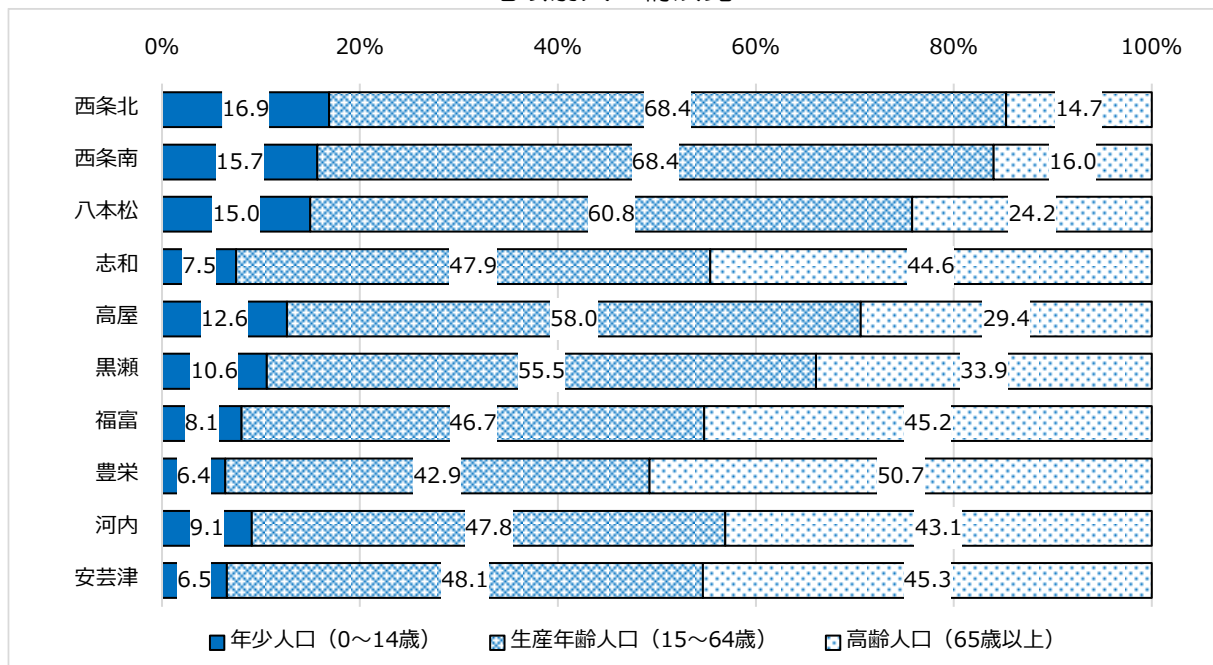


■地域別人口■



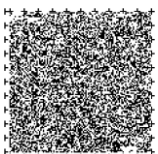
資料：住民基本台帳（令和6（2024）年3月末日現在）

■地域別人口構成比■



資料：住民基本台帳（令和6（2024）年3月末日現在）

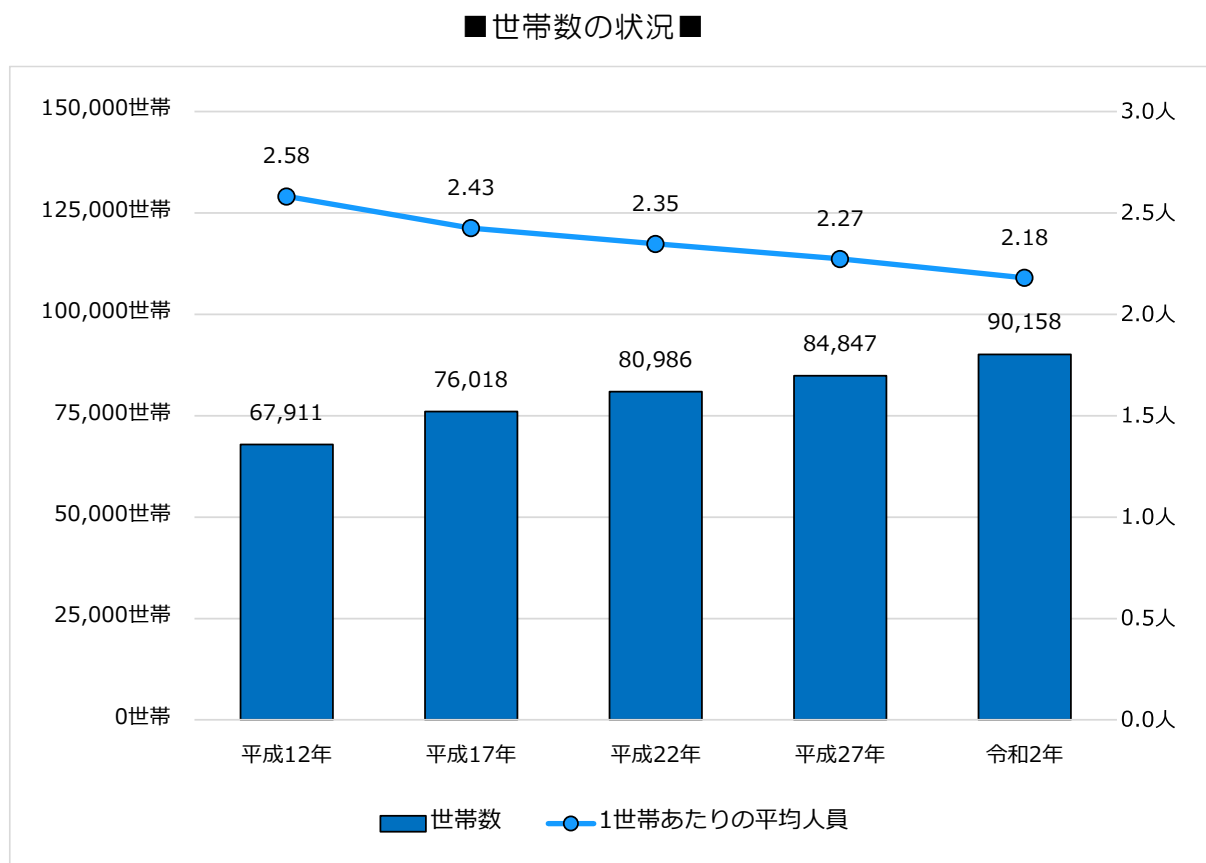
※各階層割合は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。



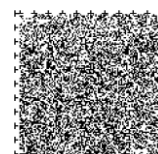
(2) 世帯の状況

本市の世帯数は増加しており、令和2(2020)年で90,158世帯となっています。世帯人員は減少傾向にあり、令和2(2020)年で2.18人となっており、広島県(2.26人)、全国(2.25人)をやや下回っています。

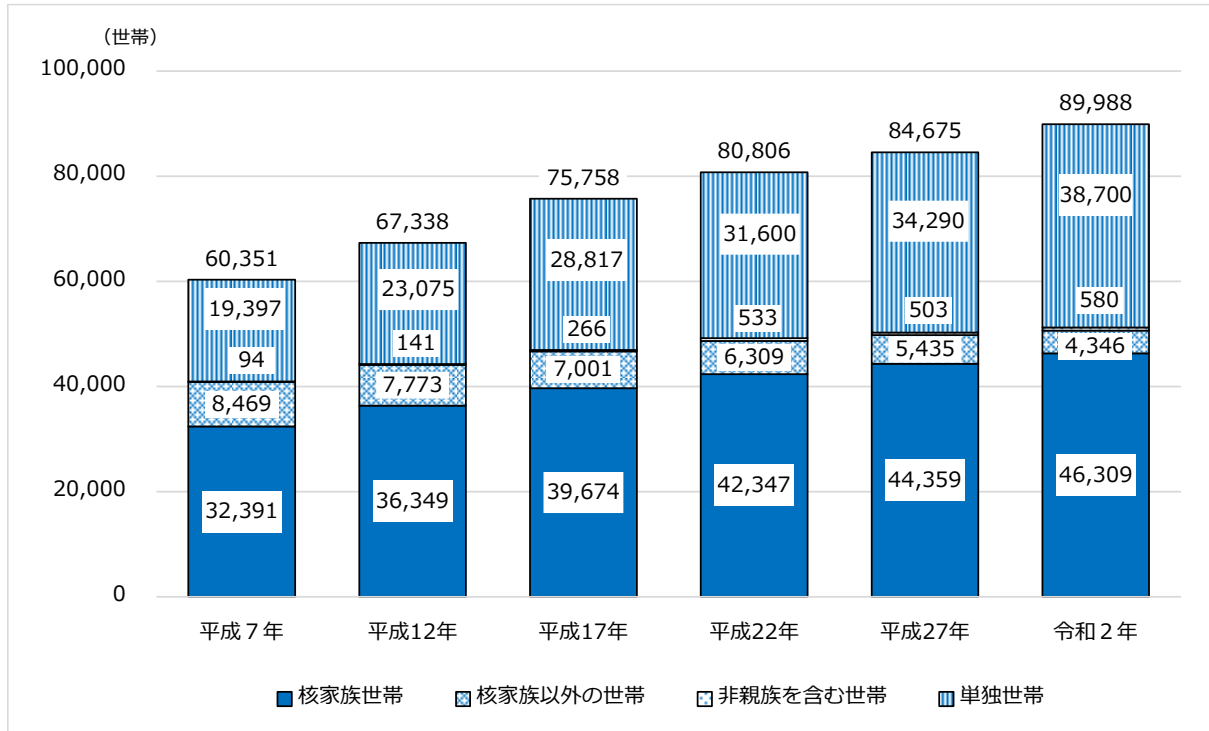
世帯の類型については、核家族世帯がもっとも多くなっていますが、単独世帯の割合が上昇してきています。



資料：国勢調査



■ 家族類型別一般世帯数の推移 ■



資料：国勢調査
※総数は、世帯類型不明を含む

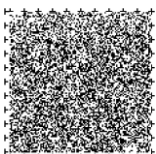
■ 地区別の総世帯数に占める年代別単独世帯の割合 ■

単位：％

	西条	八本松	志和	高屋	黒瀬	福富	豊栄	河内	安芸津
10代	1.2	0.6	0.4	0.5	0.6	0.2	0.2	0.0	0.2
20代	15.8	9.0	6.5	4.4	5.6	2.9	3.6	1.3	2.9
30代	8.0	5.4	3.7	2.6	3.5	1.9	1.9	2.0	3.5
40代	6.2	4.8	3.3	2.5	3.7	1.6	2.5	2.2	2.6
50代	5.9	5.8	4.0	3.6	5.4	4.3	3.5	4.6	4.3
60代	3.6	4.0	4.4	3.8	4.7	6.2	5.6	6.2	5.8
70代	3.6	5.4	8.0	5.5	7.3	7.4	9.3	9.1	8.3
80代	3.0	5.0	8.4	4.8	6.1	8.1	10.3	9.7	9.2
90代	1.3	1.7	4.4	2.2	2.6	5.7	6.8	5.2	4.7
100歳以上	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3

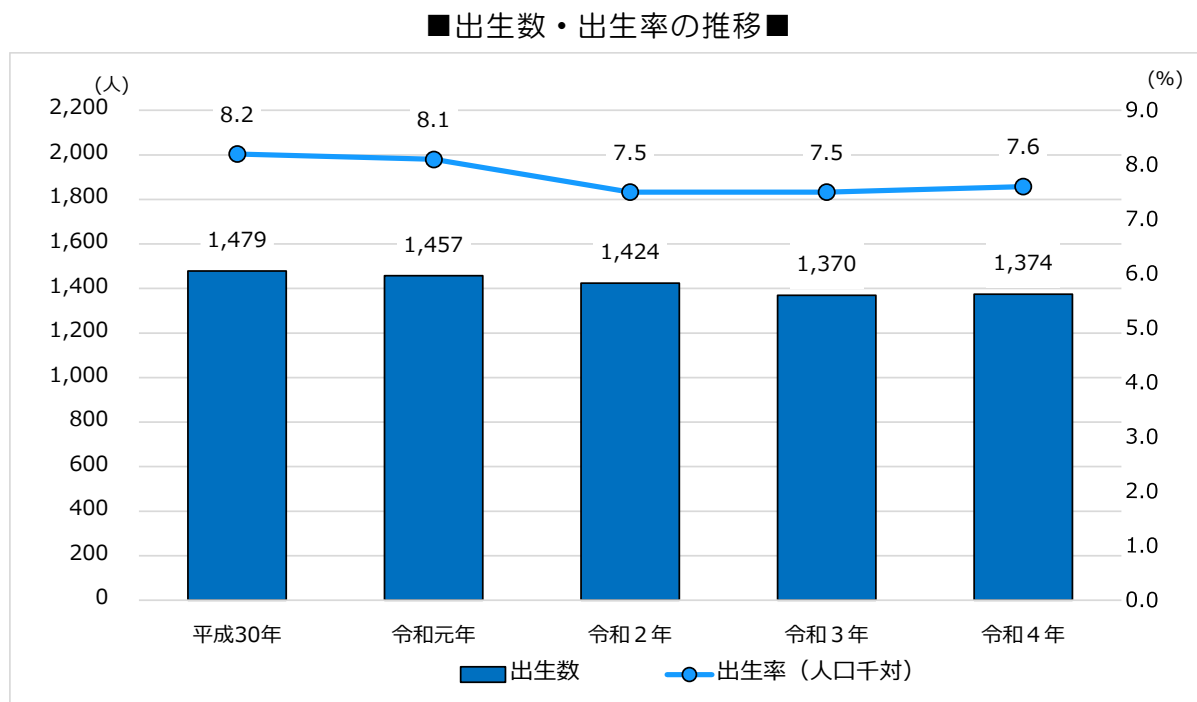
資料：東広島市（令和 6（2024）年 3 月末日）

地区別に総世帯数に占める年代別単独世帯の割合をみると、西条では、20 代の単独世帯の割合が 15%を超えており、一方で豊栄、河内では、70 代、80 代、志和、安芸津では、80 代の単独世帯の割合が高い傾向にあります。

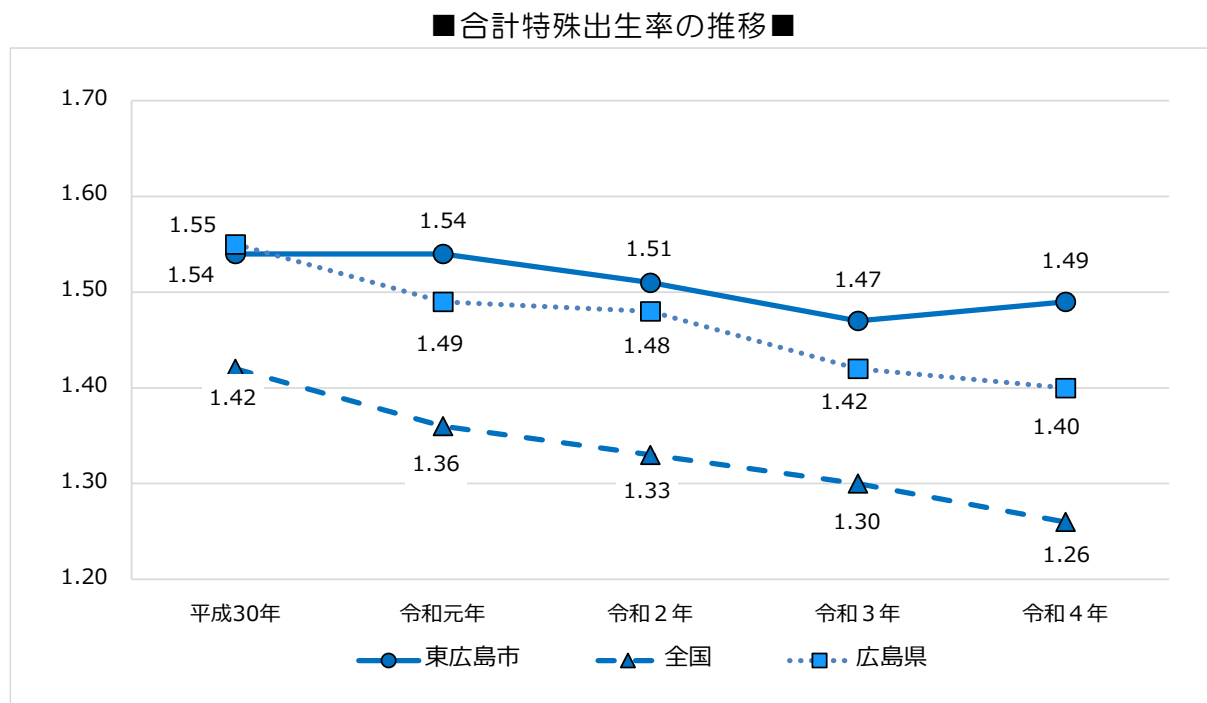


(3) 出生数・合計特殊出生率の推移

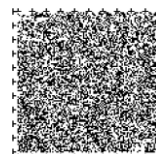
本市の出生数及び合計特殊出生率は減少傾向にありましたが、令和4（2022）年は増加しています。



資料：人口動態統計調査

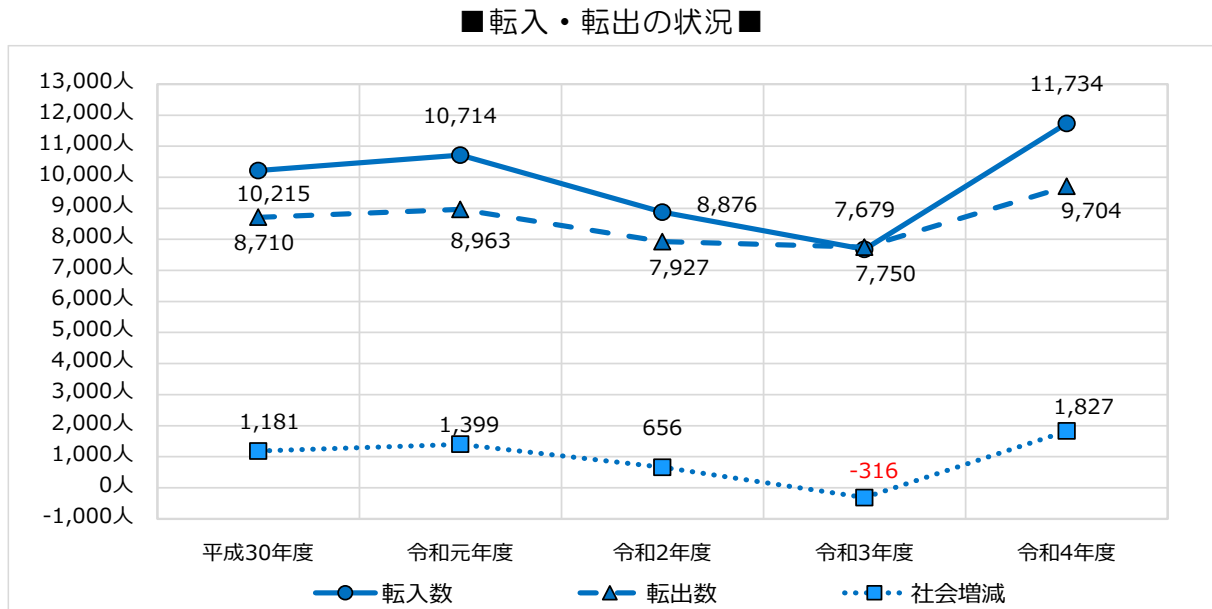


資料：こども家庭課



(4) 転入・転出の状況

転入数は、令和元（2019）年度から令和3（2021）年度まで減少傾向となっていましたが、令和4（2022）年度には11,734人と転入数が増加し、再び社会増に転じました。

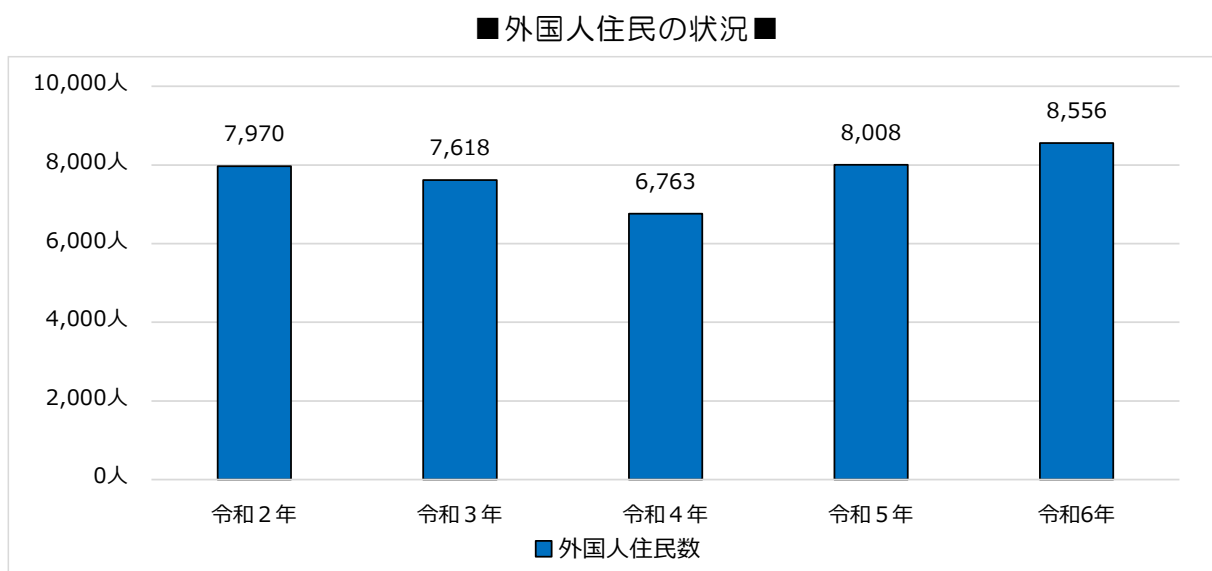


資料：統計でみる東広島（住民基本台帳）

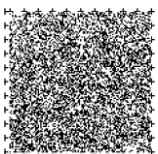
(5) 外国人住民の状況

本市の外国人住民数は、令和2（2020）年以降減少傾向にありましたが、令和5（2023）年に増加に転じ、令和6（2024）年には8,500人を上回っています。

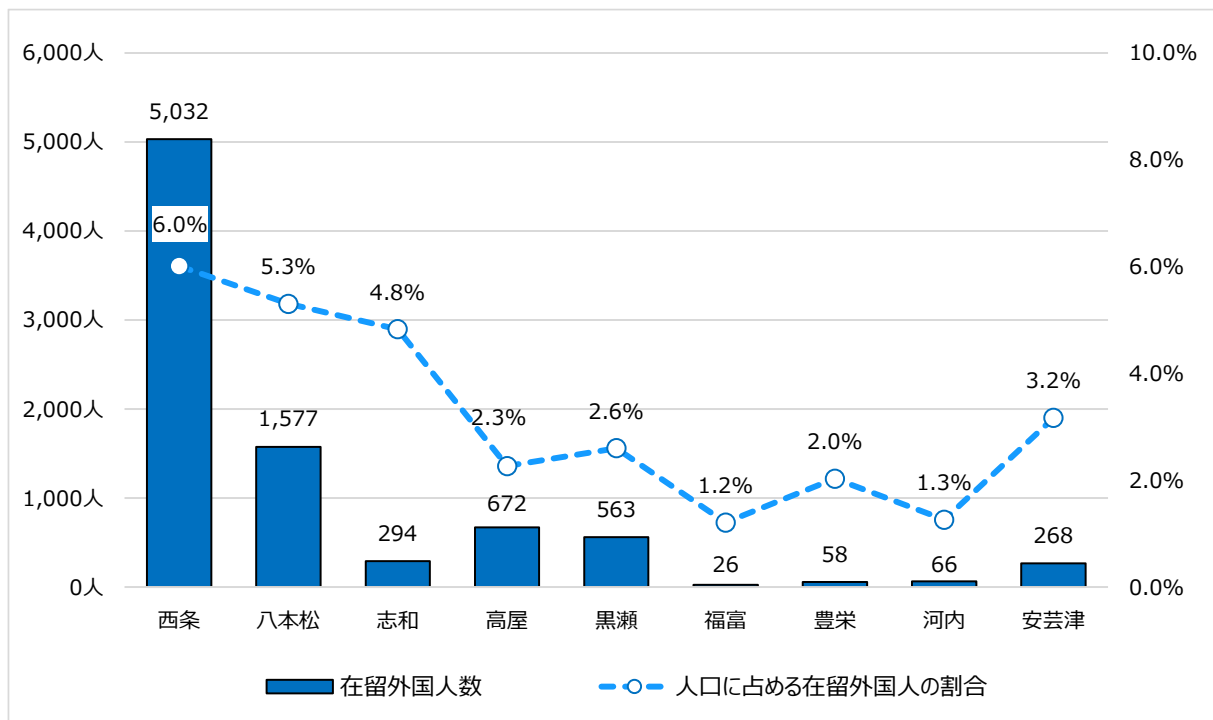
地区別では、西条町に全外国人の58.8%の人が暮らしています。



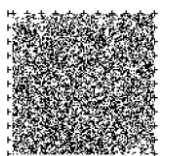
資料：住民基本台帳（各年3月末日）



■地区別の外国人住民数■



資料:住民基本台帳（令和6（2024）年3月末日）

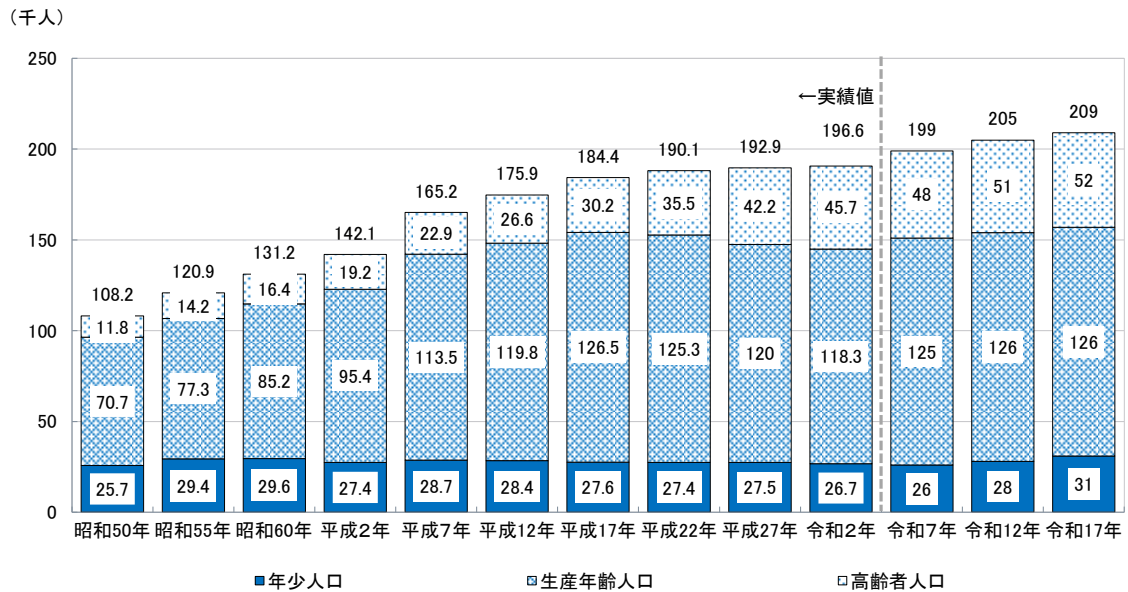


(6) 将来人口推計

本市はこれまで一貫して人口増加が続いてきましたが、わが国全体で少子高齢社会が進展する中、増加基調は維持しているものの、その増加は緩やかなものとなりつつあります。

こうした状況の中、本市の人口は長期的には減少傾向に向かうと考えられるものの、新たな施策の展開によるまちづくりへの効果とともに、近年大きく増加傾向にある外国人市民の影響等を考慮し、今後も緩やかな増加で推移するものと考えられます。

■本市の将来人口■



資料：国勢調査(令和2(2020)年まで)

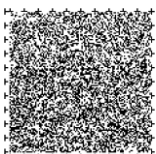
※平成12(2000)年までは東広島市、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町を合計した値

※令和7(2025)年以降は東広島市の独自推計

※年齢層別の人口(実績値)には、年齢不詳の人口を含みません。

※端数処理の関係から、年齢層別の人口(実績値)は総数と一致しない場合があります。

※推計人口は、千人単位となるよう端数処理を行っています。

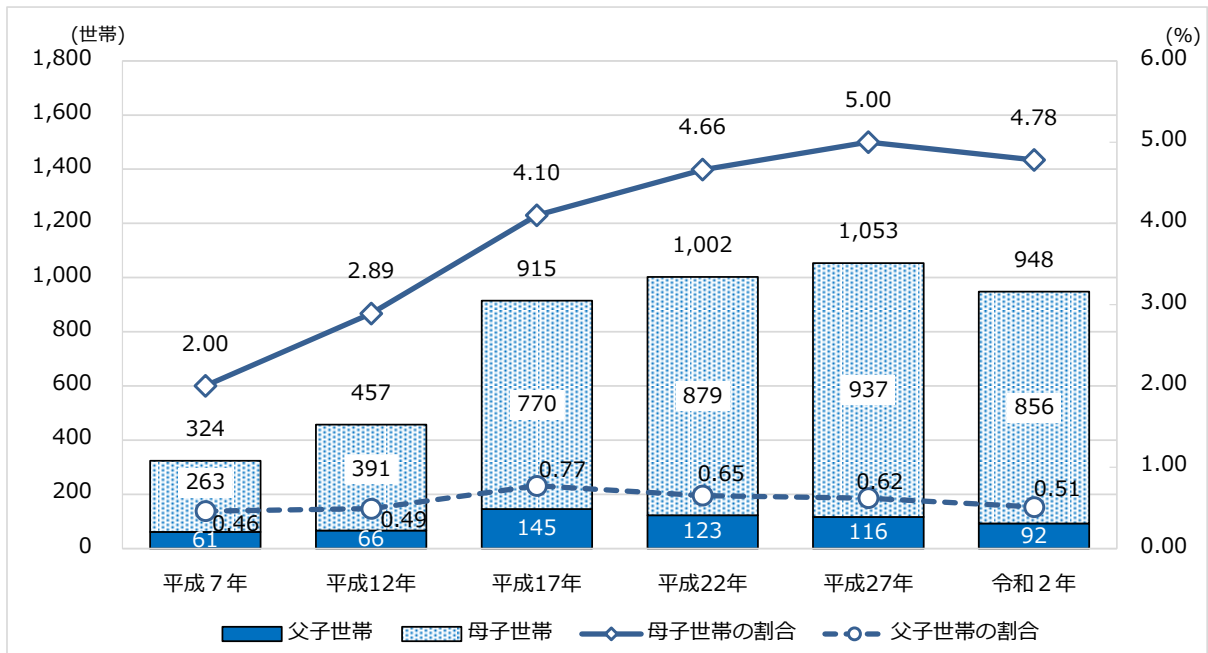


(7) こどもを取り巻く状況

18歳未満のいるひとり親世帯数は増加を続けています。

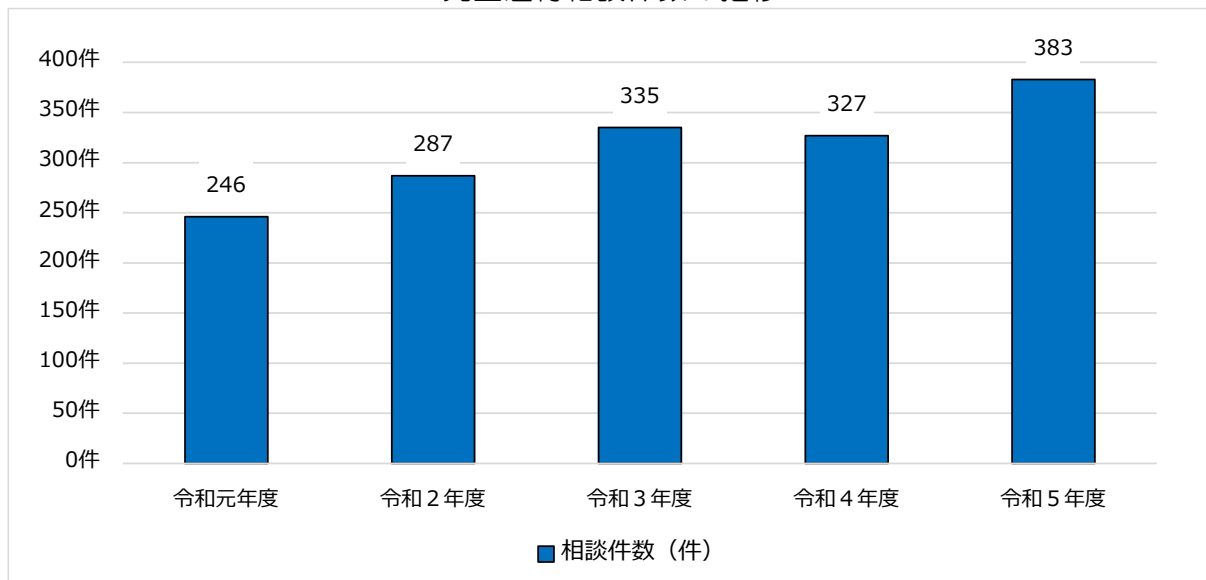
児童虐待相談件数は、令和元（2019）年度から令和3（2021）年度にかけて増加し、令和4（2022）年度は微減となりましたが、令和5（2023）年度は再び増加しています。

■ 18歳未満のいるひとり親世帯数と18歳未満のいる一般世帯総数に対する割合 ■



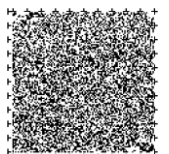
資料：国勢調査

■ 児童虐待相談件数の推移 ■



資料：要保護児童対策地域協議会（各年度3月末）

※児童虐待：保護者が監護する児童の心や身体に加えられる有害な行為

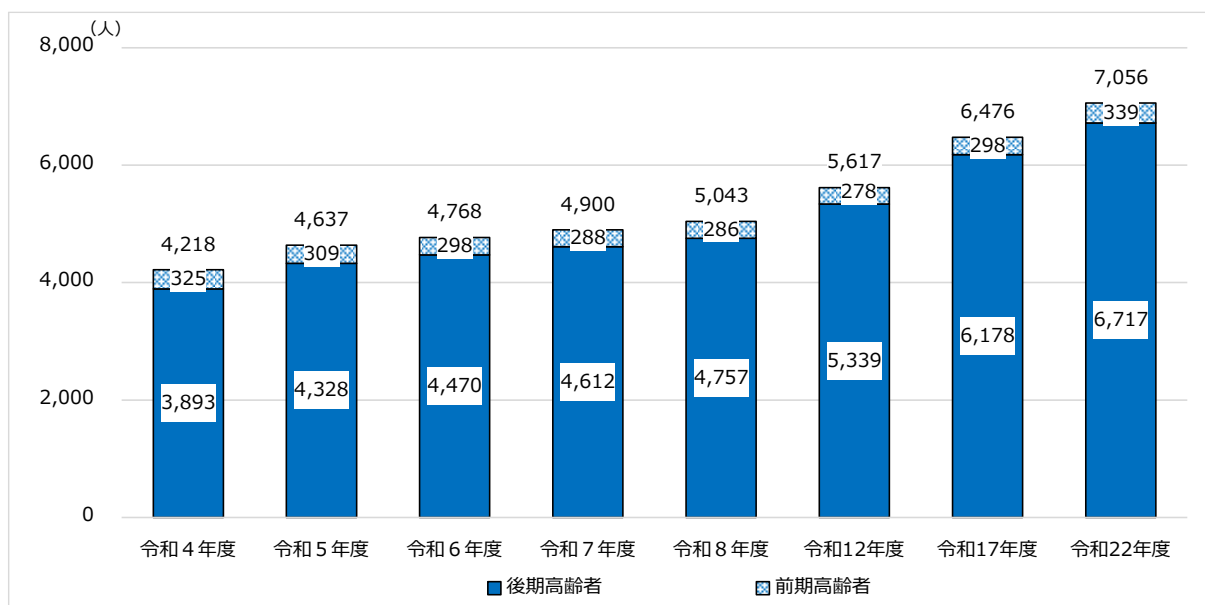


(8) 高齢者を取り巻く状況

認知症高齢者数（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の高齢者）は、高齢者の増加に伴い、今後増加することが見込まれ、令和8（2026）年度には5,000人を上回る見込みとなっています。

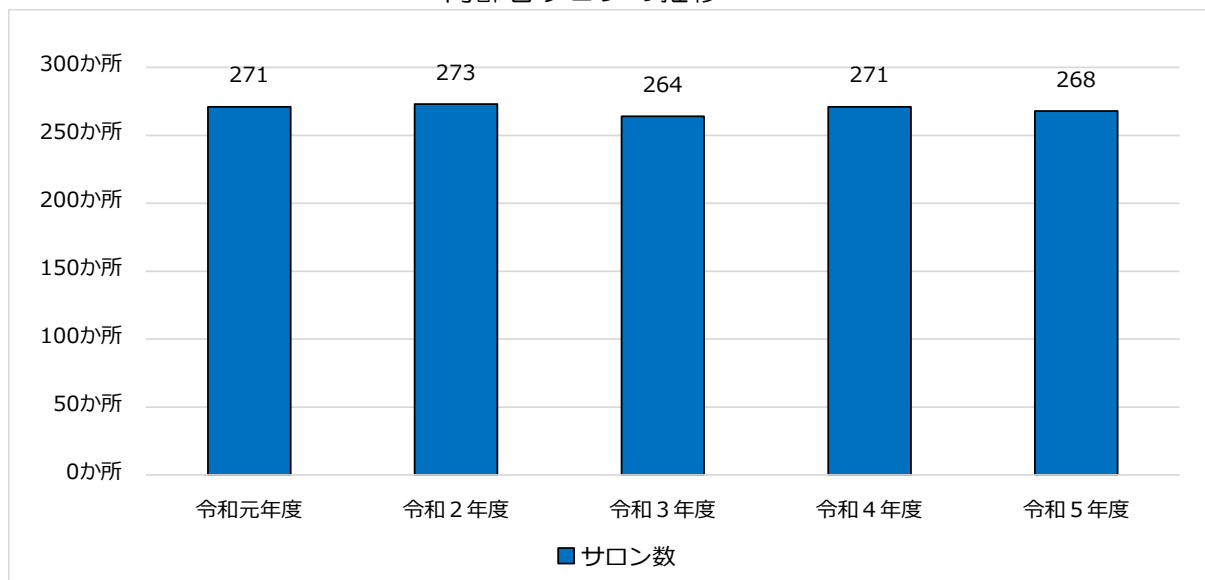
高齢者サロンは、令和元（2019）年度以降、270か所前後で推移しています。

■ 認知症高齢者数の推移 ■

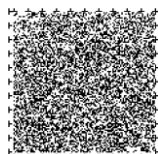


資料：東広島市介護保険台帳（令和5（2023）年3月末）及びそれに基づく推計

■ 高齢者サロンの推移 ■



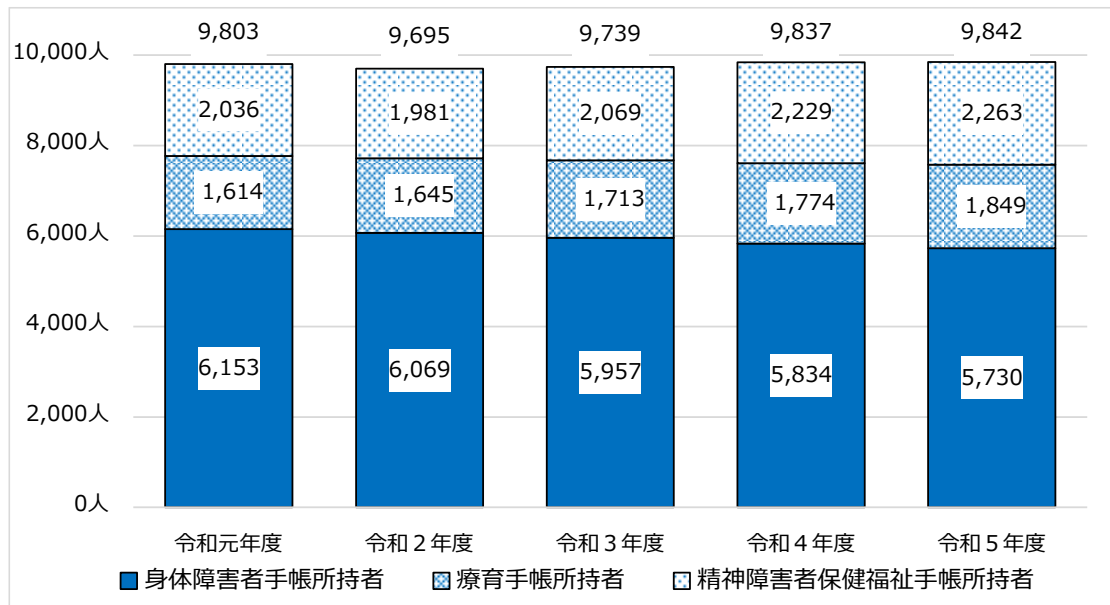
資料：東広島市社会福祉協議会



(9) 障がい者の状況

本市の障害者手帳所持者数は、長期的には増加で推移しており、令和5（2023）年は9,842人となっています。身体障害者手帳所持者は減少していますが、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者数は、増加しています。

■ 障害者手帳所持者数の推移 ■

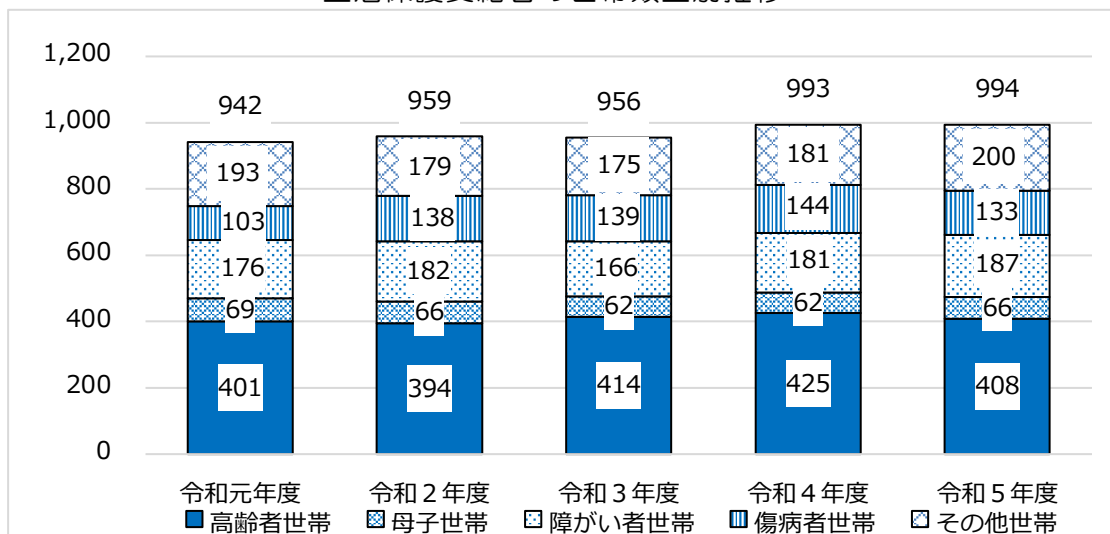


資料：障がい福祉課

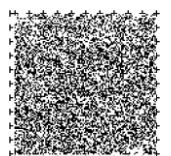
(10) 生活保護受給者の世帯類型別の状況

生活保護世帯数は、微増傾向にあり、世帯類型別にみると、年度により増減はあるものの、令和5（2023）年度は令和元（2019）年度に比べて、障がい者世帯、傷病者世帯が増加傾向にあります。

■ 生活保護受給者の世帯類型別推移 ■



資料：生活福祉課

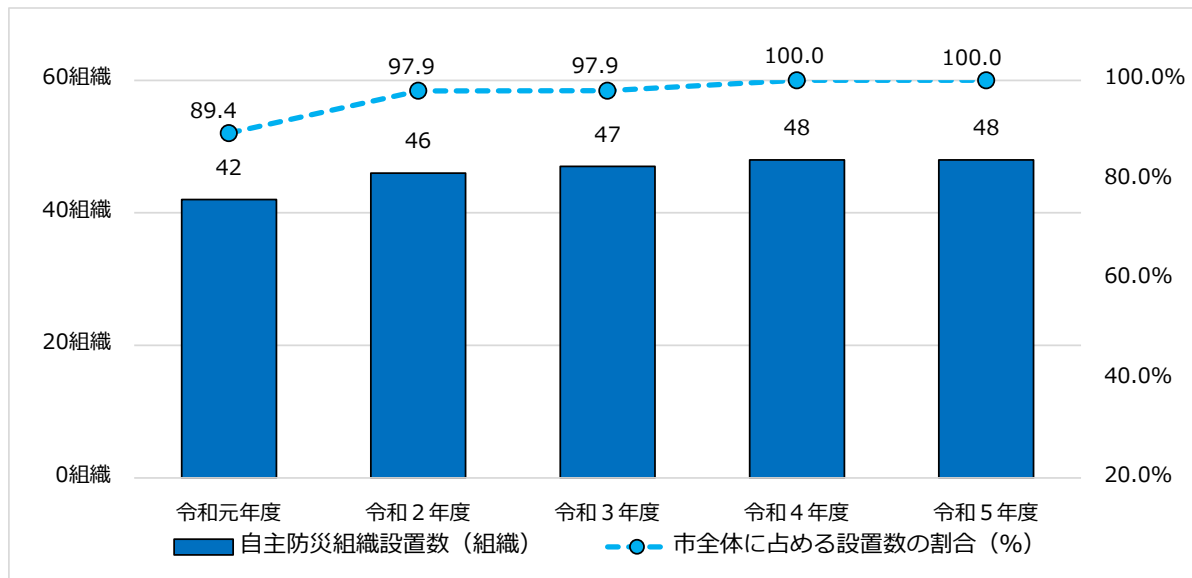


(11) 防災に関する状況

① 自主防災組織の状況

住民自治協議会における自主防災組織の設置状況は、令和4（2022）年度には設置割合が100%となっています。

■ 自主防災組織数の推移 ■

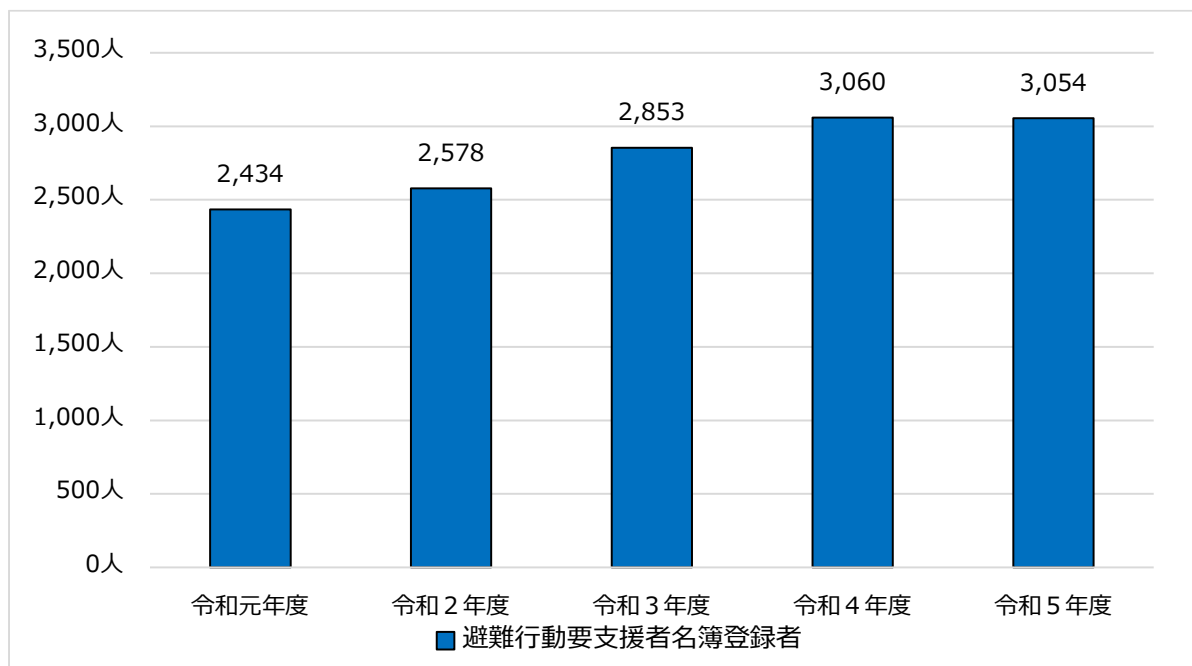


資料：危機管理課

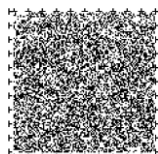
② 避難行動要支援者名簿登録者の状況

避難行動要支援者名簿登録者数は、増加傾向にあり、令和4（2022）年度以降、3,000人を上回っています。

■ 避難行動要支援者名簿登録者数の推移 ■



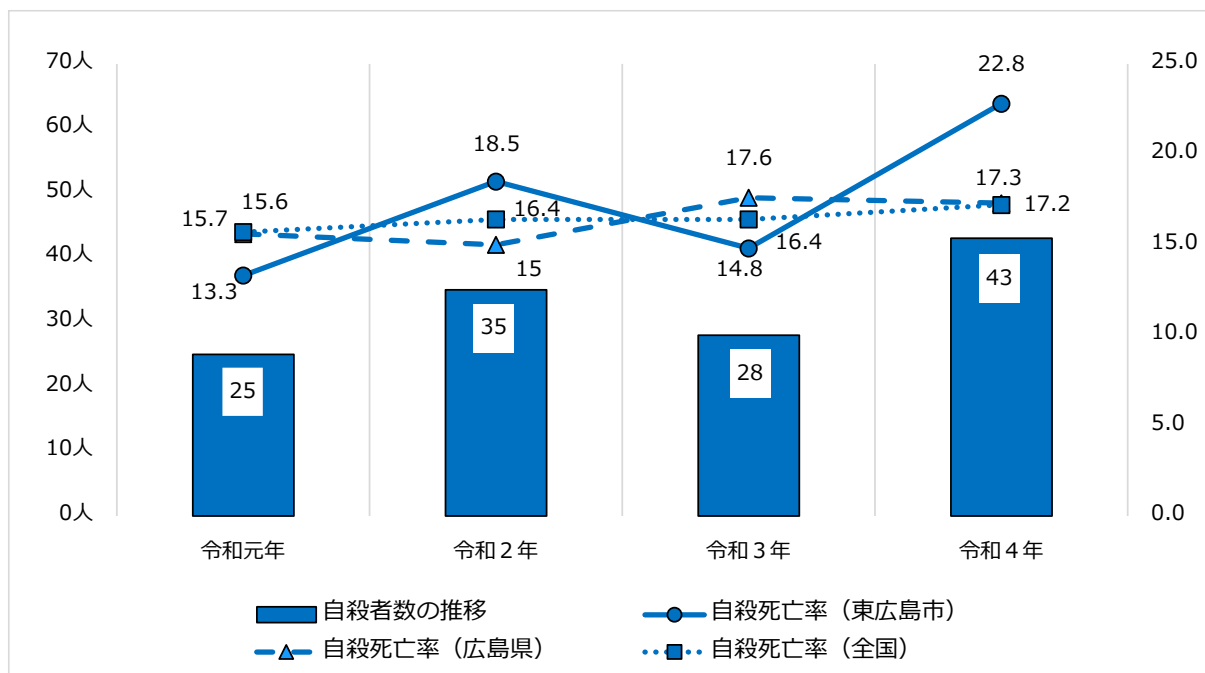
資料：地域共生推進課



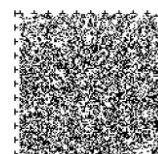
(12) 自殺（自死）者の状況

自殺（自死）者数については、年により増減がありますが、増加傾向となっており、令和4（2022）年では43人となっています。本市の自殺（自死）死亡率（人口10万対）は、年により増減がありますが、令和4（2022）年は、22.8と広島県、全国に比べて割合が高くなっています。

■自殺（自死）者数・自殺（自死）死亡率の推移■



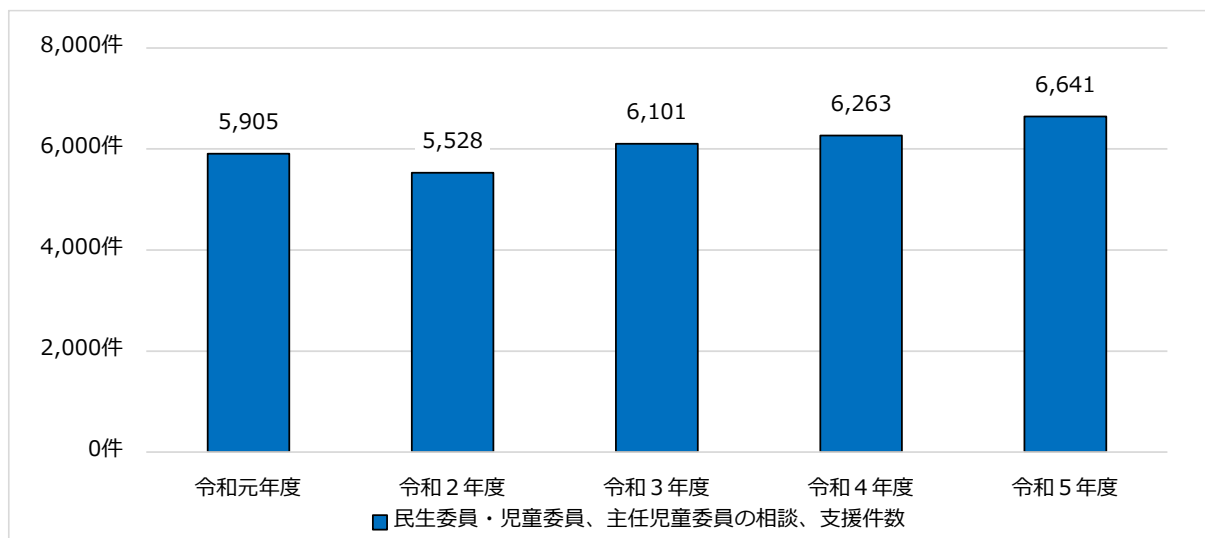
資料：地域自殺（自死）実態プロフィール（自殺（自死）総合対策推進センター）、
地域における自殺（自死）の基礎資料令和4（2022）年（厚生労働省）



(13) 民生委員・児童委員の相談、支援状況

民生委員・児童委員及び主任児童委員の相談、支援件数は、令和2（2020）年度に一度減少しましたが、令和3（2021）年度以降増加し、令和5（2023）年度は6,600件を上回っています。

■ 民生委員・児童委員への相談、支援件数の推移 ■

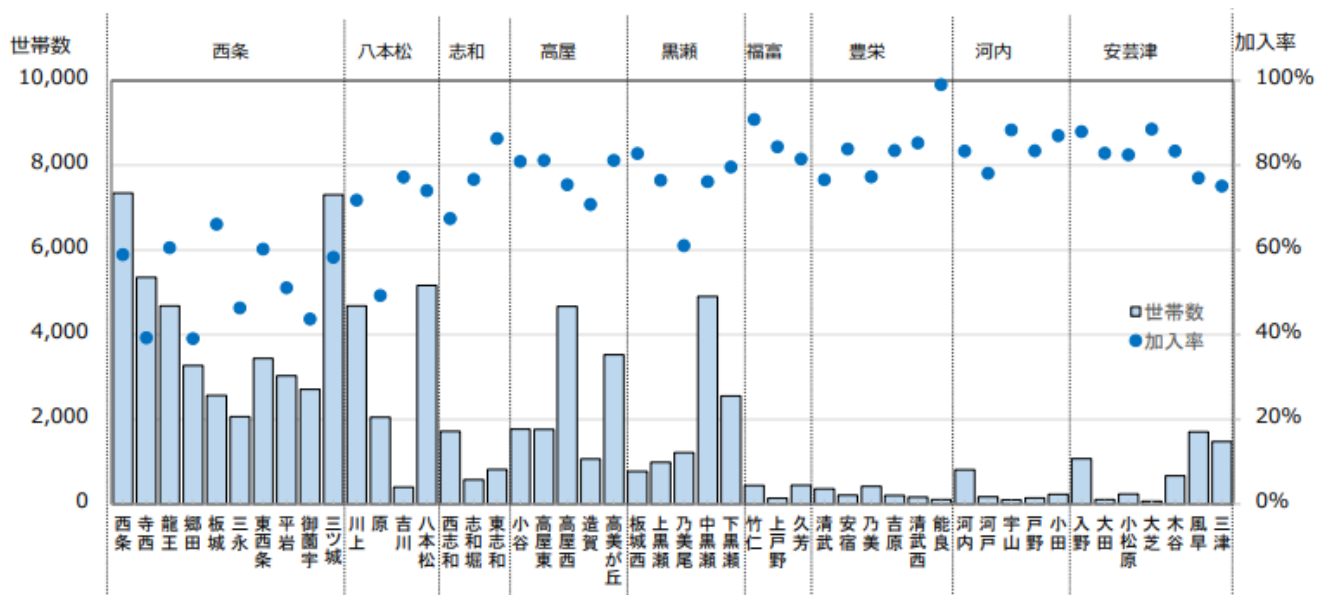


資料：地域共生推進課

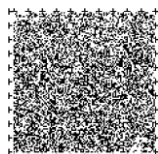
(14) 住民自治協議会の加入状況

地区別の住民自治協議会加入率は、40%弱から90%超まで、住民自治協議会により差があります。

■ 住民自治協議会別世帯数と加入率 ■



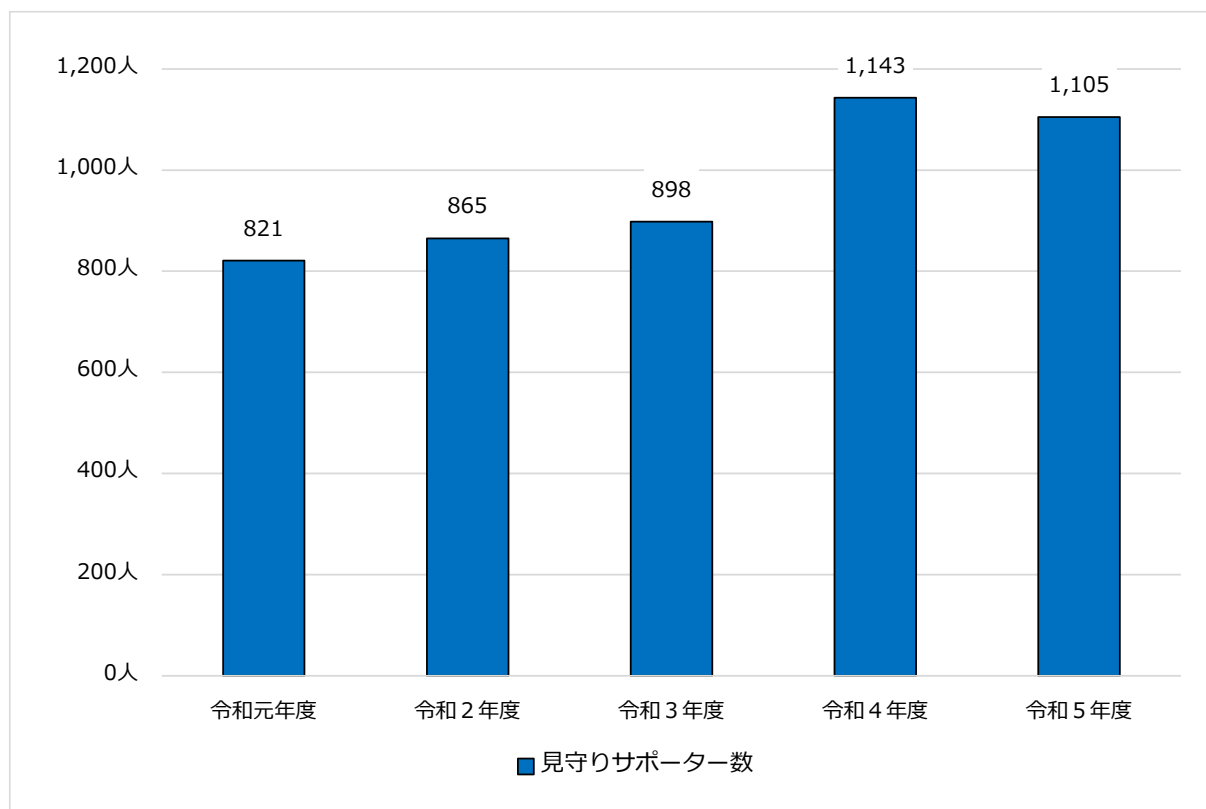
資料：市民協働のまちづくり第4期行動計画（令和4（2022）年10月1日時点）



(15) 地域における見守りの状況

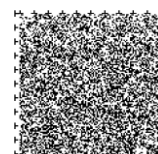
見守りサポーターは、令和元（2019）年度以降増加し、令和4（2022）年度には1,143人と大きく増加しましたが、令和5（2023）年度はやや減少しています。（※）

■見守りサポーター数の推移■



資料：地域共生推進課

※ 令和4（2022）年度に見守りサポーターの交代（3年任期が基本）があり、新旧サポーターが重複して計上されていることによる

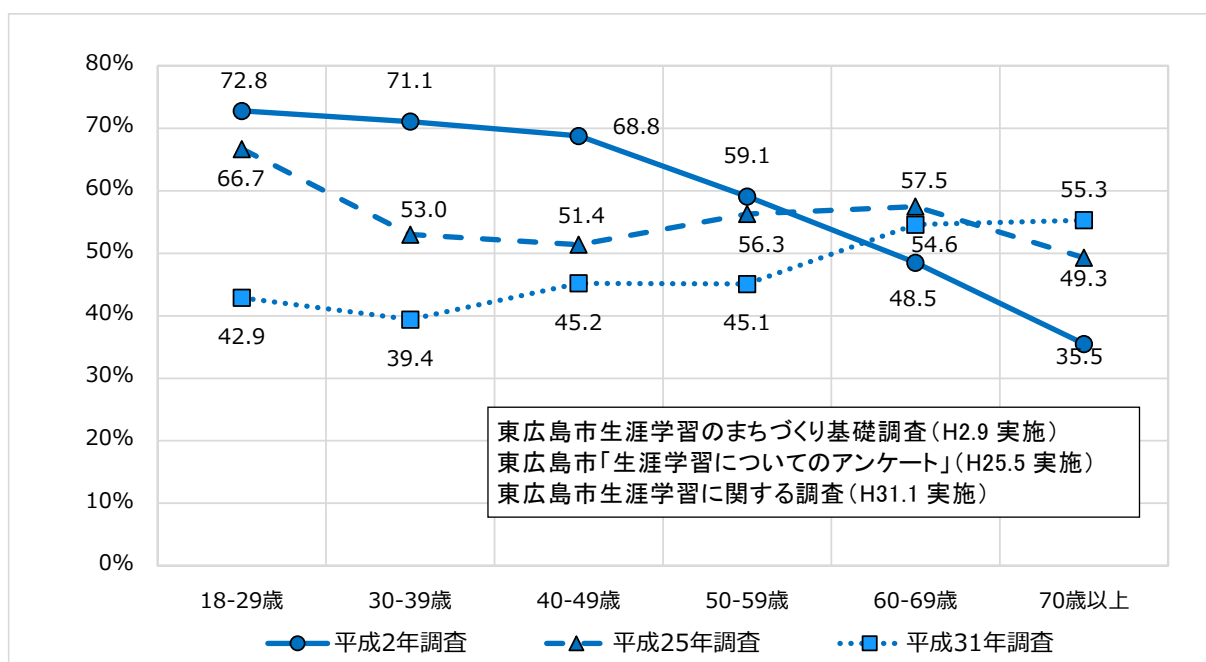


(16) 生涯学習に関する状況

世代ごとの生涯学習に関する実施率では、20～50代は経年で学習活動実施率が減少しており、60代以上では学習活動実施率が増加傾向にあります。

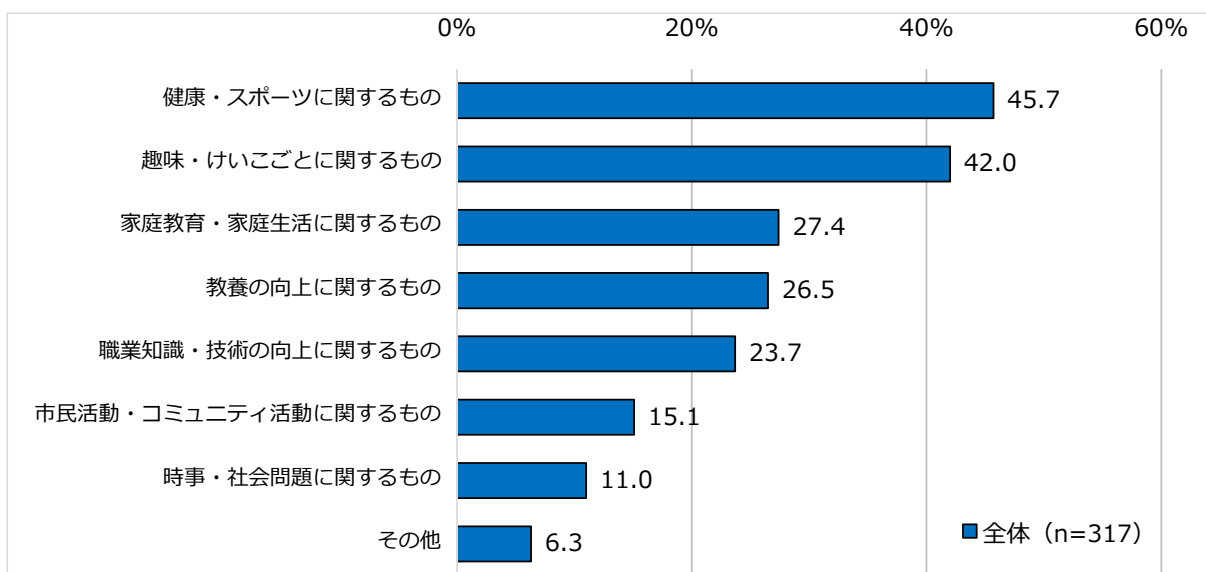
また、今後学びたい学習活動としては、「健康・スポーツ」「趣味・けいこごと」が多く、「市民活動・コミュニティ活動」「時事・社会問題」などは少ないのが現状です。

■ 年齢別学習活動実施率の推移 ■

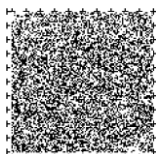


資料：東広島市教育委員会「学びのキャンパス推進事業における行動計画」

■ 今後学びたい学習活動の内容 ■



資料：東広島市教育委員会「学びのキャンパス推進事業における行動計画」



2 市民アンケート調査の結果

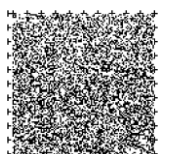
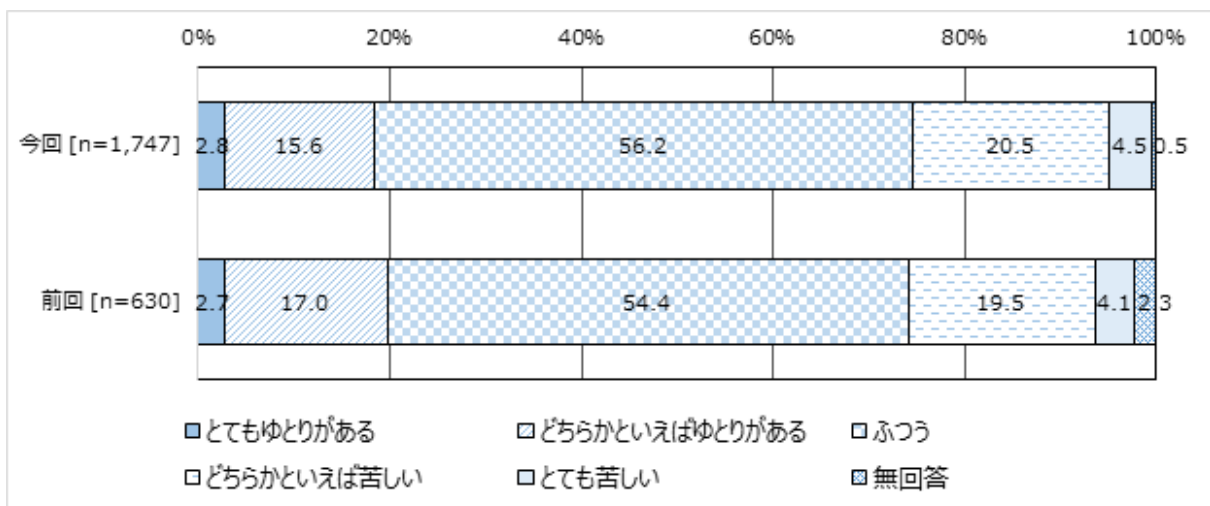
下記調査結果での各種表示は以下の通りです。

- 各種調査における「n」「単一回答」「複数回答」は、以下のことを示しています。
 - n：回答者数
 - 単一回答：回答は一つ
 - 複数回答：回答はいくつでも
- なお、図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」または、「判別ができなかったもの」を表しています。表の「全体」とカテゴリの回答件数の合計値が合わない場合があります。クロス集計の表側項目には表示していないため、表の「全体」とカテゴリの回答件数の合計値が合わない場合があります。
- 調査結果は、今回と前回（平成 30（2018）年調査）いずれもサンプリングによる調査のため、回答者の属性ごとの回収割合は母集団の人口構成と異なることから、市民の意見を適切に反映できるように、回答者の属性（年代・居住地域）ごとの回収割合を母集団の人口の構成比となるよう重みづけをして集計しています。そのため、四捨五入の関係で、表の「全体」とカテゴリの回答件数の合計値が合わない場合があります。

（1）自分の状況、人とのつながり・居場所について

自身の暮らしの状況は、「ふつう」が 56.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば苦しい」が 20.5%、「どちらかといえばゆとりがある」が 15.6%となっています。

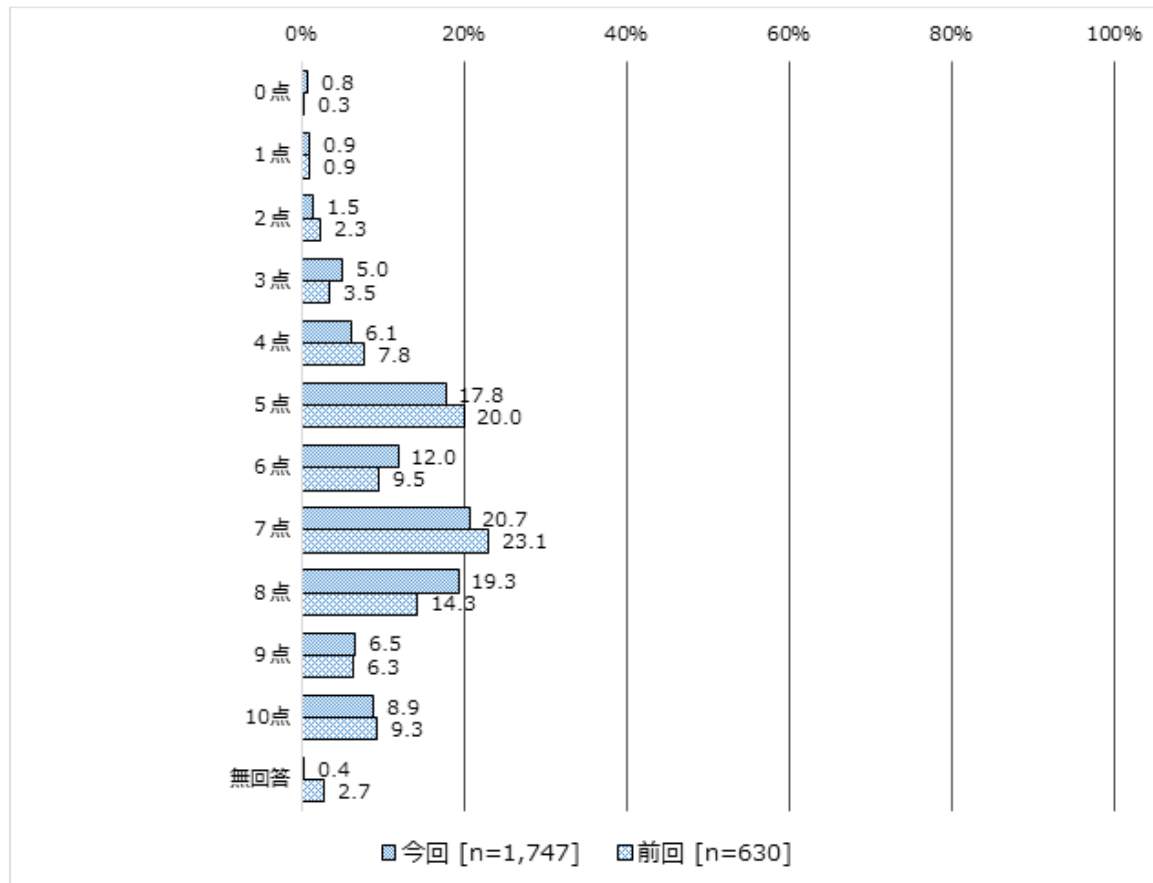
■自身の暮らしの状況（単一回答）■



現在の幸福度は、10点満点中、「7点」が20.7%と最も高く、次いで「8点」が19.3%、「5点」が17.8%となっています。

また、平均では前回今回ともに6.5点となっています。

■現在の幸福度（単一回答）■

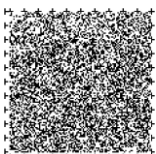
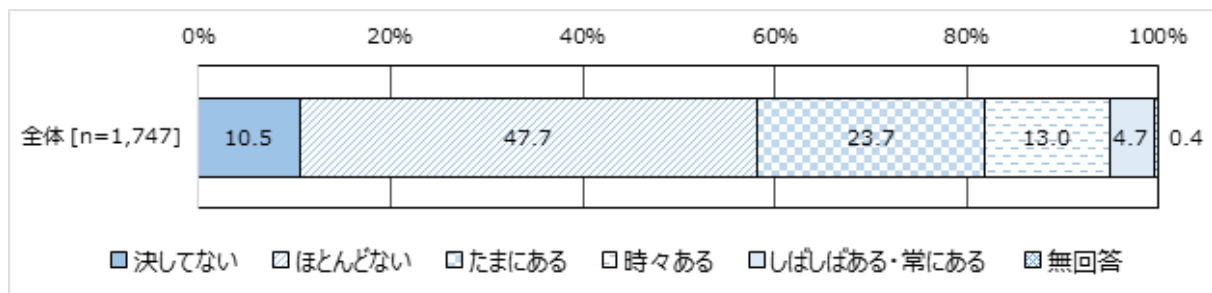


■現在の幸福度（平均）■

	今回	前回
平均値 (点)	6.5	6.5

孤独であると感じることは、「たまにある」が23.7%、「時々ある」が13.0%、「しばしばある・常にある」が4.7%で、合わせて41.4%が多少の孤独を感じています。

■孤独であると感じること（単一回答）■



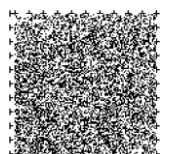
安心できる、気軽にいける地域の場所・活動が「ある」のは28.2%となっており、「今はないが、今後ほしい」が45.4%となっています。

年代別で見ると、30～50代は「ある」が20%程度と他よりも低くなっています。

■安心できる、気軽にいける地域の場所・活動の有無（年代別）（単一回答）■

(%)

	合計(n=)	ある	今はないが、今後ほしい	今はなく、今後もない	無回答
全体	1,747	28.2	45.4	23.8	2.6
20代以下	253	26.9	38.8	34.1	0.1
30代	255	21.7	46.9	31.4	0.0
40代	297	21.2	51.7	25.9	1.3
50代	288	22.3	54.0	22.9	0.9
60代	232	32.9	47.8	17.8	1.5
70代	332	37.5	37.0	16.7	8.8
80代以上	90	45.5	35.7	11.1	7.6

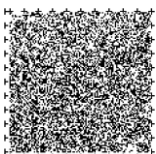


「安心できる、気軽にいける地域の場所・活動の有無」で「ある」と回答した人に地域での居場所を聞いたところ、圏域別では、全体と比べて「西条南」「八本松」「高屋」「河内」で「趣味などのサークル活動」が高く、「福富」で「ボランティア・社会貢献活動」が高くなっています。「志和」で「自治会・老人会などの地域活動」が高く、「志和」「河内」「安芸津」で「身近なサロン・集いの場」が高くなっています。また、「西条北」で「公共施設」、「西条南」で「公園」、「黒瀬」で「スーパー、商店など物品の販売店」が高くなっています。

■安心できる、気軽にいける地域の場所・活動（圏域別）（複数回答）■

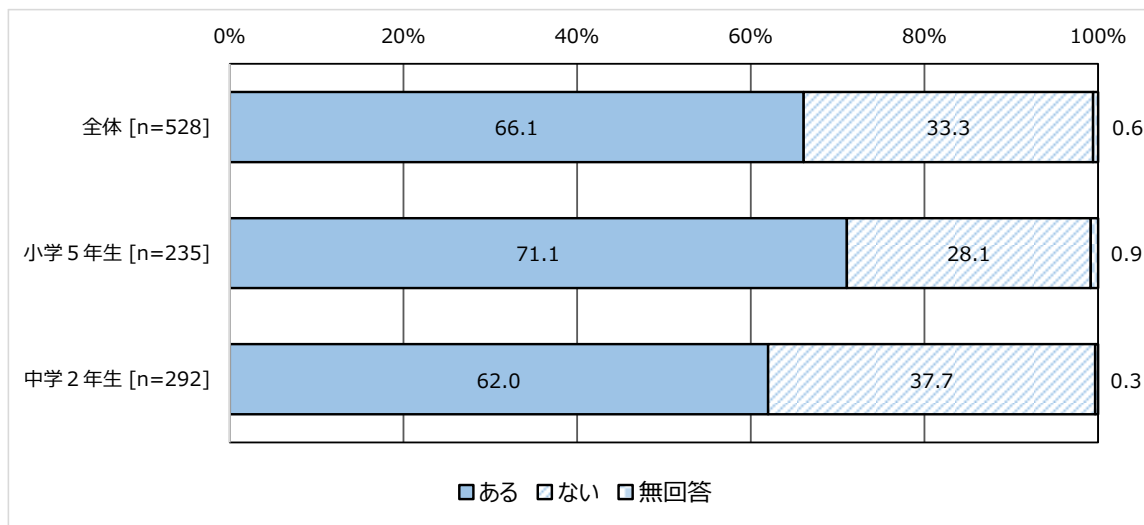
(%)

	合計(n=)	趣味などの サークル活 動	ボランティ ア・社会貢 献活動	自治会・老 人クラブな どの地域活 動	喫茶店・カ フェ・居酒屋 などの飲食 店	身近なサロ ン・集いの 場	公共施設	公園
全体	492	42.9	11.6	14.5	16.5	14.7	17.0	12.4
西条北	92	39.3	14.2	18.1	19.1	10.4	26.0	11.6
西条南	80	50.6	5.0	16.0	22.2	6.1	22.2	25.3
八本松	93	50.6	16.2	12.5	17.7	15.7	15.2	5.6
志和	20	46.0	15.7	26.4	16.5	26.6	5.7	3.6
高屋	69	51.8	8.4	8.0	18.2	14.7	9.9	14.5
黒瀬	62	18.4	9.1	10.9	11.0	17.6	12.5	19.8
福富	9	45.5	22.6	19.1	7.0	20.7	11.1	6.1
豊栄	12	35.9	15.8	20.8	10.9	10.5	9.8	1.4
河内	19	54.9	11.6	21.1	8.9	26.5	21.9	7.1
安芸津	37	33.1	12.3	11.9	9.2	24.2	15.7	0.0
	合計(n=)	スーパー、 商店など物 品の販売店	こども食堂・ 地域食堂	その他	無回答			
全体	492	21.6	2.0	4.7	0.7			
西条北	92	15.0	1.9	4.5	0.0			
西条南	80	25.3	2.8	7.1	0.0			
八本松	93	18.5	5.5	1.2	1.0			
志和	20	15.5	0.0	2.0	0.0			
高屋	69	20.9	0.0	5.3	1.5			
黒瀬	62	39.9	0.0	4.4	0.0			
福富	9	9.4	2.7	16.9	5.8			
豊栄	12	14.7	1.4	6.1	4.2			
河内	19	26.6	0.0	3.5	0.0			
安芸津	37	15.0	0.9	7.6	1.5			



小中学生調査では、「居場所」が「ある」は全体で66.1%、「ない」は全体で33.3%となっており、中学2年生では「ない」の割合が37.7%となっています。

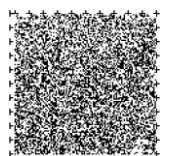
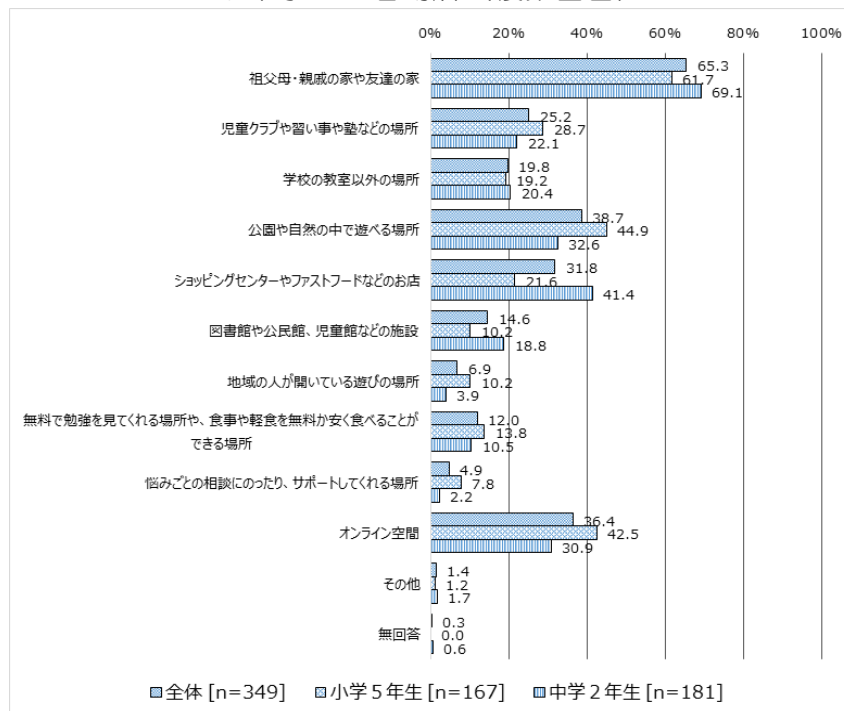
■小中学生の居場所の有無（単一回答）■



小中学生調査で、居場所が「ある」と回答した人に居場所はどんな場所かを聞いたところ、「祖父母・親戚の家や友達の家」が65.3%と最も高く、次いで「公園や自然の中で遊べる場所」が38.7%、「オンライン空間」が36.4%となっています。

全体と比べて小学5年生では「公園や自然の中で遊べる場所」と「オンライン空間」が高く、中学2年生では「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」が高くなっています。

■小中学生の居場所（複数回答）■

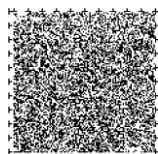
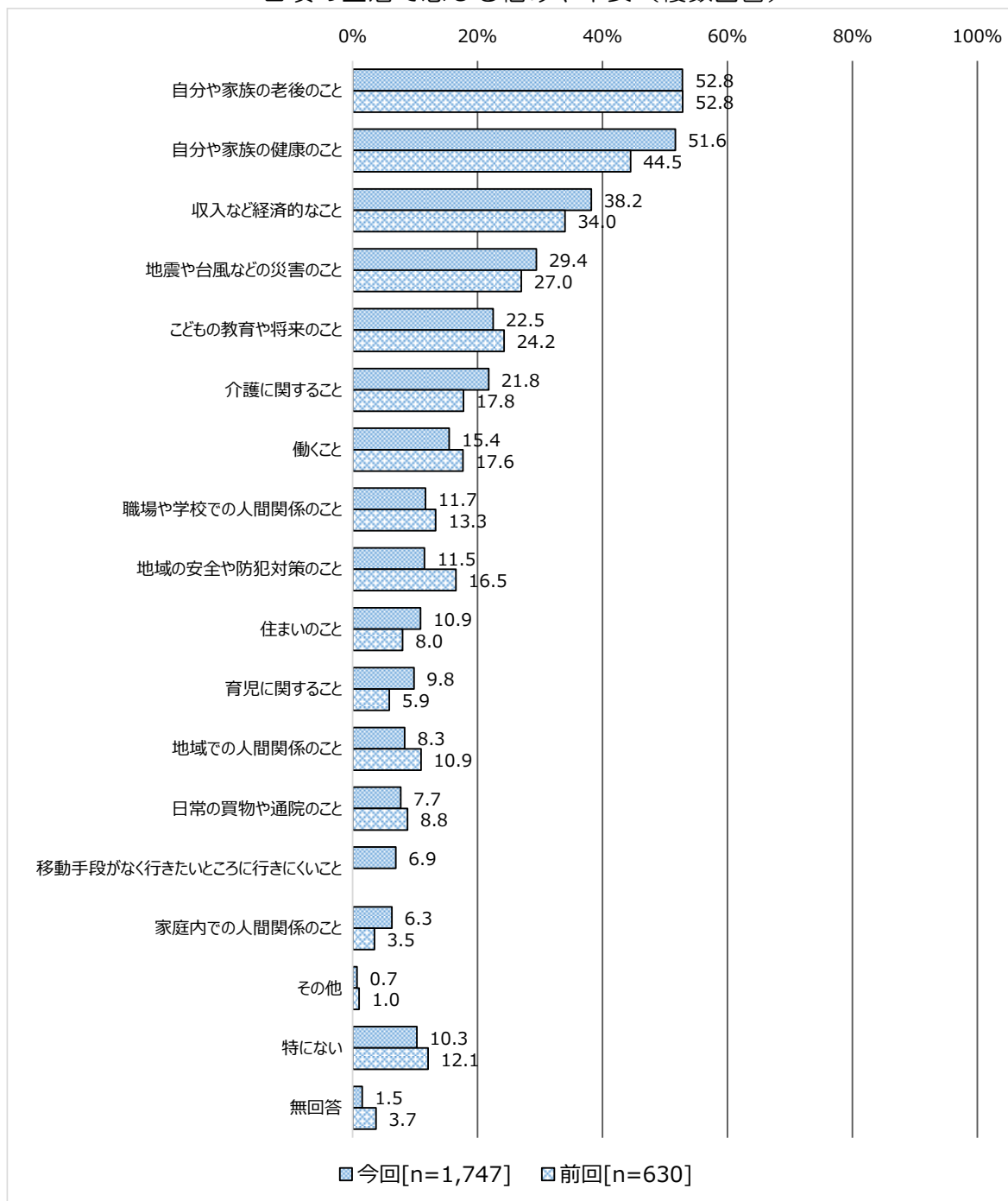


(2) 日常生活での悩み・不安について

日頃の生活で感じる悩みや不安は、「自分や家族の老後のこと」が52.8%、「自分や家族の健康のこと」が51.6%とほぼ同じ割合となっています。次いで「収入など経済的なこと」が38.2%となっています。

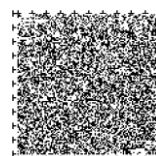
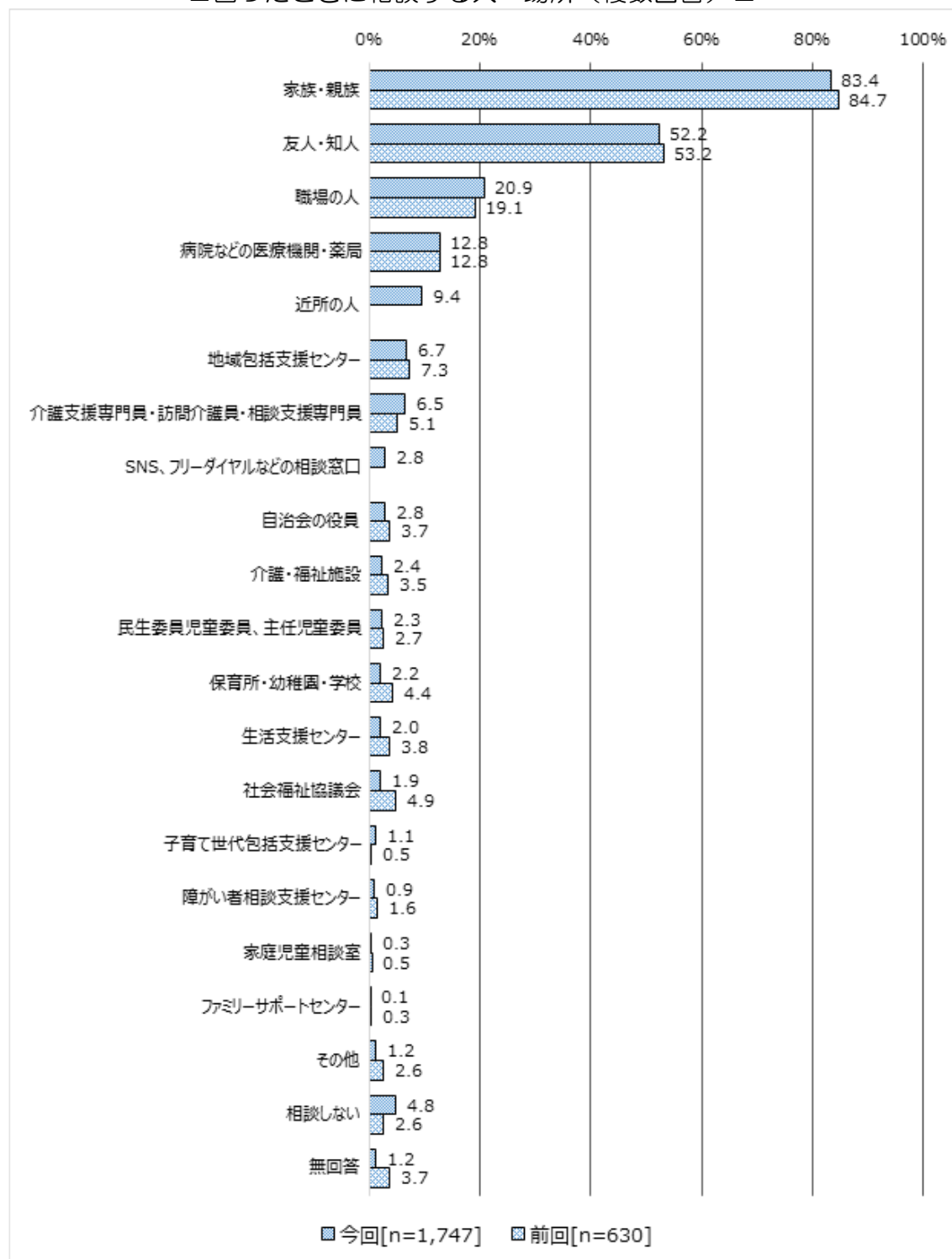
前回と比べて「自分や家族の健康のこと」が高く、「地域の安全や防犯対策のこと」が低くなっています。

■日頃の生活で感じる悩みや不安（複数回答）■



困ったときに相談する人・場所は、「家族・親族」が83.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が52.2%、「職場の人」が20.9%で、傾向は前回とほぼ同様となっています。

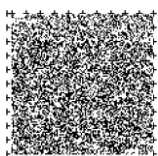
■ 困ったときに相談する人・場所（複数回答） ■



圏域別では、全体と比べて、「西条北」「西条南」で「職場の人」が高く、「河内」「志和」で「近所の人」が高くなっています。「河内」「志和」「福富」で「民生委員児童委員、主任児童委員」が、「河内」「志和」で「自治会の役員」が高くなっています。また、「豊栄」「黒瀬」「河内」で「地域包括支援センター」が、「黒瀬」「福富」「安芸津」で「社会福祉協議会」が、「西条南」「豊栄」「河内」で「相談しない」が高くなっています。

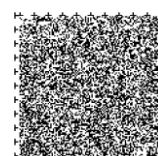
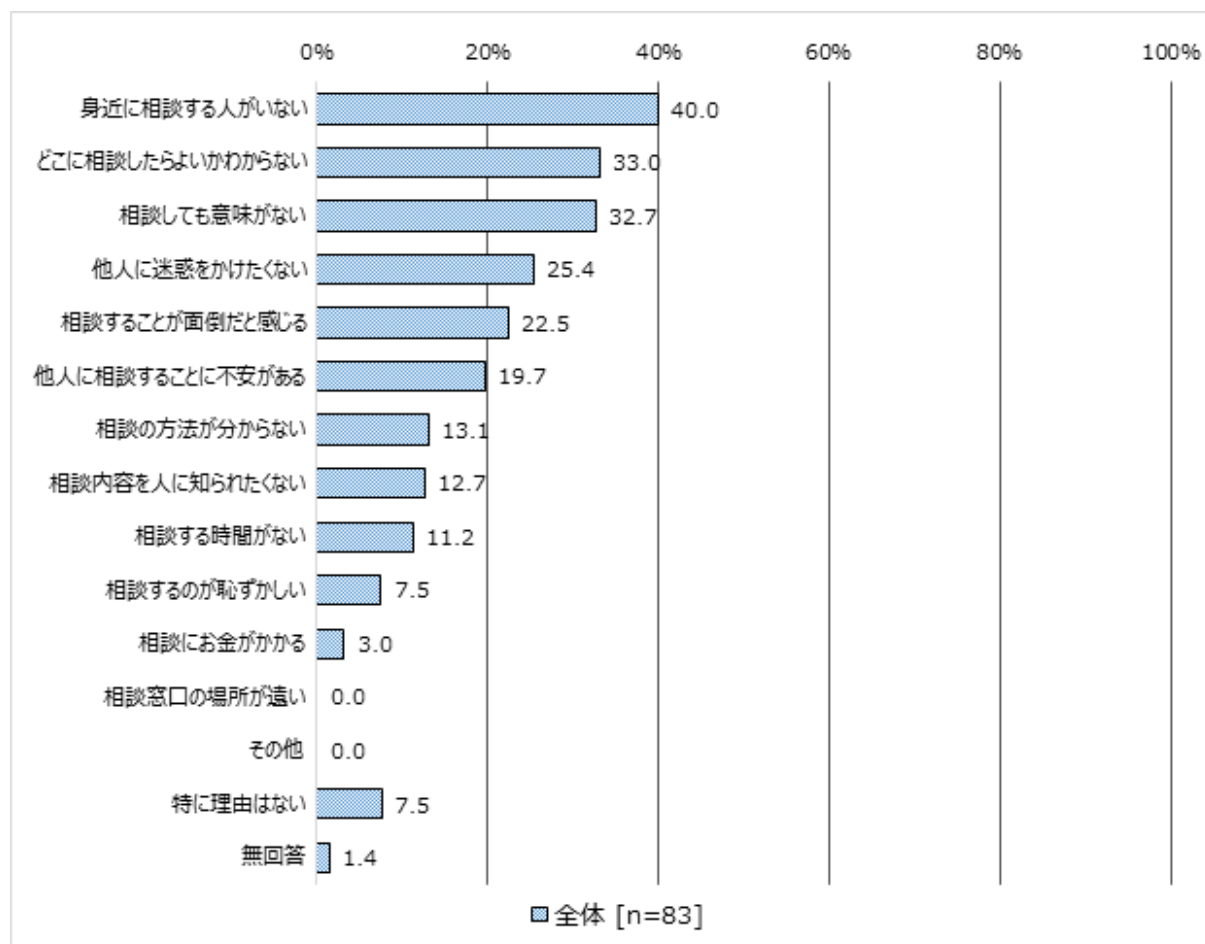
■ 困ったときに相談する人・場所（圏域別）（複数回答） ■

	合計(n=)	家族・親族	友人・知人	職場の人	近所の人	民生委員児童委員、主任児童委員	自治会の役員	保育所・幼稚園・学校
全体	1,747	83.4	52.2	20.9	9.4	2.3	2.8	2.2
西条北	427	85.5	55.7	27.5	6.0	1.1	2.0	4.8
西条南	314	82.0	52.4	24.9	5.5	3.0	0.0	1.4
八本松	269	83.1	57.2	19.8	11.1	1.6	3.7	0.9
志和	61	78.5	49.6	14.1	17.6	4.6	5.5	0.0
高屋	275	85.5	50.7	17.3	12.4	2.0	4.6	1.7
黒瀬	209	82.6	49.6	15.4	9.3	3.2	3.2	2.0
福富	23	78.2	45.8	16.1	12.6	4.6	1.7	0.0
豊栄	31	79.3	41.8	16.0	12.1	2.0	5.0	0.5
河内	51	77.7	51.0	15.5	20.5	5.2	6.3	1.8
安芸津	87	83.1	38.1	13.0	12.2	3.1	2.4	0.7
	合計(n=)	生活支援センター	障がい者相談支援センター	ファミリーサポートセンター	家庭児童相談室	子育て世代包括支援センター	地域包括支援センター	社会福祉協議会
全体	1,747	2.0	0.9	0.1	0.3	1.1	6.7	1.9
西条北	427	1.5	0.4	0.0	0.7	1.5	4.9	0.6
西条南	314	2.5	0.3	0.0	0.4	1.3	4.7	0.7
八本松	269	1.9	2.4	0.0	0.0	1.1	8.3	0.5
志和	61	3.6	0.0	0.4	0.0	0.0	9.4	2.5
高屋	275	1.8	0.9	0.3	0.0	0.9	4.3	2.0
黒瀬	209	3.1	0.8	0.0	0.0	1.6	10.8	6.4
福富	23	3.5	1.8	0.0	0.0	0.6	7.5	4.6
豊栄	31	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	12.2	2.8
河内	51	1.8	2.3	0.0	0.0	0.0	10.6	3.1
安芸津	87	0.7	1.0	1.1	0.0	0.7	8.9	4.1
	合計(n=)	介護支援専門員・訪問介護員・相談支援専門員	病院などの医療機関・薬局	介護・福祉施設	SNS、フリーダイヤルなどの相談窓口	その他	相談しない	無回答
全体	1,747	6.5	12.8	2.4	2.8	1.2	4.8	1.2
西条北	427	3.6	10.4	1.1	3.0	1.1	3.7	0.0
西条南	314	5.1	9.9	3.1	3.7	0.9	8.1	1.5
八本松	269	6.3	10.9	2.5	0.6	2.5	5.5	0.0
志和	61	7.0	12.6	2.0	2.2	0.4	3.6	3.3
高屋	275	8.2	18.1	1.9	4.2	2.1	2.0	2.8
黒瀬	209	10.2	15.9	1.1	3.7	0.0	4.8	0.0
福富	23	6.9	14.6	6.6	1.9	0.8	2.4	2.4
豊栄	31	6.9	16.0	4.1	0.5	0.0	7.5	2.6
河内	51	11.5	18.6	9.4	2.0	1.3	6.3	3.9
安芸津	87	9.1	12.7	5.7	0.3	0.6	4.6	4.0



「困ったときに相談する人・場所」で「相談しない」と回答した人に困ったときに相談しない理由を聞いたところ、「身近に相談する人がいない」が40.0%と最も高く、次いで「どこに相談したらよいかわからない」が33.0%、「相談しても意味がない」が32.7%となっています。

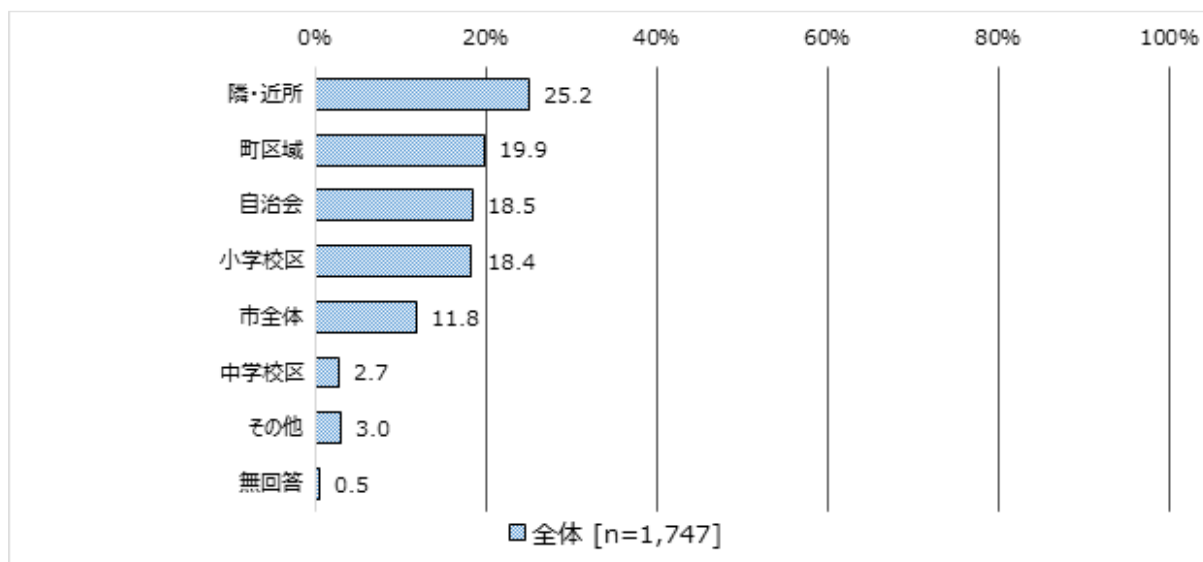
■ 困ったときに相談しない理由（複数回答） ■



(3) 地域交流や近所付き合いの状況

「自分の地域」と感じる範囲は、「隣・近所」が25.2%と最も高く、次いで「町区域」が19.9%、「自治会」が18.5%、「小学校区」が18.4%となっています。

■「自分の地域」と感じる範囲（単一回答）■



圏域別では、全体と比べて「安芸津」「豊栄」「福富」「河内」「志和」で「隣・近所」が高く、「豊栄」「志和」「河内」「八本松」で「自治会」が高くなっています。「高屋」「西条南」で「小学校区」が、「黒瀬」「豊栄」「福富」「西条北」で「町区域」が、また「西条北」で「市全体」が高くなっています。

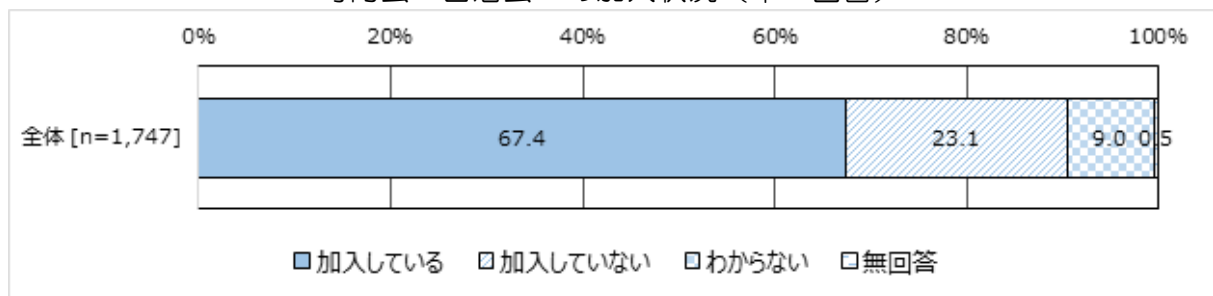
■「自分の地域」と感じる範囲（圏域別）（複数回答）■

	合計(n=)	隣・近所	自治会	小学校区	中学校区	町区域	市全体	その他	無回答
全体	1,747	25.2	18.5	18.4	2.7	19.9	11.8	3.0	0.5
西条北	427	25.5	12.9	14.1	2.9	23.1	16.7	4.0	0.8
西条南	314	23.7	14.8	24.2	2.0	19.8	11.7	4.0	0.0
八本松	269	25.2	23.9	13.0	3.2	19.5	12.0	2.6	0.6
志和	61	32.2	25.0	11.5	4.0	17.1	6.4	3.7	0.0
高屋	275	20.2	20.0	30.7	2.1	12.8	12.0	1.7	0.5
黒瀬	209	19.7	23.3	17.1	3.2	24.9	9.1	2.1	0.6
福富	23	34.4	18.5	8.6	4.9	23.7	7.4	0.3	2.2
豊栄	31	36.4	27.7	7.0	0.6	24.2	2.2	1.2	0.8
河内	51	32.6	24.6	14.0	4.5	14.7	7.8	1.8	0.0
安芸津	87	42.1	16.1	13.1	2.3	18.4	4.0	3.3	0.6



町内会・自治会への加入状況は、「加入している」が67.4%、「加入していない」が23.1%、「わからない」が9.0%となっています。

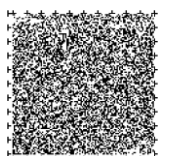
■町内会・自治会への加入状況（単一回答）■



圏域別にみると、「西条北」「西条南」で「加入していない」が高くなっています。

■町内会・自治会への加入状況（圏域別）（単一回答）■

	合計(n=)	(%)			
		加入している	加入していない	わからない	無回答
全体	1,747	67.4	23.1	9.0	0.5
西条北	427	44.3	44.6	10.8	0.2
西条南	314	49.5	34.4	15.1	0.9
八本松	269	83.4	12.1	4.5	0.0
志和	61	78.4	12.7	8.9	0.0
高屋	275	90.4	5.0	4.2	0.4
黒瀬	209	78.8	11.8	7.5	1.9
福富	23	74.2	11.1	13.3	1.4
豊栄	31	76.0	12.9	10.5	0.6
河内	51	80.2	10.7	9.1	0.0
安芸津	87	75.8	15.9	8.3	0.0



年代別でみると、全体と比べて、20代以下～50代では、「あいさつする程度」が33.4%～39.4%と全体より高く、60代～80代以上では、「親しく付き合っている」が、24.0%～37.4%と全体より高くなっています。

■近所・地域の人との付き合いの程度（年代別）（単一回答）■

(%)

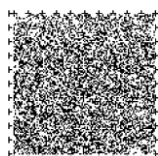
	合計(n=)	とても親しく付き合っている人がいる	親しく付き合っている人がいる	世間話をする程度の人がある	あいさつをする程度の人がある	ほとんど付き合いがない	無回答
全体	1,747	4.8	20.9	25.6	31.5	17.1	0.1
20代以下	253	4.4	11.5	17.4	39.4	27.4	0.0
30代	255	2.4	15.6	19.5	33.7	28.8	0.0
40代	297	4.1	17.9	22.3	33.4	22.3	0.0
50代	288	2.1	19.0	22.8	39.3	16.8	0.0
60代	232	5.7	24.0	36.0	24.4	9.9	0.1
70代	332	8.7	29.8	31.6	24.7	4.5	0.6
80代以上	90	6.7	37.4	36.8	15.8	3.4	0.0

圏域別でみると、全体と比べて「黒瀬」では、「あいさつする程度」が38.8%と高く、「福富」「安芸津」「河内」「高屋」で「世間話をする程度」が30.9%～37.8%と高くなっています。「とても親しく付き合っている」は、「河内」で11.2%、「親しく付き合っている」は、「豊栄」「福富」「河内」「高屋」「志和」「八本松」で26.8%～37.8%、「ほとんど付き合いがない」は、「西条北」で29.4%、「西条南」で25.5%と全体より高くなっています。

■近所・地域の人との付き合いの程度（圏域別）（単一回答）■

(%)

	合計(n=)	とても親しく付き合っている人がいる	親しく付き合っている人がいる	世間話をする程度の人がある	あいさつをする程度の人がある	ほとんど付き合いがない	無回答
全体	1,747	4.8	20.9	25.6	31.5	17.1	0.1
西条北	427	2.5	13.3	21.2	33.7	29.4	0.0
西条南	314	2.7	15.2	25.5	31.2	25.5	0.0
八本松	269	5.7	26.8	22.6	33.4	11.5	0.0
志和	61	6.5	27.6	29.0	30.6	6.3	0.0
高屋	275	5.0	29.3	30.9	26.5	8.2	0.0
黒瀬	209	8.4	19.5	23.1	38.8	10.2	0.0
福富	23	4.2	37.4	37.8	14.1	5.9	0.5
豊栄	31	6.6	37.8	27.4	25.5	2.6	0.0
河内	51	11.2	31.6	31.0	18.7	7.5	0.0
安芸津	87	5.9	16.2	36.7	29.6	9.3	2.4



移住状況別では、全体と比べて「市外から移住」で「ほとんど付き合いがない」が高くなっていますが、「世間話をする程度」では22.9%～29.8%と大きな差は見られません。

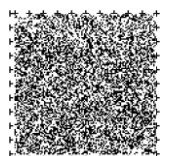
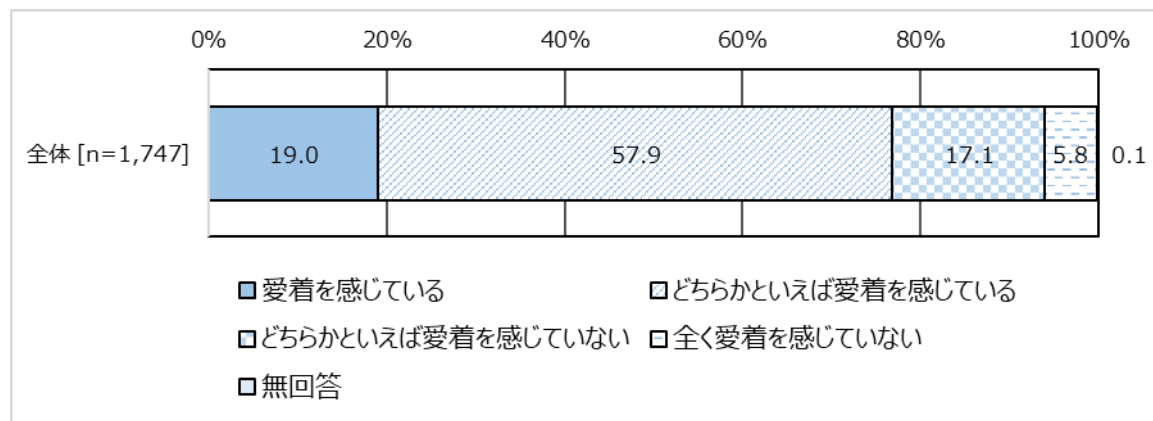
■近所・地域の人との付き合いの程度（移住状況別）（単一回答）■

(%)

	合計(n=)	とても親しく付き合っている人がいる	親しく付き合っている人がいる	世間話をする程度の人がある	あいさつをする程度の人がある	ほとんど付き合いがない	無回答
全体	1,747	4.8	20.9	25.6	31.5	17.1	0.1
市外から移住してきた	905	4.6	18.4	22.9	32.0	22.1	0.0
市内の他地域から転居してきた	452	2.9	22.3	27.9	31.6	15.2	0.0
出生時から現在の地域に住んでいる	374	6.8	24.9	29.8	30.8	7.7	0.0

地域に愛着を感じているかは、「どちらかといえば愛着を感じている」が57.9%と最も高く、次いで「愛着を感じている」が19.0%、「どちらかといえば愛着を感じていない」が17.1%となっています。

■地域に愛着を感じているか（単一回答）■



圏域別では、全体と比べて「福富」「黒瀬」「安芸津」で「愛着を感じている」が23.7%~26.4%、また、「西条北」「西条南」「安芸津」で「全く愛着を感じていない」が7.8%~9.0%と高くなっています。

■地域に愛着を感じているか（圏域別）（単一回答）■

(%)

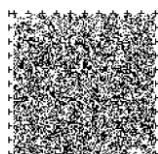
	合計(n=)	愛着を感じている	どちらかといえば愛着を感じている	どちらかといえば愛着を感じていない	全く愛着を感じていない	無回答
全体	1,747	19.0	57.9	17.1	5.8	0.1
西条北	427	16.2	57.6	18.2	7.9	0.0
西条南	314	15.2	56.6	19.2	9.0	0.0
八本松	269	20.1	61.5	14.3	4.1	0.0
志和	61	20.4	61.2	14.6	3.8	0.0
高屋	275	19.1	62.6	15.8	2.5	0.0
黒瀬	209	25.8	49.5	20.2	4.6	0.0
福富	23	26.4	57.9	13.4	2.3	0.0
豊栄	31	20.1	57.0	20.3	2.6	0.0
河内	51	18.1	66.6	11.0	4.3	0.0
安芸津	87	23.7	50.7	15.0	7.8	2.8

地域の愛着度別では、全体と比べて「愛着を感じている」で「とても親しく付き合っている人がある」「親しく付き合っている人がある」で高く、「全く愛着を感じていない」では、「ほとんど付き合いがない」が53.7%と高くなっています。

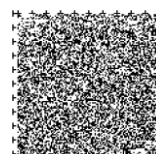
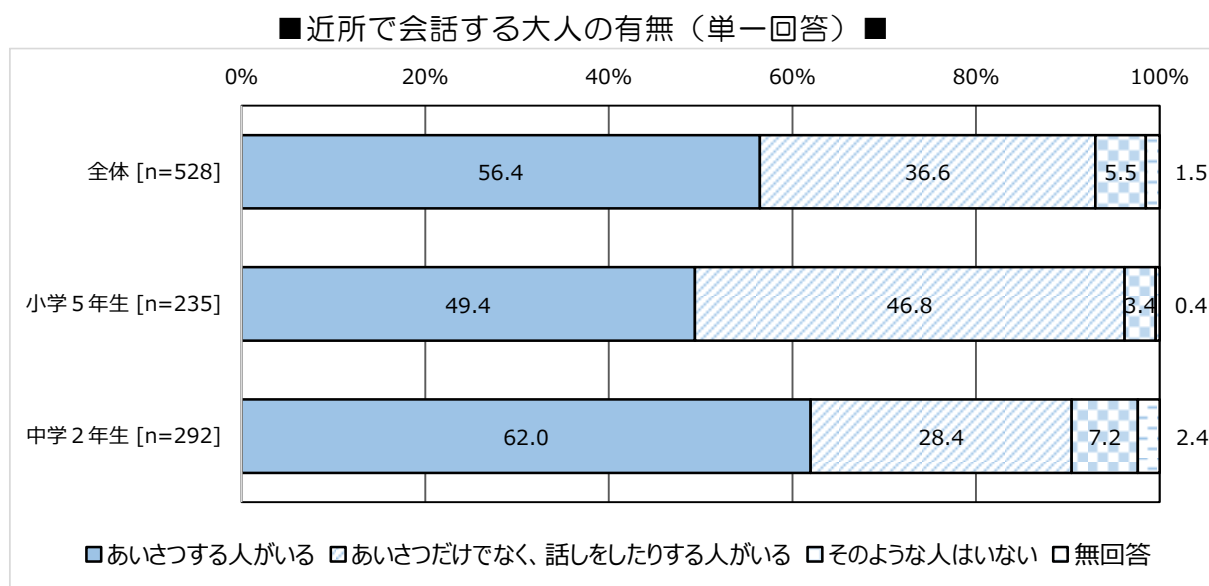
■近所・地域の人との付き合いの程度（地域の愛着度別）（単一回答）■

(%)

	合計(n=)	とても親しく付き合っている人がある	親しく付き合っている人がある	世間話をする程度の人がある	あいさつをする程度の人がある	ほとんど付き合いがない	無回答
全体	1,747	4.8	20.9	25.6	31.5	17.1	0.1
愛着を感じている	332	17.3	37.1	22.5	15.5	7.6	0.0
どちらかといえば愛着を感じている	1,011	2.4	21.2	29.6	34.7	12.1	0.0
どちらかといえば愛着を感じていない	299	0.0	7.6	19.6	40.8	32.0	0.0
全く愛着を感じていない	102	2.1	4.3	14.0	25.8	53.7	0.0

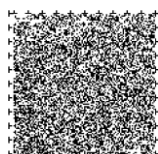
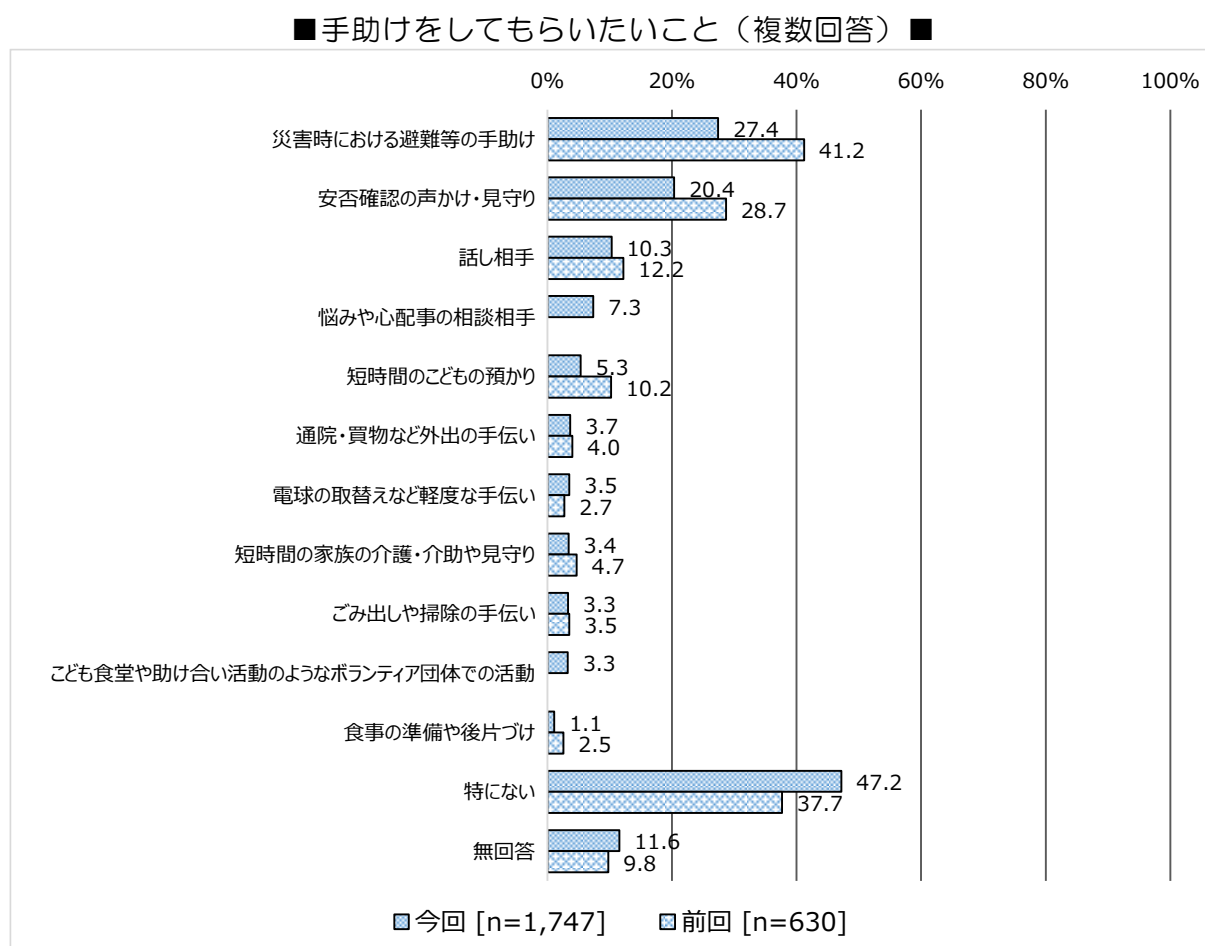


小中学生調査では、近所で会話する大人の有無は、小学5年生では、「あいさつだけでなく、話をしたりする人がいる」が46.8%となっていますが、中学2年生では28.4%と少なくなっています。



手助けをしてもらいたいことは、「特にない」が47.2%と最も高く、次いで「災害時における避難等の手助け」が27.4%、「安否確認の声かけ・見守り」が20.4%となっています。

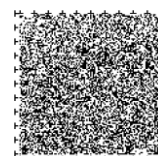
前回と比べて「特にない」が高く、「災害時における避難等の手助け」と「安否確認の声かけ・見守り」が低くなっています。



圏域別でみると、全体と比べて「安芸津」で「安否確認の声かけ・見守り」「災害時における避難等の手助け」「話し相手」「悩みや心配事の相談相手」「通院・買物など外出の手伝い」「ごみ出しや掃除の手伝い」「食事の準備や後片づけ」「こども食堂や助け合い活動のようなボランティア団体での活動」が特に高くなっています。また、「河内」で「短時間の家族の介護・介助や見守り」「電球の取替えなど軽度な手伝い」が特に高くなっています。

■手助けをしてもらいたいこと（圏域別）（複数回答）■

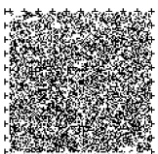
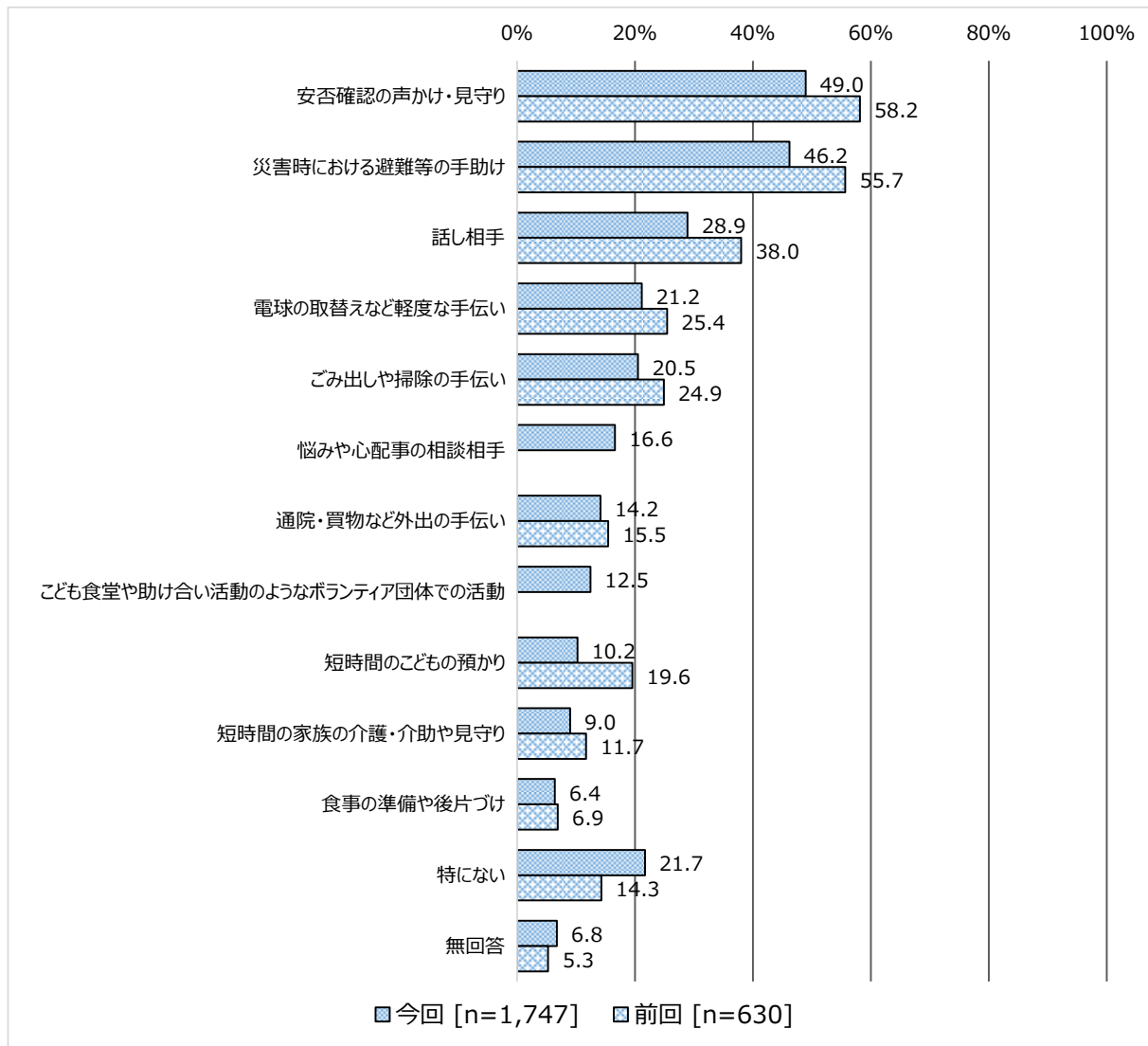
	合計(n=)	安否確認の 声かけ・見 守り	災害時にお ける避難等 の手助け	話し相手	悩みや心配 事の相談相 手	短時間のこ どもの預か り	短時間の家 族の介護・ 介助や見守 り	通院・買物 など外出の 手伝い
全体	1747	20.4	27.4	10.3	7.3	5.3	3.4	3.7
西条北	427	15.2	27.6	9.4	7.7	8.7	3.4	3.1
西条南	314	21.3	28.2	9.6	8.1	3.0	2.3	3.8
八本松	269	20.9	26.8	8.9	6.9	6.9	1.8	1.3
志和	61	25.1	23.5	7.9	9.0	0.7	4.6	6.0
高屋	275	23.3	27.4	13.5	7.0	3.5	4.1	4.6
黒瀬	209	22.0	27.8	9.4	2.5	6.6	3.2	2.4
福富	23	22.7	26.4	14.1	10.0	3.4	5.2	7.0
豊栄	31	15.3	23.1	8.2	4.8	2.5	1.5	3.9
河内	51	16.5	19.3	9.2	9.6	1.3	11.2	5.5
安芸津	87	27.3	34.2	15.5	14.6	1.6	5.5	9.9
	合計(n=)	ごみ出しや 掃除の手伝 い	電球の取替 えなど軽度 な手伝い	食事の準備 や後片づけ	こども食堂 や助け合い 活動のよう なボランティ ア団体での 活動	特にない	無回答	
全体	1747	3.3	3.5	1.1	3.3	47.2	11.6	
西条北	427	3.1	1.9	1.1	3.5	53.0	8.8	
西条南	314	2.5	2.5	0.9	2.6	48.8	10.3	
八本松	269	1.9	3.2	0.5	2.8	47.2	11.3	
志和	61	1.4	5.8	1.4	1.1	41.5	20.2	
高屋	275	5.1	3.5	1.1	3.1	46.4	9.9	
黒瀬	209	2.6	5.2	0.7	4.6	43.0	14.6	
福富	23	3.8	5.0	0.5	4.1	31.0	19.3	
豊栄	31	3.7	1.9	1.6	2.4	39.4	24.0	
河内	51	2.6	9.9	1.9	2.9	44.4	18.4	
安芸津	87	8.6	6.5	3.6	5.0	37.9	12.2	



手助けできることは、「安否確認の声かけ・見守り」が49.0%と最も高く、次いで「災害時における避難等の手助け」が46.2%、「話し相手」が28.9%となっています。

前回と比べて「特にない」が高く、「安否確認の声かけ・見守り」「災害時における避難等の手助け」「話し相手」「短時間のこどもの預かり」が低くなっています。

■手助けできること（複数回答）■

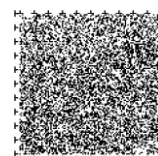


圏域別でみると、全体と比べて「福富」で「悩みや心配事の相談相手」「短時間のこどもの預かり」「短時間の家族の介護・介助や見守り」「通院・買物など外出の手伝い」「電球の取替えなど軽度な手伝い」「こども食堂や助け合い活動のようなボランティア団体での活動」が高くなっています。また「八本松」で「安否確認の声かけ・見守り」「ごみ出しや掃除の手伝い」が、「高屋」で「災害時における避難等の手助け」が、「黒瀬」で「話し相手」が、「河内」で「食事の準備や後片づけ」が高くなっています。

■手助けできること（圏域別）（複数回答）■

(%)

	合計(n=)	安否確認の 声かけ・見 守り	災害時にお ける避難等 の手助け	話し相手	悩みや心配 事の相談相 手	短時間のこ どもの預か り	短時間の家 族の介護・ 介助や見守 り	通院・買物 など外出の 手伝い
全体	1747	49.0	46.2	28.9	16.6	10.2	9.0	14.2
西条北	427	48.2	50.7	25.9	14.9	10.8	7.0	11.3
西条南	314	45.5	49.1	27.6	16.3	9.4	7.9	12.4
八本松	269	55.3	45.3	27.0	17.1	9.9	8.1	15.0
志和	61	45.4	42.3	27.8	16.6	12.9	7.0	14.3
高屋	275	54.4	51.5	30.1	20.0	11.9	12.1	18.1
黒瀬	209	45.2	36.8	35.1	14.7	8.7	13.3	14.5
福富	23	54.4	44.1	34.7	20.0	16.1	14.6	24.2
豊栄	31	40.9	34.0	34.4	10.2	8.2	5.3	17.1
河内	51	44.7	34.7	32.8	18.8	11.0	9.3	18.7
安芸津	87	43.4	37.7	30.9	18.8	6.8	7.0	12.0
	合計(n=)	ごみ出しや 掃除の手伝 い	電球の取替 えなど軽度 な手伝い	食事の準備 や後片づけ	こども食堂 や助け合い 活動のよう なボランティ ア団体での 活動	特にな	無回答	
全体	1747	20.5	21.2	6.4	12.5	21.7	6.8	
西条北	427	16.8	18.5	5.3	13.6	23.2	4.4	
西条南	314	21.4	21.2	4.6	10.7	23.8	4.2	
八本松	269	24.3	22.1	5.8	11.5	21.1	6.8	
志和	61	19.3	23.7	9.1	12.8	19.4	19.6	
高屋	275	23.2	23.5	9.8	14.2	19.1	4.6	
黒瀬	209	21.7	18.7	4.7	11.1	19.8	9.9	
福富	23	22.2	31.9	9.1	18.1	20.2	13.6	
豊栄	31	13.1	21.1	7.5	15.2	20.7	18.7	
河内	51	20.3	27.6	10.1	11.1	24.6	8.8	
安芸津	87	15.5	21.8	9.0	11.6	22.2	10.1	

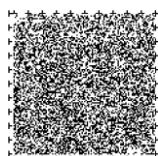


(4) 地域行事や町内活動への参加状況

地域の行事や町内活動などへの参加状況をみると、「自治会活動」が半数近くを占めています。圏域別では、全体と比べて「西条北」「西条南」で「参加したことがない」が高くなっています。「お祭り・盆踊りなど」は、全体で22.9%となっています。

■ 地域の行事や町内活動などへの参加状況（圏域別）（複数回答） ■

	合計(n=)	自治会活動	女性活動	老人クラブ活動	こども会やPTA活動	防犯活動・交通安全活動	高齢者支援活動	文化・スポーツ活動	消防団活動	国際交流・外国人支援活動	地域センター活動
全体	1747	45.6	3.2	3.3	9.8	2.7	1.9	6.9	1.3	0.4	6.8
西条北	427	29.8	3.0	2.2	12.7	1.9	0.6	5.5	0.2	0.8	6.9
西条南	314	33.6	2.7	1.0	8.6	3.5	0.0	5.8	0.7	0.4	5.6
八本松	269	54.5	3.5	3.7	7.1	3.0	1.0	7.4	0.9	0.4	7.7
志和	61	54.4	8.1	10.1	5.9	2.3	2.5	9.3	5.5	0.0	10.2
高屋	275	63.2	0.0	3.8	13.7	1.6	2.6	6.8	0.7	0.0	6.5
黒瀬	209	61.3	3.8	3.2	7.5	3.3	4.5	5.1	3.1	0.0	4.9
福富	23	51.3	11.1	4.8	9.2	4.9	3.7	14.1	6.7	3.6	13.8
豊栄	31	45.0	4.2	6.3	5.6	4.9	5.7	16.2	5.2	1.3	15.4
河内	51	57.7	7.7	9.5	6.4	2.8	3.0	12.6	1.8	0.5	11.9
安芸津	87	31.3	4.7	3.8	8.1	3.3	7.6	11.1	1.9	0.0	3.7
	合計(n=)	子育て支援活動	障がい者支援活動	まちづくり活動	宗教行事	お祭り・盆踊りなど	こどもや青少年の育成活動	その他	参加したことがない	無回答	
全体	1747	1.9	0.7	3.3	3.0	22.9	1.7	2.0	33.7	0.7	
西条北	427	3.5	0.3	3.4	2.0	17.0	2.2	1.7	49.0	0.7	
西条南	314	2.0	0.0	2.5	2.1	21.1	1.4	1.4	46.7	0.3	
八本松	269	1.7	1.2	2.2	0.0	22.6	1.7	2.4	28.6	0.0	
志和	61	0.7	0.4	6.0	9.0	40.5	1.6	3.7	21.6	0.7	
高屋	275	0.6	0.9	3.3	2.8	23.3	1.1	2.5	22.3	0.0	
黒瀬	209	0.4	0.0	2.6	5.1	22.7	1.3	0.0	20.7	1.1	
福富	23	7.2	2.8	7.6	9.0	38.6	4.4	0.8	22.2	1.4	
豊栄	31	1.8	0.0	4.3	8.4	49.8	4.9	2.6	16.3	1.3	
河内	51	2.1	0.0	9.3	7.5	29.0	1.4	2.1	15.3	3.0	
安芸津	87	1.4	4.4	3.7	5.1	28.1	0.6	6.1	24.2	3.4	

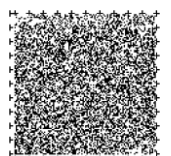


年代別では、全体と比べて「20代以下」「30代」で「参加したことがない」が高くなっていますが、30歳代～50歳代は「こども会やPTA活動」が多くなっています。

■地域の行事や町内活動などへの参加状況（年代別）（複数回答）■

(%)

	合計(n=)	自治会活動	女性活動	老人クラブ活動	こども会やPTA活動	防犯活動・交通安全活動	高齢者支援活動	文化・スポーツ活動	消防団活動	国際交流・外国人支援活動	地域センター活動
全体	1747	45.6	3.2	3.3	9.8	2.7	1.9	6.9	1.3	0.4	6.8
20代以下	253	12.3	0.0	0.9	6.2	0.5	0.4	4.7	1.0	0.0	0.5
30代	255	34.7	0.5	0.0	14.0	2.1	0.0	3.7	0.6	0.1	4.5
40代	297	46.8	0.8	0.0	24.6	1.8	0.5	6.3	1.6	1.8	2.3
50代	288	49.4	0.9	0.1	13.0	2.4	0.5	5.1	2.9	0.3	2.6
60代	232	62.3	3.0	2.4	2.9	4.5	3.3	9.7	2.0	0.1	8.9
70代	332	60.9	10.1	9.0	0.5	4.3	5.5	10.7	0.3	0.2	18.6
80代以上	90	55.2	9.5	21.5	1.5	3.3	4.3	9.6	0.0	0.3	10.8
	合計(n=)	子育て支援活動	障がい者支援活動	まちづくり活動	宗教行事	お祭り・盆踊りなど	こどもや青少年の育成活動	その他	参加したことがない	無回答	
全体	1747	1.9	0.7	3.3	3.0	22.9	1.7	2.0	33.7	0.7	
20代以下	253	1.5	1.0	0.6	0.5	20.2	0.4	2.5	62.3	0.0	
30代	255	4.0	0.0	3.5	0.6	23.5	1.0	0.0	47.2	0.1	
40代	297	3.5	0.5	4.0	1.1	24.4	4.3	2.0	31.3	0.1	
50代	288	1.2	0.9	3.1	3.2	19.5	1.0	1.5	31.9	0.8	
60代	232	2.1	0.2	3.2	3.9	21.8	2.4	2.0	22.0	1.1	
70代	332	0.1	1.4	5.1	5.4	28.2	1.3	3.6	16.6	0.3	
80代以上	90	0.0	0.0	2.0	10.8	17.4	0.0	1.2	22.5	6.0	



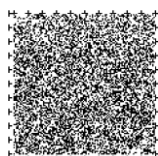
地域活動等に参加したことがない理由については、「忙しくて時間がない」が半数近くを占め、次いで「参加するきっかけがない」「活動があることを知らない・内容をよく知らない」となっています。

年代別でみると、全体と比べて「20代以下」で「活動があることを知らない・内容をよく知らない」、「30代」で「忙しくて時間がない」、「40代」で「人間関係がわずらわしい」、「70代」「80代以上」で「健康や体力に自信がない」が特に高くなっています。

■ 地域活動等に参加したことがない理由（年代別）（複数回答） ■

(%)

	合計(n=)	忙しくて時間がない	一緒に参加する人がいない	人間関係がわずらわしい	役員や世話人になりたくない	参加するきっかけがない	家族の協力・理解がない	健康や体力に自信がない	行事や活動に関する情報がない
全体	589	47.4	34.1	27.1	19.6	39.4	0.7	11.0	15.2
20代以下	158	55.2	41.2	17.2	14.6	43.4	0.0	0.4	14.1
30代	120	59.6	41.2	37.0	28.7	42.8	0.9	4.7	19.1
40代	93	48.9	33.0	41.0	23.7	32.8	1.4	8.3	19.9
50代	92	44.0	36.8	19.3	14.6	36.8	0.8	9.3	16.3
60代	51	41.5	15.6	24.6	24.9	34.6	1.9	14.1	11.6
70代	55	16.6	17.8	33.6	17.8	46.7	0.0	41.5	6.9
80代以上	20	21.6	19.8	6.5	0.0	21.6	0.0	60.4	5.8
	合計(n=)	子どもや介護が必要な家族をみてくれる人がいない	身近なところに活動の場がない	興味の持てる活動が見つからない	活動に経費がかかる	活動があることを知らない・内容をよく知らない	その他	無回答	
全体	589	4.3	5.5	8.0	3.7	38.0	5.4	0.5	
20代以下	158	0.9	7.4	8.0	4.9	55.0	4.0	0.0	
30代	120	9.6	7.4	7.4	3.9	42.8	6.9	0.0	
40代	93	6.6	0.2	5.0	3.5	31.0	8.7	0.3	
50代	92	5.0	5.1	8.4	2.2	34.5	7.1	0.0	
60代	51	1.3	2.7	6.5	0.0	20.6	5.2	0.0	
70代	55	1.9	3.4	16.0	7.6	16.0	0.0	2.1	
80代以上	20	0.0	19.8	5.8	0.0	27.9	0.0	6.5	



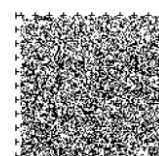
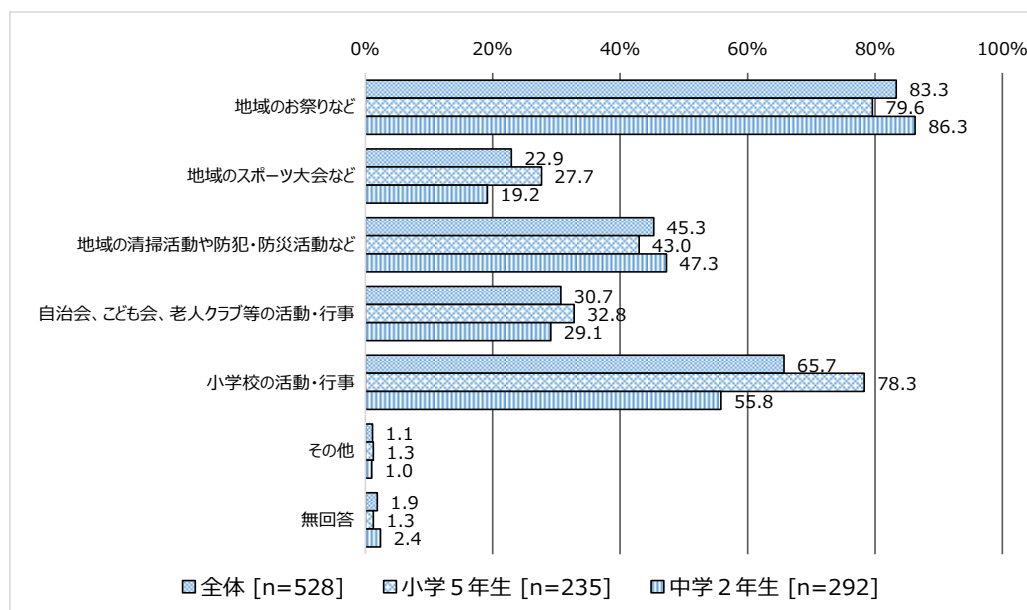
地域の愛着度別でみると、全体と比べて「愛着を感じている」人は「忙しくて時間がない」が高くなりますが、「どちらかといえば愛着を感じていない」人は「一緒に参加する人がいない」が、「全く愛着を感じていない」人は「人間関係がわずらわしい」「活動があることを知らない・内容をよく知らない」がそれぞれ特に高くなっています。

■地域活動等に参加したことがない理由（地域の愛着度別）（複数回答）■

	合計(n=)	忙しくて時間がない	一緒に参加する人がいない	人間関係がわずらわしい	役員や世話人になりたくない	参加するきっかけがない	家族の協力・理解がない	健康や体力に自信がない	行事や活動に関する情報がない
全体	589	47.4	34.1	27.1	19.6	39.4	0.7	11.0	15.2
愛着を感じている	59	61.3	9.9	31.3	9.1	29.5	1.9	19.8	3.4
どちらかといえば愛着を感じている	308	43.1	32.4	22.2	18.2	41.5	0.7	12.4	16.2
どちらかといえば愛着を感じていない	152	46.8	46.8	28.9	24.2	43.8	0.5	8.7	15.2
全く愛着を感じていない	69	56.1	34.6	41.6	25.1	28.5	0.0	2.3	21.1
	合計(n=)	子どもや介護が必要な家族をみてくれる人がいない	身近なところに活動の場がない	興味の持てる活動が見つからない	活動に経費がかかる	活動があることを知らない・内容をよく知らない	その他	無回答	
全体	589	4.3	5.5	8.0	3.7	38.0	5.4	0.5	
愛着を感じている	59	1.8	0.0	8.9	7.8	19.1	3.8	0.0	
どちらかといえば愛着を感じている	308	4.8	5.9	9.9	4.4	39.2	6.2	0.5	
どちらかといえば愛着を感じていない	152	5.2	7.2	3.3	0.9	36.7	5.1	0.9	
全く愛着を感じていない	69	2.4	4.9	9.2	3.3	51.6	3.8	0.0	

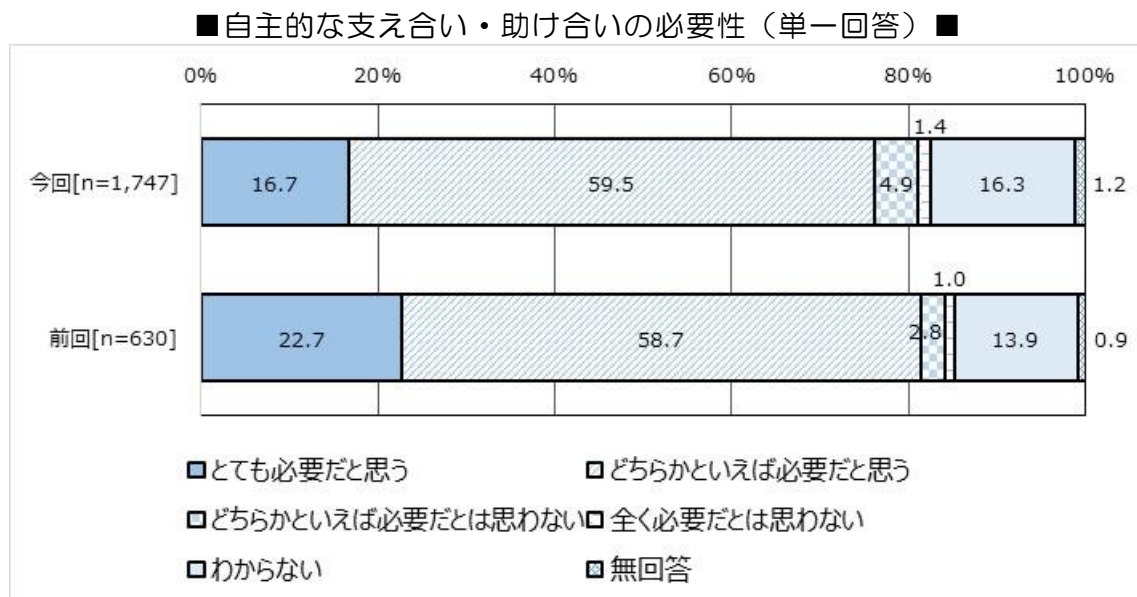
小中学生調査では、地域活動の参加状況は、「地域のお祭りなど」が83.3%と最も高く、次いで「小学校の活動・行事」が65.7%、「地域の清掃活動や防犯・防災活動など」が45.3%となっています。

■小中学生の地域活動の参加状況（複数回答）■



(5) 支え合い・助け合いの意識

自主的な支え合い・助け合いの必要性は、「とても必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」が合わせて76.2%となっていますが、前回の81.4%よりも低くなっています。

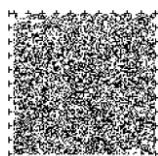


圏域別でみると、「豊栄」「福富」「西条南」で「とても必要だと思う」が全体と比べ、特に高くなっています。

■自主的な支え合い・助け合いの必要性（圏域別）（単一回答）■

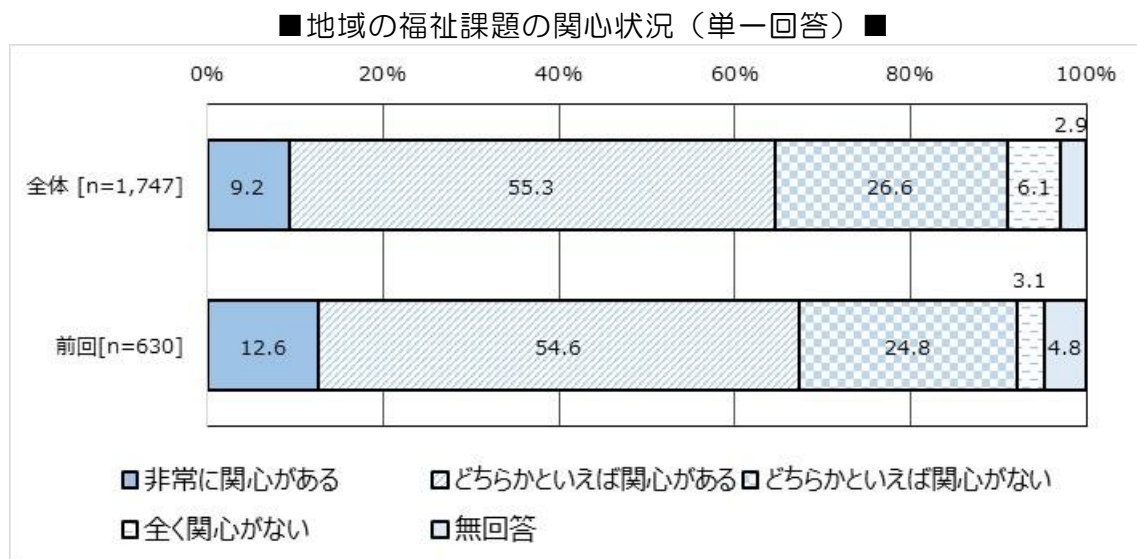
(%)

	合計(n=)	とても必要 だと思う	どちらかとい えば必要 だと思う	どちらかとい えば必要 だとは思 わない	全く必要だ とは思わ ない	わからない	無回答
全体	1,747	16.7	59.5	4.9	1.4	16.3	1.2
西条北	427	15.1	60.7	5.4	1.4	16.9	0.6
西条南	314	20.8	51.9	3.2	2.4	21.2	0.4
八本松	269	15.4	64.2	4.3	0.8	14.5	0.8
志和	61	19.1	48.4	4.7	2.2	25.6	0.0
高屋	275	14.7	64.0	7.5	1.7	10.1	1.9
黒瀬	209	15.3	61.4	3.5	1.3	17.8	0.6
福富	23	20.9	53.5	6.3	0.5	13.4	5.4
豊栄	31	22.9	61.8	2.5	0.6	9.5	2.6
河内	51	18.3	60.1	7.2	0.4	9.8	4.3
安芸津	87	16.3	55.6	5.5	0.0	18.3	4.3



(6) 住んでいる地域においての問題や課題

地域の福祉課題の関心状況は、「どちらかといえば関心がある」が55.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば関心がない」が26.6%、「非常に関心がある」が9.2%となっています。

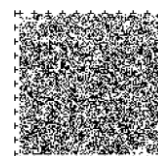


圏域別では、全体と比べて、「豊栄」「福富」「河内」で「非常に関心がある」が高く、「安芸津」「黒瀬」で「全く関心がない」が高くなっています。

■地域の福祉課題の関心状況（圏域別）（単一回答）■

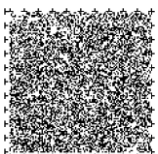
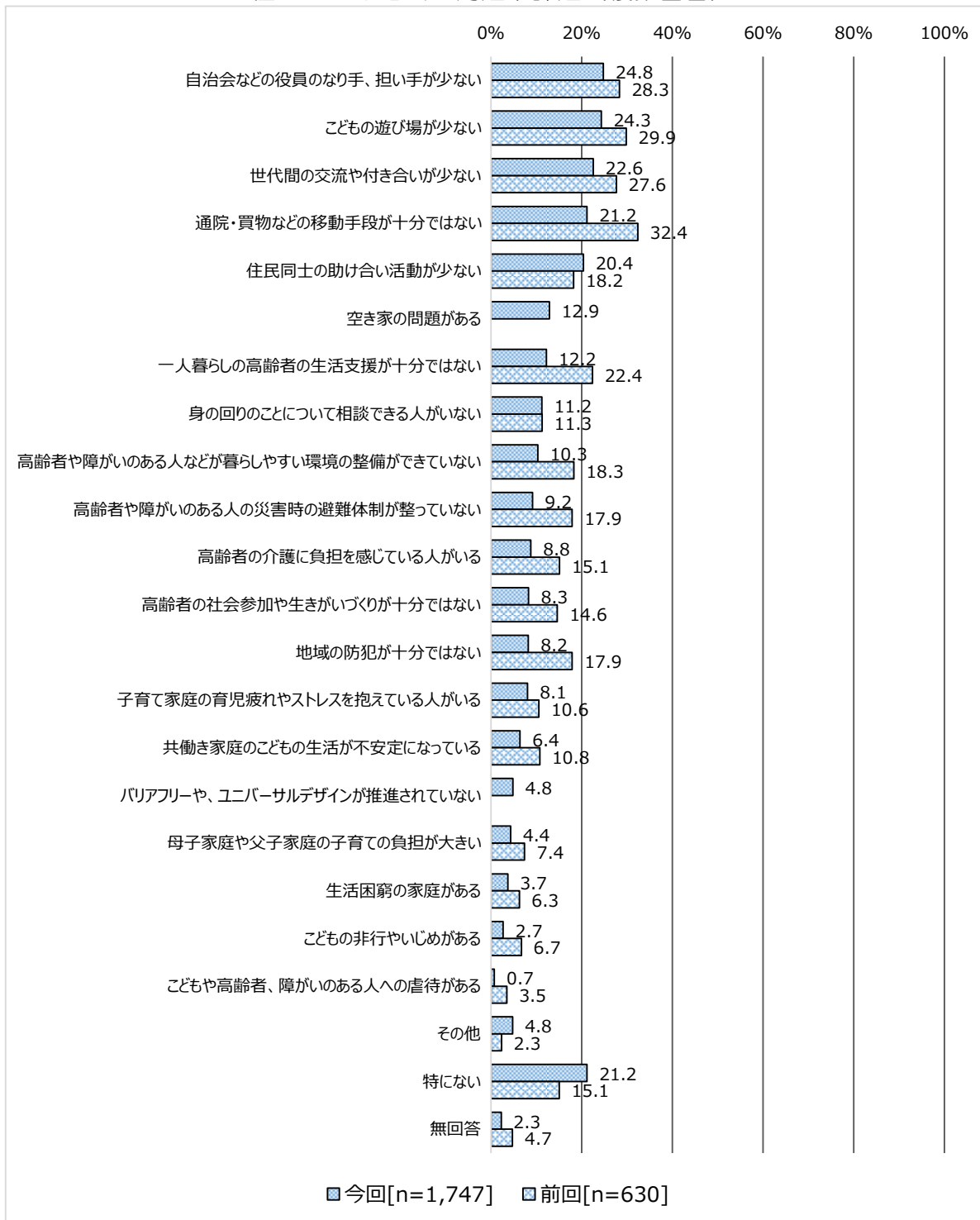
(%)

	合計(n=)	非常に関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	全く関心がない	無回答
全体	1,747	9.2	55.3	26.6	6.1	2.9
西条北	427	8.8	55.7	27.1	6.7	1.7
西条南	314	11.0	51.1	30.0	6.5	1.4
八本松	269	9.3	56.1	30.0	3.4	1.3
志和	61	9.3	49.3	28.5	7.3	5.6
高屋	275	9.5	59.0	24.1	5.4	2.0
黒瀬	209	5.2	52.2	28.3	8.0	6.4
福富	23	12.9	59.8	17.7	3.4	6.2
豊栄	31	13.4	60.0	18.1	3.1	5.5
河内	51	12.1	59.0	17.9	3.7	7.3
安芸津	87	8.8	60.4	13.7	9.7	7.3



住んでいる地域の問題や課題は、「自治会などの役員のなり手、担い手が少ない」「こどもの遊び場が少ない」「世代間の交流や付き合いが少ない」がほぼ同じ割合となっています。概ね、前回より割合が低くなっていますが、「特にない」が前回より高くなっています。

■住んでいる地域の問題や課題（複数回答）■

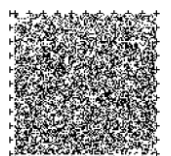


圏域別では、全体と比べて「黒瀬」「福富」「豊栄」「河内」「安芸津」で「自治会などの役員のなり手、担い手が少ない」が高く、「福富」「豊栄」「河内」「安芸津」では、「一人暮らしの高齢者の生活支援が十分ではない」が高くなっています。また、「志和」「福富」「豊栄」「河内」「安芸津」では「通院・買物などの移動手段が十分ではない」が高く、「福富」「豊栄」では「空き家の問題がある」も高くなっています。また、「西条北」では「こどもの遊び場が少ない」が高くなっています。

■住んでいる地域の問題や課題（圏域別）（単一回答）■

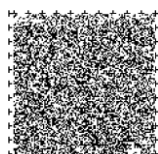
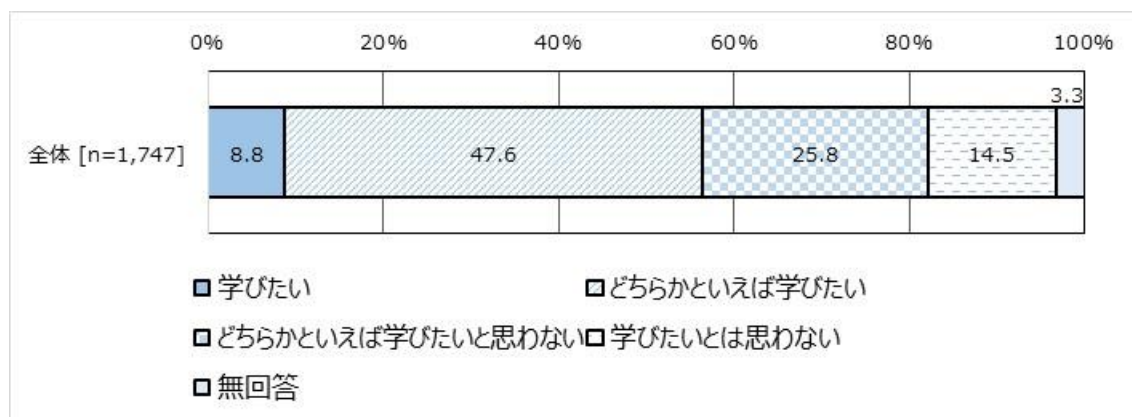
(%)

	合計(n=)	身の回りのことについて相談できる人がいない	住民同士の助け合い活動が少ない	自治会などの役員のなり手、担い手が少ない	世代間の交流や付き合いが少ない	高齢者の介護に負担を感じている人がいる	一人暮らしの高齢者の生活支援が十分ではない	高齢者の社会参加や生きがいづくりが十分ではない	高齢者や障がいのある人などが暮らしやすい環境の整備ができていない
全体	1,747	11.2	20.4	24.8	22.6	8.8	12.2	8.3	10.3
西条北	427	13.4	22.2	18.9	27.3	7.8	8.5	6.1	6.7
西条南	314	15.1	22.8	17.3	22.0	6.9	13.8	6.3	9.5
八本松	269	9.1	16.7	29.3	17.6	9.1	9.3	9.5	14.0
志和	61	10.8	19.6	27.2	25.1	7.7	14.5	10.5	13.5
高屋	275	8.3	21.5	25.0	22.5	9.0	14.5	8.6	10.0
黒瀬	209	8.1	16.6	33.3	21.7	10.0	9.4	9.1	12.0
福富	23	11.3	16.4	32.3	23.7	10.8	19.7	9.3	14.2
豊栄	31	5.4	19.3	34.9	21.3	11.9	21.2	16.3	14.9
河内	51	11.3	18.4	38.3	17.4	7.5	18.8	11.7	15.4
安芸津	87	12.4	23.0	30.2	20.1	15.7	22.7	12.4	8.8
	合計(n=)	子育て家庭の育児疲れやストレスを抱えている人がいる	こどもの非行やいじめがある	こどもの遊び場が少ない	高齢者や障がいのある人の災害時の避難体制が整っていない	地域の防犯が十分ではない	通院・買物などの移動手段が十分ではない	こどもや高齢者、障がいのある人への虐待がある	バリアフリーや、ユニバーサルデザインが推進されていない
全体	1,747	8.1	2.7	24.3	9.2	8.2	21.2	0.7	4.8
西条北	427	11.6	2.5	34.9	4.6	7.1	12.6	0.6	5.2
西条南	314	7.3	3.3	27.6	9.8	10.7	22.7	0.4	4.9
八本松	269	9.5	3.0	24.6	10.8	7.5	21.3	1.6	5.9
志和	61	2.3	0.0	18.9	13.3	5.6	29.6	0.0	1.6
高屋	275	6.3	2.6	19.8	9.2	5.3	24.2	0.8	4.0
黒瀬	209	7.6	4.1	15.0	10.4	9.1	18.9	0.7	4.6
福富	23	7.1	3.3	13.0	14.5	12.0	37.1	2.8	5.4
豊栄	31	5.5	1.7	12.4	13.4	9.9	30.2	0.9	4.4
河内	51	3.5	0.0	7.9	9.6	13.8	39.4	0.0	5.5
安芸津	87	3.6	0.6	17.8	15.4	11.4	29.3	0.0	4.3
	合計(n=)	空き家の問題がある	共働き家庭のこどもの生活が不安定になっている	母子家庭や父子家庭の子育ての負担が大きい	生活困窮の家庭がある	その他	特になし	無回答	
全体	1,747	12.9	6.4	4.4	3.7	4.8	21.2	2.3	
西条北	427	8.6	8.7	4.8	3.3	6.7	24.1	0.8	
西条南	314	5.1	6.0	5.3	5.6	6.0	23.5	0.4	
八本松	269	9.5	7.1	4.3	4.4	4.2	23.4	0.0	
志和	61	28.6	4.5	0.9	0.8	2.6	17.8	3.7	
高屋	275	10.4	3.4	2.7	0.4	4.3	19.2	3.3	
黒瀬	209	18.2	7.8	5.8	4.7	2.9	21.4	5.2	
福富	23	41.0	5.7	5.0	5.7	2.2	12.4	4.5	
豊栄	31	47.7	2.4	4.5	5.8	1.7	13.5	8.1	
河内	51	32.4	7.5	3.4	5.2	5.4	10.3	4.4	
安芸津	87	25.3	2.7	3.5	4.6	1.7	11.2	7.4	



生活課題等について学ぶ機会への意思は、「学びたい」と「どちらかといえば学びたい」を合すると56.4%となっています。

■生活課題等について学ぶ機会への意思（単一回答）■



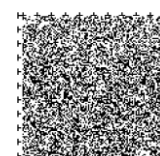
市民と行政との関係についての考え方は、「住民も行政も協力しあい、福祉の充実のために共に取り組むべきである」が27.4%と最も高く、次いで「行政の福祉サービスを基本としながら、足りない部分を市民が助け合うべきである」が26.7%、「地域の住民同士で助け合いながら、足りない部分を行政が支援すべきである」が13.8%となっています。

圏域別でみると、全体と比べて「志和」「河内」では「自分自身で自立していくため、自ら解決すべき課題を乗り越える努力をすべきである」がそれぞれ12.0%、11.1%と高く、「豊栄」「八本松」で「地域の住民同士が交流し、住民同士で支え合う仕組みをつくるべきである」がそれぞれ10.0%、9.2%と高くなっています。また、「安芸津」「福富」で「地域の住民同士で助け合いながら、足りない部分を行政が支援すべきである」が、それぞれ22.1%、18.4%、「西条北」「豊栄」では「行政の福祉サービスを基本としながら、足りない部分を市民が助け合うべきである」がそれぞれ31.4%、30.1%と全体と比べて高くなっています。

■ 市民と行政との関係についての考え方（圏域別）（複数回答） ■

(%)

	合計(n=)	自分自身で自立していくため、自ら解決すべき課題を乗り越える努力をすべきである	地域の住民同士が交流し、住民同士で支え合う仕組みをつくるべきである	地域の住民同士で助け合いながら、足りない部分を行政が支援すべきである	住民も行政も協力しあい、福祉の充実のために共に取り組むべきである	行政の福祉サービスを基本としながら、足りない部分を市民が助け合うべきである	福祉の充実には行政の責務であるため、市民が助け合う必要はない	わからない	無回答
全体	1,747	8.5	6.4	13.8	27.4	26.7	2.7	12.9	1.6
西条北	427	8.8	7.9	13.1	22.2	31.4	2.9	13.3	0.4
西条南	314	7.1	4.7	14.3	30.8	26.5	3.9	10.9	1.7
八本松	269	9.3	9.2	12.2	32.7	25.1	1.4	9.6	0.4
志和	61	12.0	6.8	16.4	22.0	20.6	1.1	16.8	4.3
高屋	275	6.3	5.7	14.8	27.2	27.3	1.8	14.2	2.8
黒瀬	209	9.9	4.4	11.4	28.2	26.9	4.5	13.4	1.3
福富	23	5.9	7.7	18.4	24.3	25.0	2.7	11.6	4.3
豊栄	31	8.6	10.0	15.6	22.3	30.1	0.5	9.4	3.4
河内	51	11.1	4.0	9.0	31.3	22.4	1.9	15.9	4.4
安芸津	87	9.4	2.2	22.1	26.8	14.5	2.7	19.4	3.1



(7) 福祉活動等に関する情報の入手先

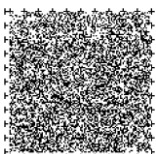
福祉に関する情報の入手先を年代別でみると、各世代とも「市の広報紙」が最も高くなっていますが、次いで「40代」「50代」「60代」「70代」では「地域の回覧板」が、「80代以上」では「新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど」が、「20代以下」「30代」では「インターネット・ホームページ」が高くなっています。

■ 福祉サービスや福祉活動に関する情報の入手方法（年代別）（複数回答） ■

(%)

	合計(n=)	市の広報紙	自治会	地域の回覧板	保育所・幼稚園・学校	市役所の窓口	地域包括支援センター	社会福祉協議会	民生委員児童委員、主任児童委員	新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど
全体	1,747	58.9	16.9	27.8	5.7	5.4	4.1	3.8	2.0	18.9
20代以下	253	33.0	3.3	10.5	6.9	7.0	1.0	0.0	0.0	11.6
30代	255	53.1	10.0	17.5	15.5	4.6	0.9	2.1	0.1	14.1
40代	297	58.3	11.7	25.1	10.5	5.4	3.3	4.3	1.1	12.7
50代	288	61.4	17.0	28.5	3.3	3.9	3.3	3.8	0.9	14.7
60代	232	75.3	20.7	40.3	0.0	6.4	6.0	5.2	2.6	21.0
70代	332	68.1	31.3	40.5	0.4	5.2	5.1	4.3	4.6	31.9
80代以上	90	64.9	28.7	33.0	0.0	6.3	18.9	12.6	8.8	33.3

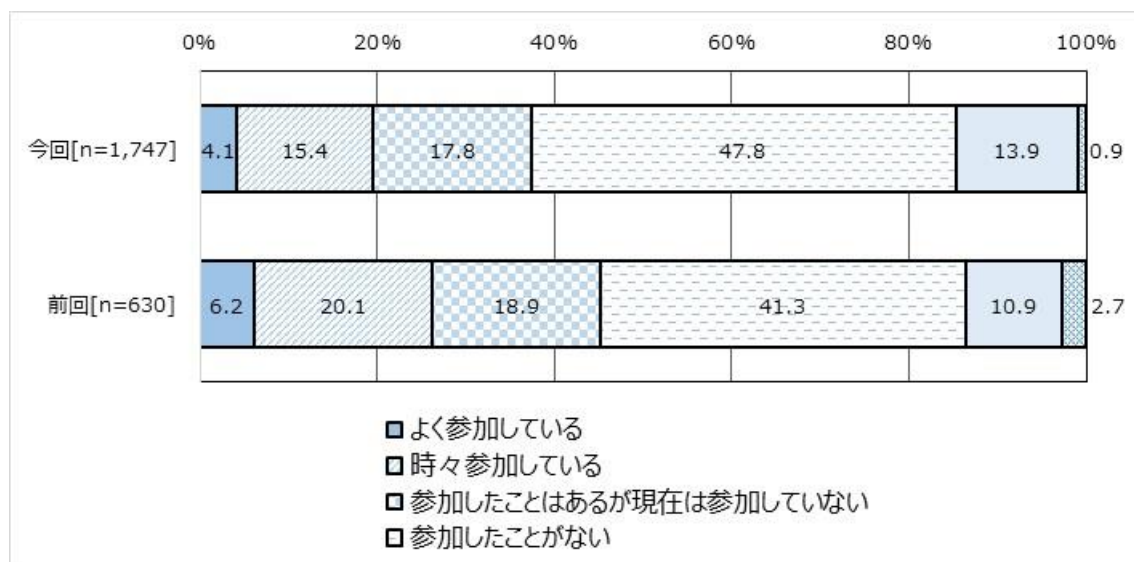
	合計(n=)	インターネット・ホームページ	市のSNS	市以外のSNS	隣近所の人や友人・知人	病院などの医療機関や薬局	その他	特にない	無回答
全体	1,747	17.2	4.5	2.1	12.5	7.1	0.7	16.5	1.3
20代以下	253	23.4	3.2	2.1	9.3	5.1	1.8	33.2	0.6
30代	255	25.0	9.1	5.8	9.6	6.5	1.4	20.9	0.0
40代	297	20.8	8.3	3.7	11.5	8.3	0.9	20.1	1.5
50代	288	20.6	4.7	0.8	7.3	7.9	0.6	14.0	0.4
60代	232	14.8	3.7	0.7	12.4	7.8	0.0	8.7	1.1
70代	332	6.5	0.4	0.4	17.5	5.2	0.0	8.8	3.1
80代以上	90	0.0	0.0	0.0	30.5	13.2	0.0	1.7	3.1



(8) コミュニティ活動・ボランティア活動への参加状況

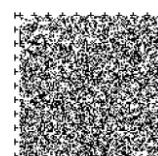
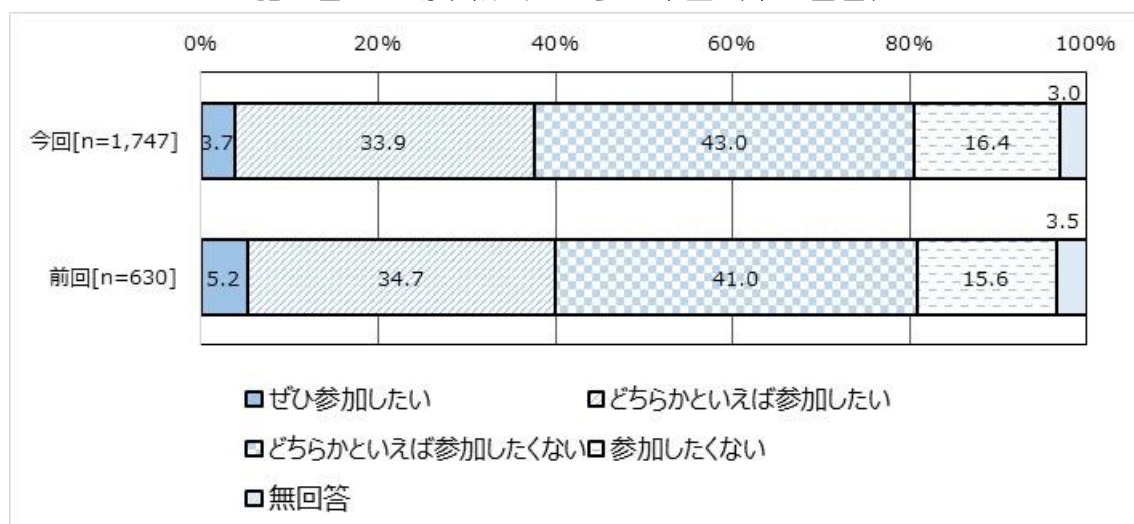
話し合いの場や機会への参加状況は、「よく参加している」「時々参加している」の合計は19.5%となっており、前回の26.3%よりも低くなっています。

■話し合いの場や機会への参加状況（単一回答）■



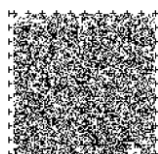
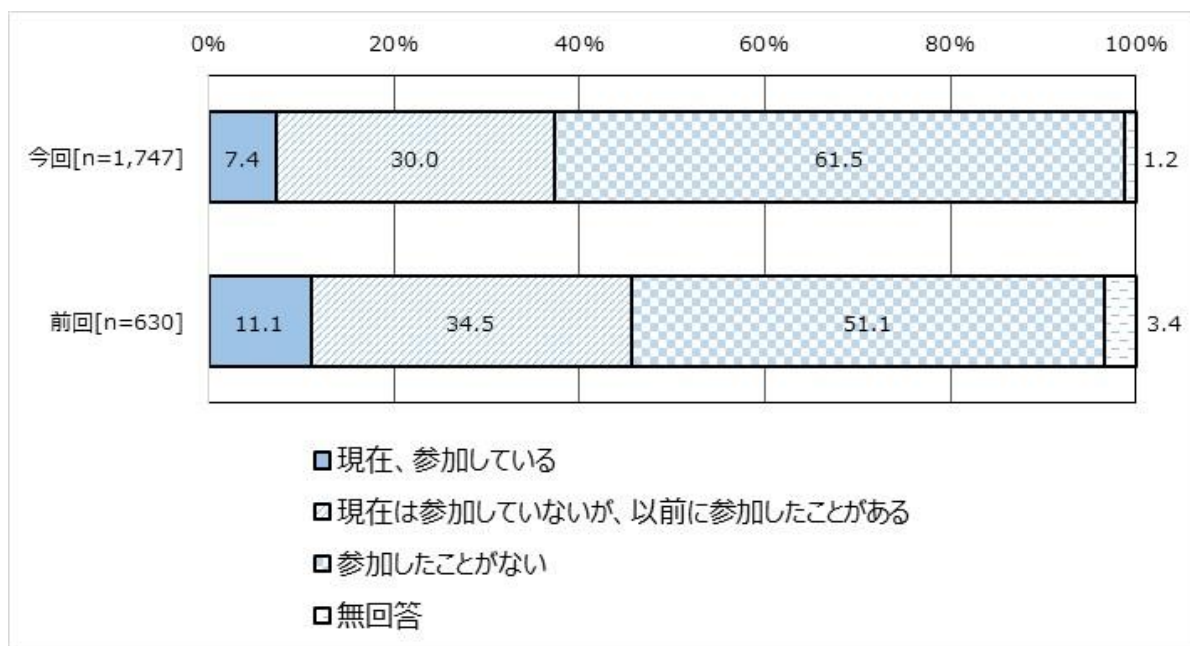
話し合いの場や機会への参加希望は、「ぜひ参加したい」と「どちらかといえば参加したい」の合計が37.6%と、前回の39.9%よりも低くなっています。

■話し合いの場や機会への参加希望（単一回答）■



ボランティア活動への参加経験は、「現在、参加している」が7.4%となっており、前回の11.1%よりも低くなっています。

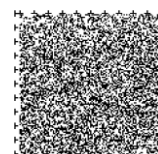
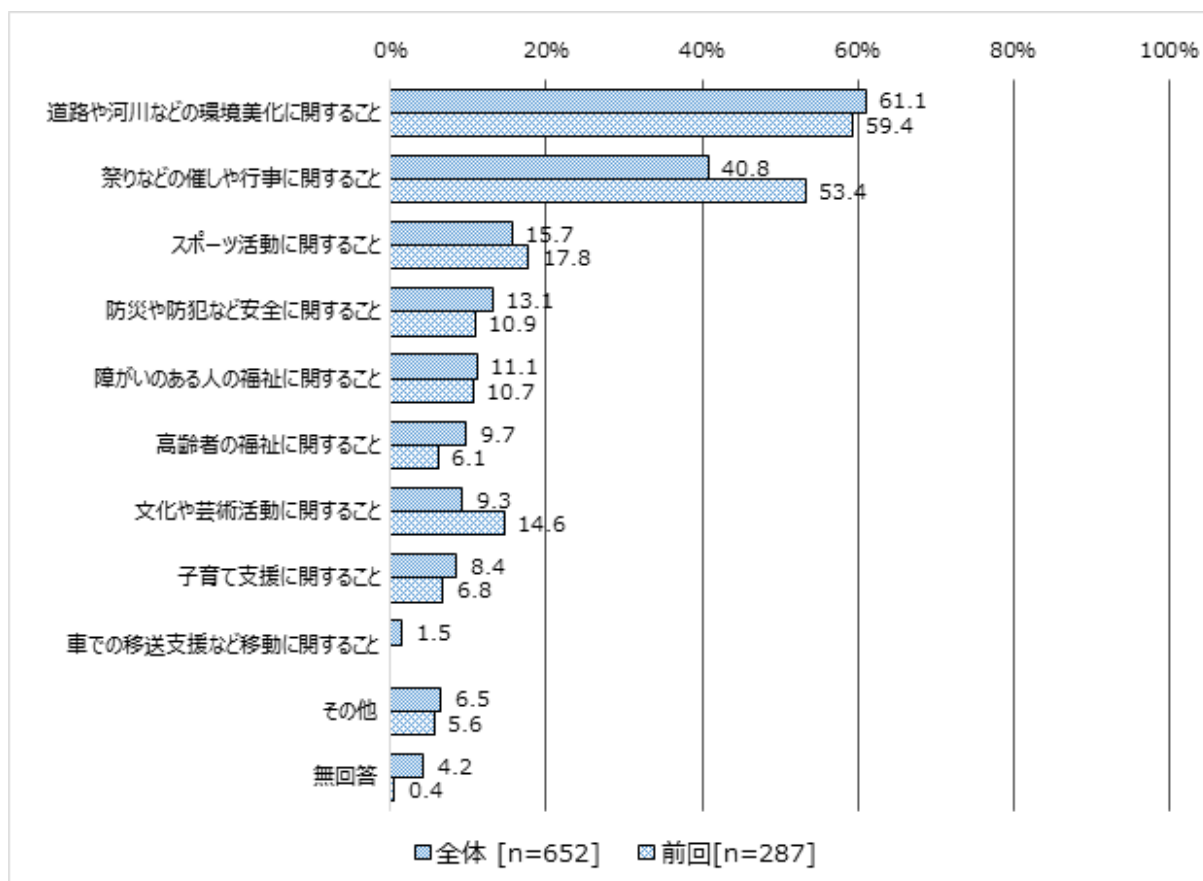
■ ボランティア活動への参加経験（単一回答） ■



「ボランティア活動への参加経験」で「現在、参加している」または「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」と回答した人に参加したことがあるボランティア活動を聞いたところ、「道路や河川などの環境美化に関すること」が61.1%と最も高く、次いで「祭りなどの催しや行事に関すること」が40.8%、「スポーツ活動に関すること」が15.7%となっています。

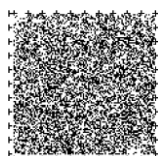
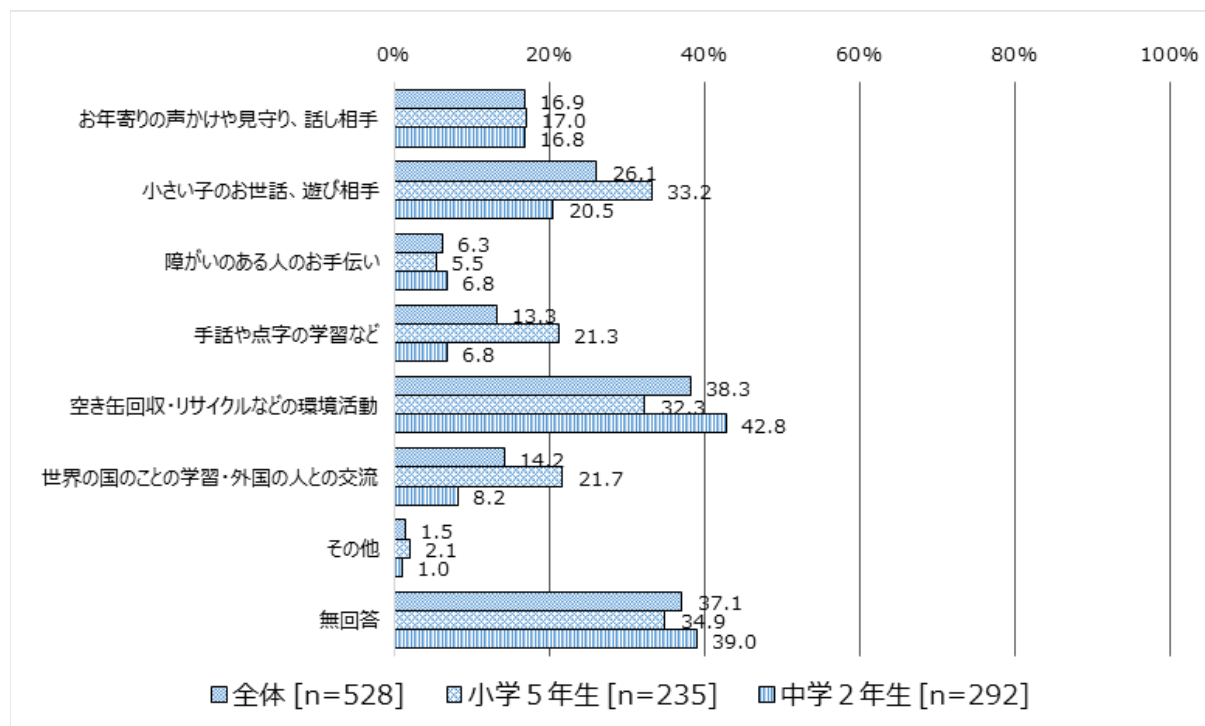
前回と比べて「祭りなどの催しや行事に関すること」や「スポーツ活動に関すること」、「文化や芸術活動に関すること」が低くなっています。

■参加したことがあるボランティア活動（複数回答）■



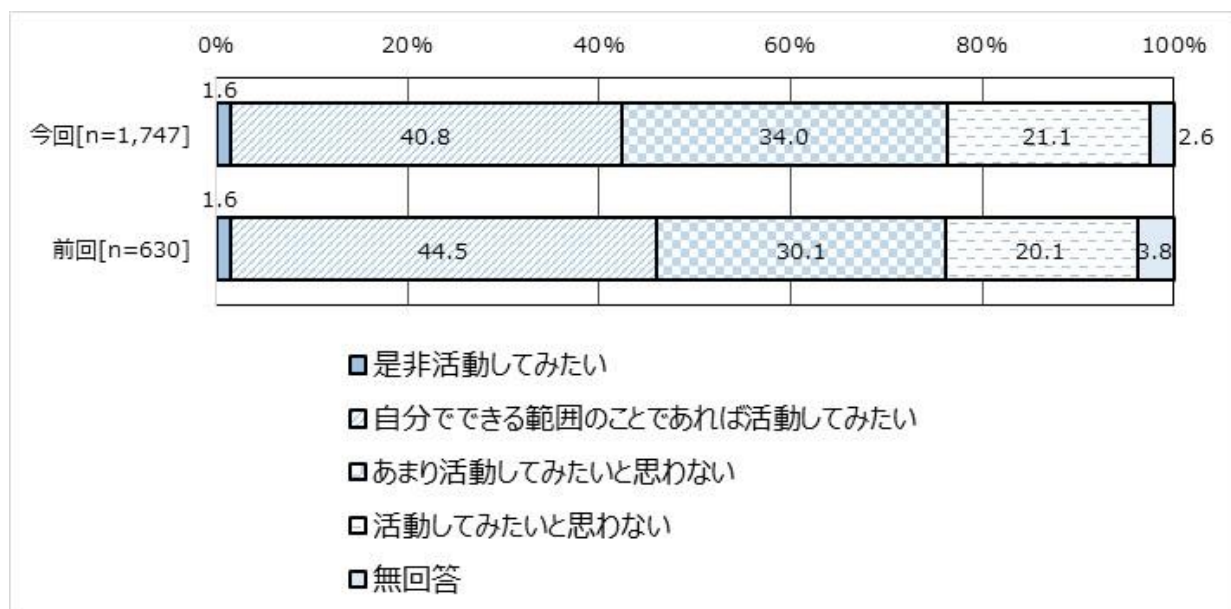
小中学生調査では、ボランティア活動の参加経験は、「空き缶回収・リサイクルなどの環境活動」が38.3%と最も高く、次いで「小さい子のお世話、遊び相手」が26.1%、「お年寄りの声かけや見守り、話し相手」が16.9%となっています。

■小中学生のボランティア活動への参加経験（単一回答）■



地域活動の「担い手」として活動希望は、「自分でできる範囲のことであれば活動してみたい」が40.8%と最も高く、次いで「あまり活動してみたいと思わない」が34.0%、「活動してみたいと思わない」が21.1%となっています。

■「担い手」として活動希望（単一回答）■

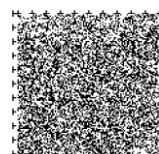


地域活動の「担い手」として活動希望を年代別にみると、「40代」以下は「自分でできる範囲のことであれば活動してみたい」が40%前後となっており、50代と60代では50%弱となっています。

■「担い手」として活動希望（年代別）（単一回答）■

(%)

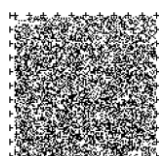
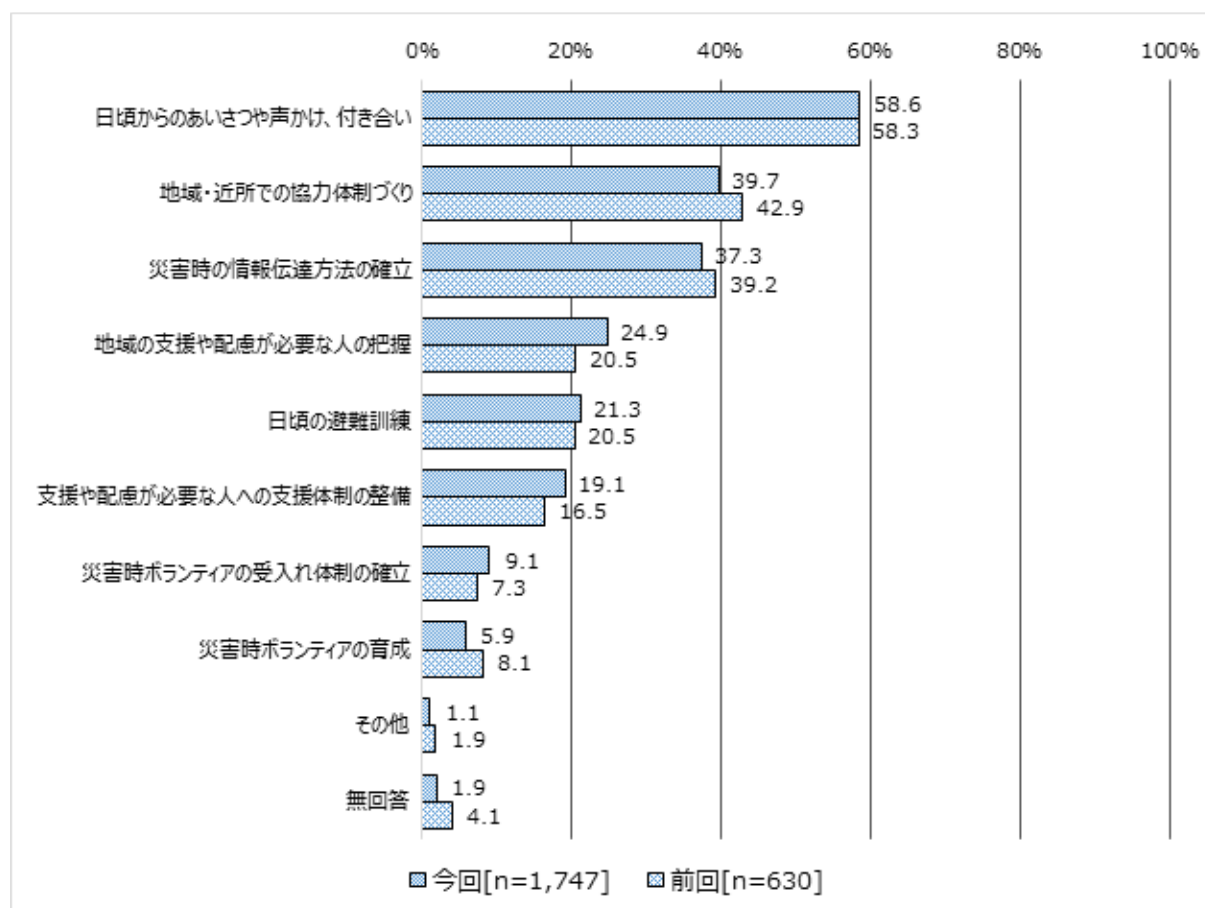
	合計(n=)	是非活動してみたい	自分でできる範囲のことであれば活動してみたい	あまり活動してみたいと思わない	活動してみたいと思わない	無回答
全体	1,747	1.6	40.8	34.0	21.1	2.6
20代以下	253	5.0	38.7	37.1	19.1	0.1
30代	255	0.8	38.5	33.1	27.2	0.4
40代	297	3.0	41.5	35.4	19.4	0.8
50代	288	1.2	47.6	31.7	17.6	1.9
60代	232	0.1	47.5	29.8	19.9	2.7
70代	332	0.0	36.8	37.6	20.3	5.3
80代以上	90	0.0	26.7	27.9	32.4	13.1



(9) 災害等緊急時の備えについて

災害など緊急時の備えとして重要だと思うものは、「日頃からのあいさつや声かけ、付き合い」が58.6%と最も高く、次いで「地域・近所での協力体制づくり」が39.7%、「災害時の情報伝達方法の確立」が37.3%となっています。「地域の支援や配慮が必要な人の把握」が24.9%と前回より高くなっています。

■災害など緊急時の備えとして重要だと思うもの（複数回答）■



(10) 災害等の安否確認の声かけや避難所までの誘導などの活動意思について

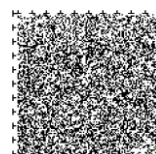
災害時、安否確認の声かけや避難所までの誘導などの活動の意思は、「活動したいと思う」が46.9%と最も高く、次いで「わからない」が39.2%、「活動したいと思わない」が10.9%となっています。

圏域別では、全体と比べて「志和」「八本松」で「活動したいと思う」がそれぞれ52.9%、50.2%と高く、「西条北」「福富」「河内」「西条南」で「活動したいと思わない」が12.3%～15.9%と高くなっています。

■災害時、安否確認の声かけや避難所までの誘導などの活動の意思（圏域別）（複数回答）■

(%)

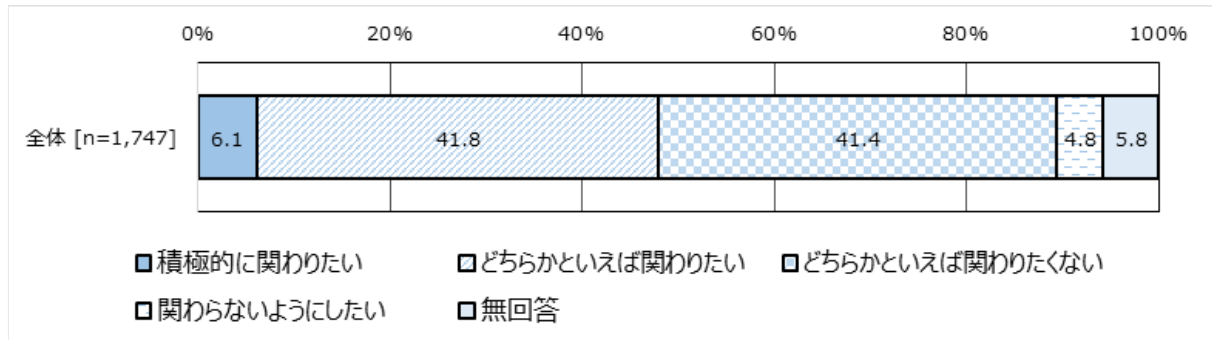
	合計(n=)	活動したい と思う	活動したい と思わない	わからない	無回答
全体	1,747	46.9	10.9	39.2	3.1
西条北	427	48.0	15.9	35.5	0.6
西条南	314	42.3	12.3	43.5	1.9
八本松	269	50.2	9.5	37.7	2.7
志和	61	52.9	6.7	38.3	2.2
高屋	275	49.7	7.6	38.6	4.1
黒瀬	209	42.4	6.1	46.1	5.4
福富	23	44.9	14.6	33.3	7.3
豊栄	31	48.7	7.7	37.5	6.1
河内	51	50.0	13.6	29.4	6.9
安芸津	87	43.1	8.5	40.6	7.8



(11) 外国人との関わりについて

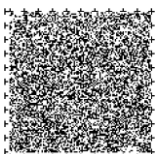
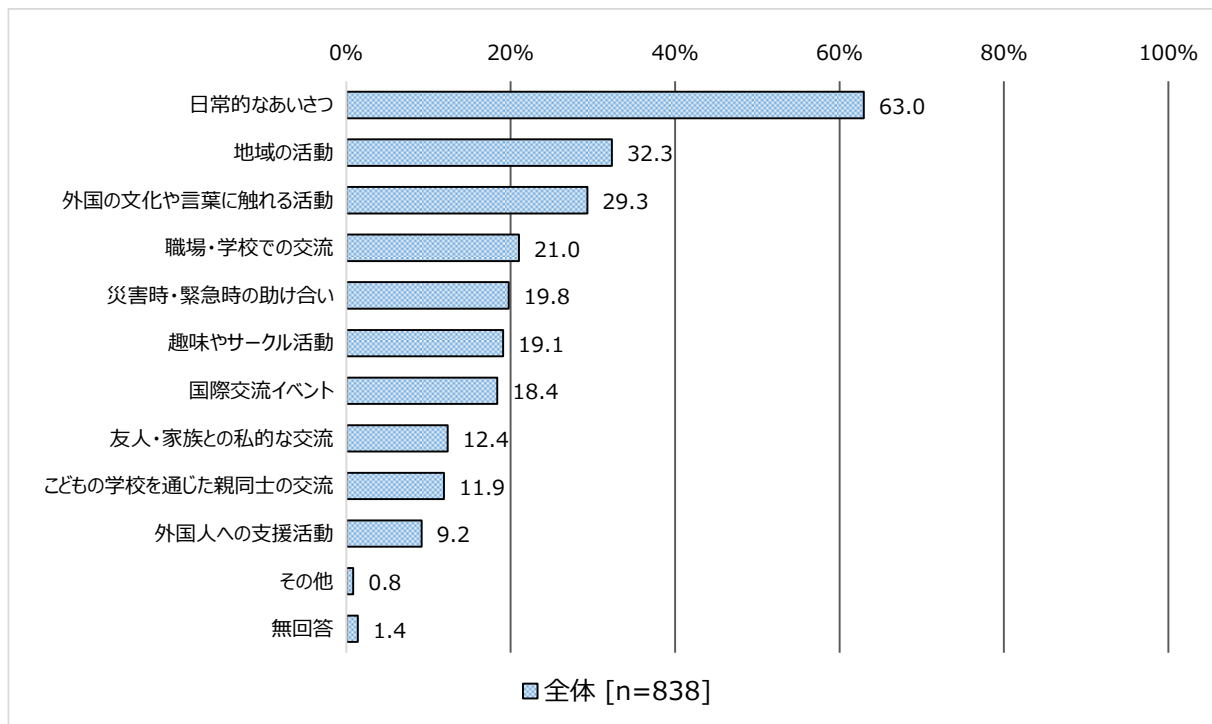
外国人住民との関わり方は、「積極的に関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」を合わせると47.9%、「どちらかといえば関わりたくない」「関わらないようにしたい」を合わせると46.2%となり、「関わりたい人」と「関わりたくない人」はほぼ拮抗しています。

■ 外国人住民との関わり方（単一回答） ■



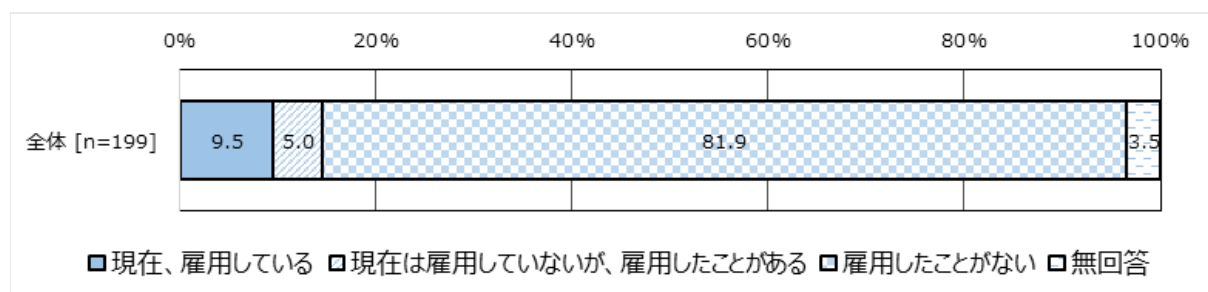
「外国人住民との関わり方」で「積極的に関わりたい」または「どちらかといえば関わりたい」と回答した人に外国人住民と関わりたい機会を聞いたところ、「日常的なあいさつ」が63.0%と最も高く、次いで「地域の活動」が32.3%、「外国の文化や言葉に触れる活動」が29.3%となっています。

■ 外国人住民と関わりたい機会（複数回答） ■



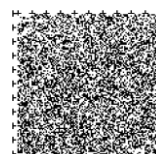
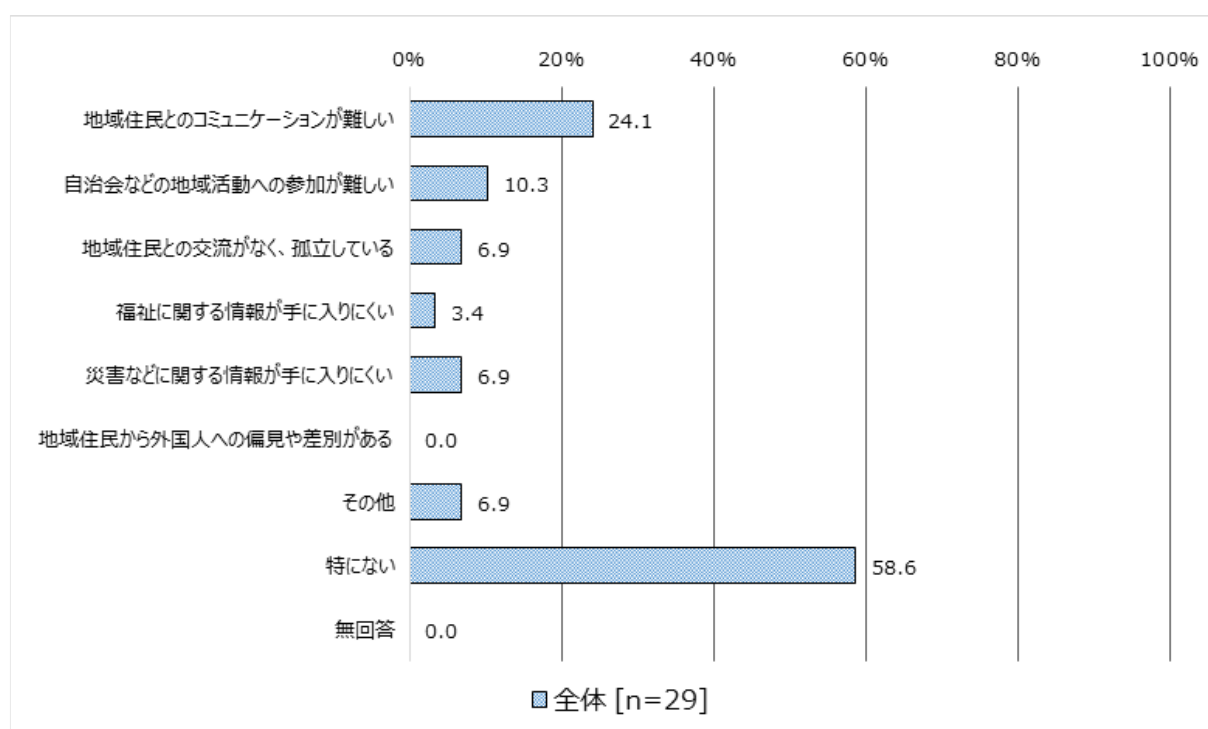
福祉事業所調査では、外国人材（特別永住者を除く）の雇用状況は、「現在、雇用している」が9.5%、「現在は雇用していないが、雇用したことがある」が5.0%となっています。

■外国人材（特別永住者を除く）の雇用状況（単一回答）■



「外国人材（特別永住者を除く）の雇用状況」で「現在、雇用している」または「現在は雇用していないが、雇用したことがある」と回答した福祉事業所に外国人材やその家族に関する地域福祉の課題を聞いたところ、「特にない」が58.6%と最も高く、次いで「地域住民とのコミュニケーションが難しい」が24.1%、「自治会などの地域活動への参加が難しい」が10.3%、「自治会などの地域活動への参加が難しい」が10.3%となっています。

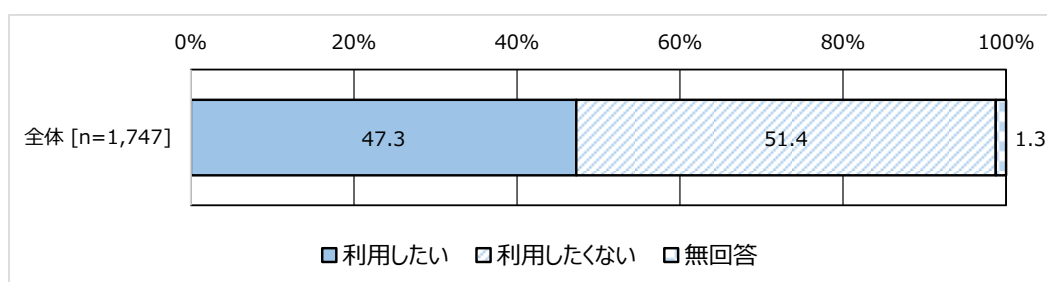
■外国人材やその家族に関する地域福祉の課題（複数回答）■



(12) 成年後見制度について

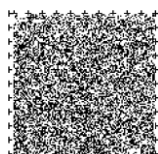
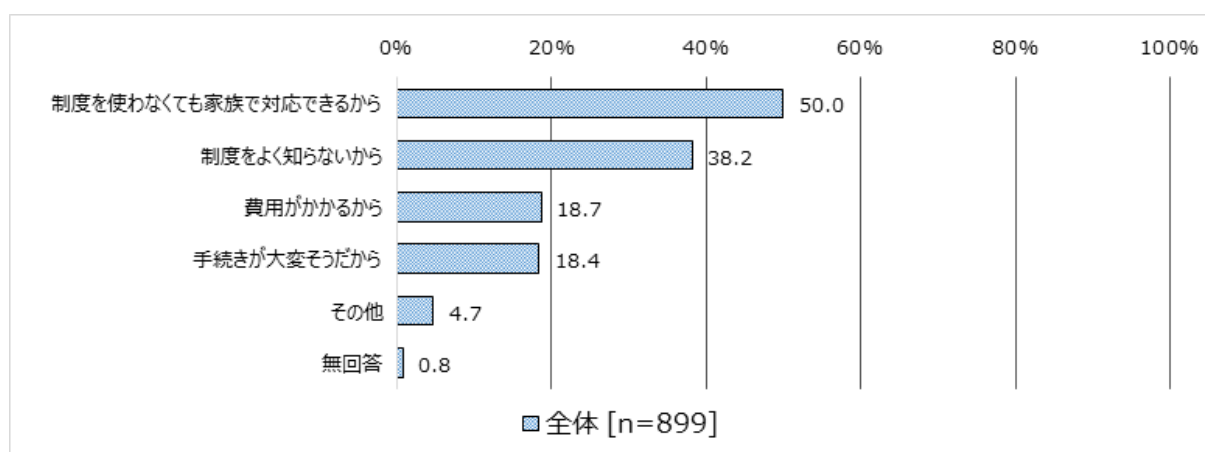
成年後見制度の利用希望は、「利用したい」が47.3%となっています。

■ 成年後見制度の利用希望（単一回答） ■



「成年後見制度の利用希望」で「利用したくない」と回答した人に成年後見制度を利用したくない理由を聞いたところ、「制度を使わなくても家族で対応できるから」が50.0%と最も高く、次いで「制度をよく知らないから」が38.2%となっています。

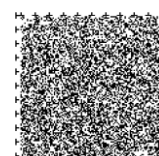
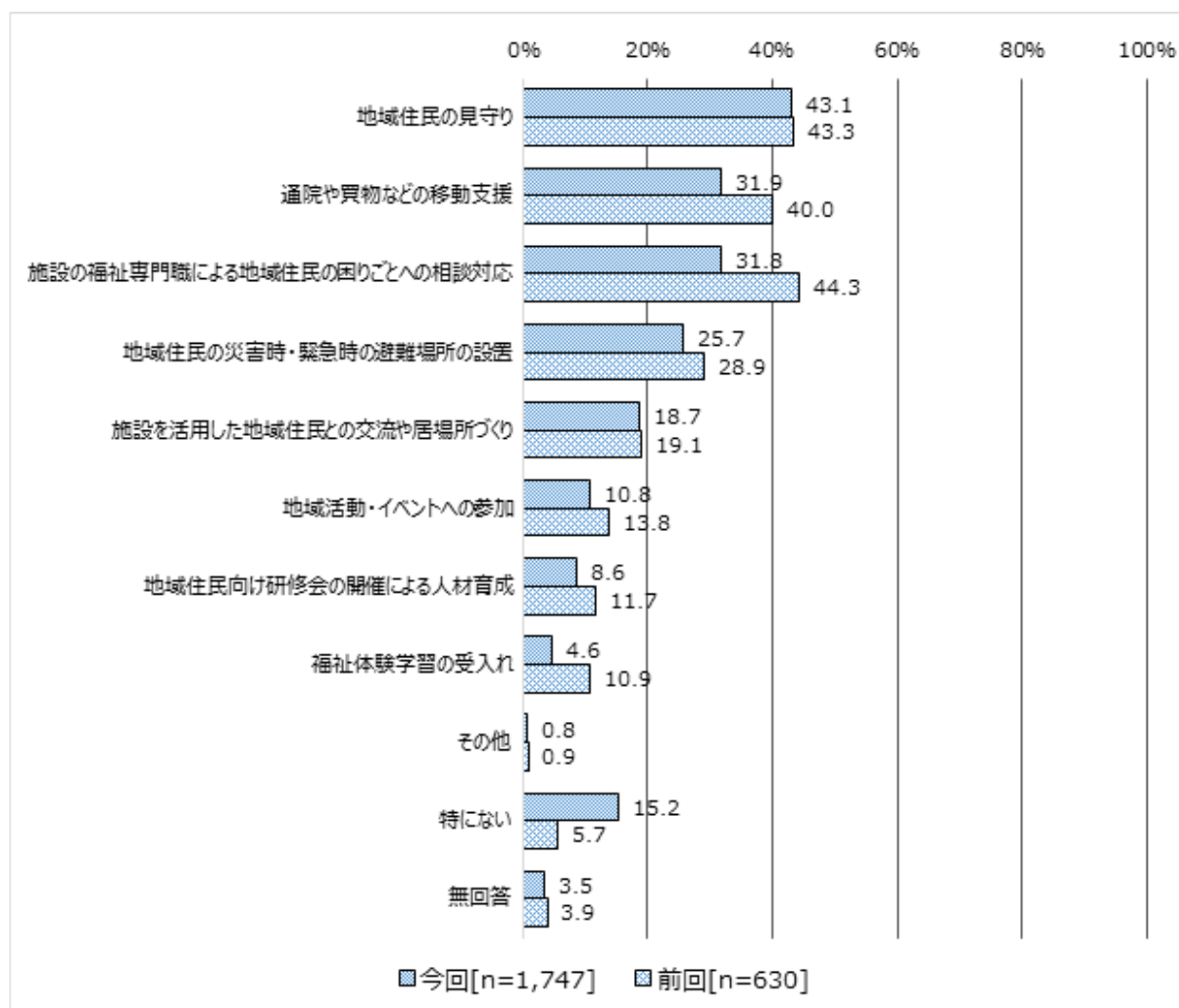
■ 成年後見制度を利用したくない理由（複数回答） ■



(13) 福祉関係団体等による社会貢献活動について

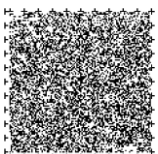
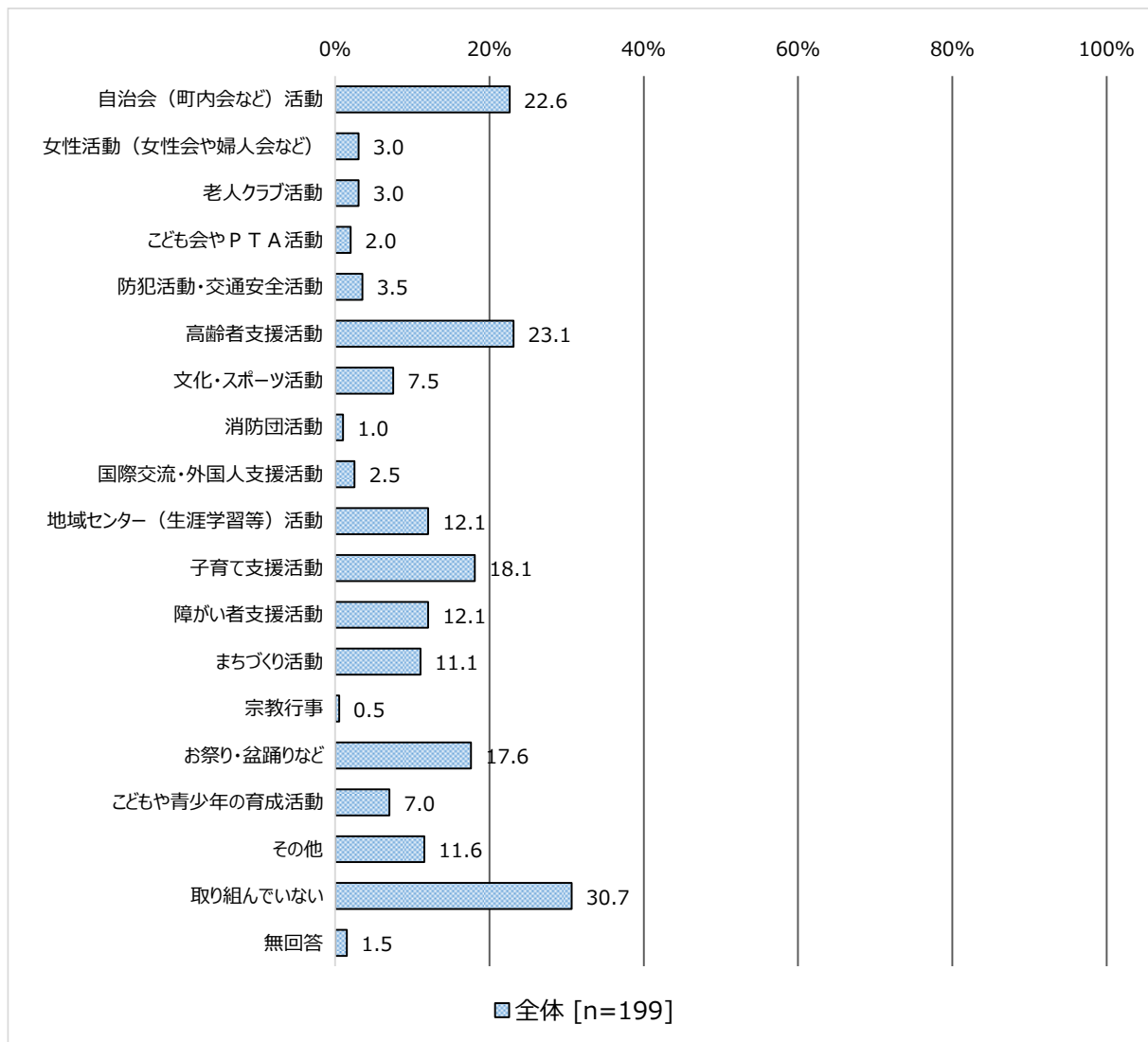
今後、福祉関係団体にしてほしい社会貢献活動は、「地域住民の見守り」が43.1%と最も高く、次いで「通院や買物などの移動支援」が31.9%、「施設の福祉専門職による地域住民の困りごとへの相談対応」が31.8%となっています。

■ 今後、福祉関係団体にしてほしい社会貢献活動（複数回答） ■



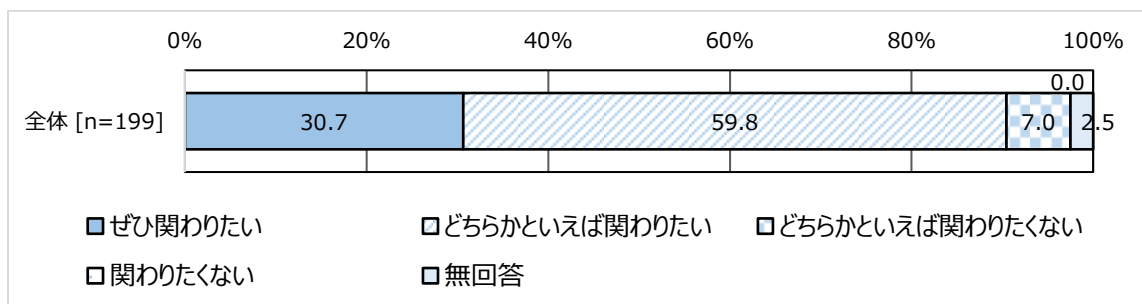
福祉事業所調査から、取り組んでいる地域貢献活動は、「高齢者支援活動」が23.1%、「自治会（町内会など）活動」が22.6%となっています。

■福祉事業所が取り組んでいる地域貢献活動（複数回答）■



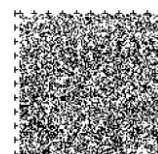
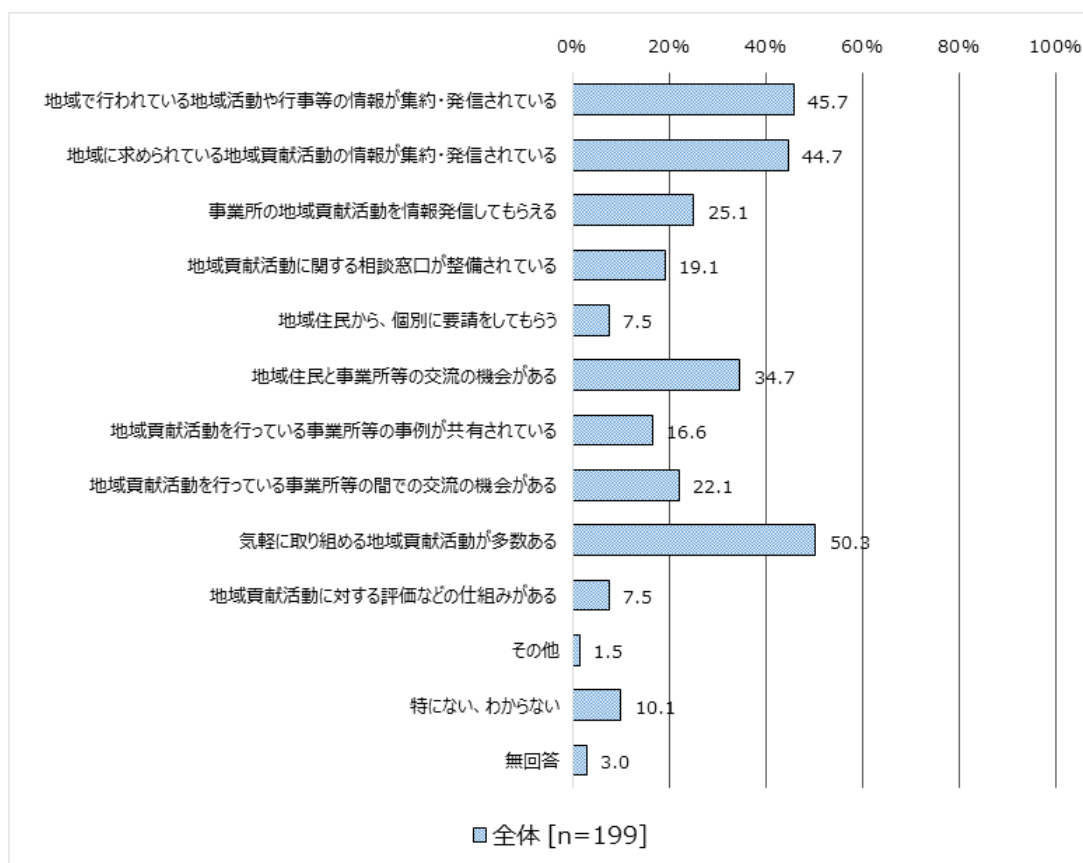
福祉事業所調査から、地域貢献活動の取組意向について、「ぜひ関わりたい」と「どちらかといえば関わりたい」の合計は90.5%となっています。

■福祉事業所の地域貢献活動の取組意向（単一回答）■



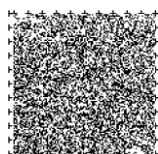
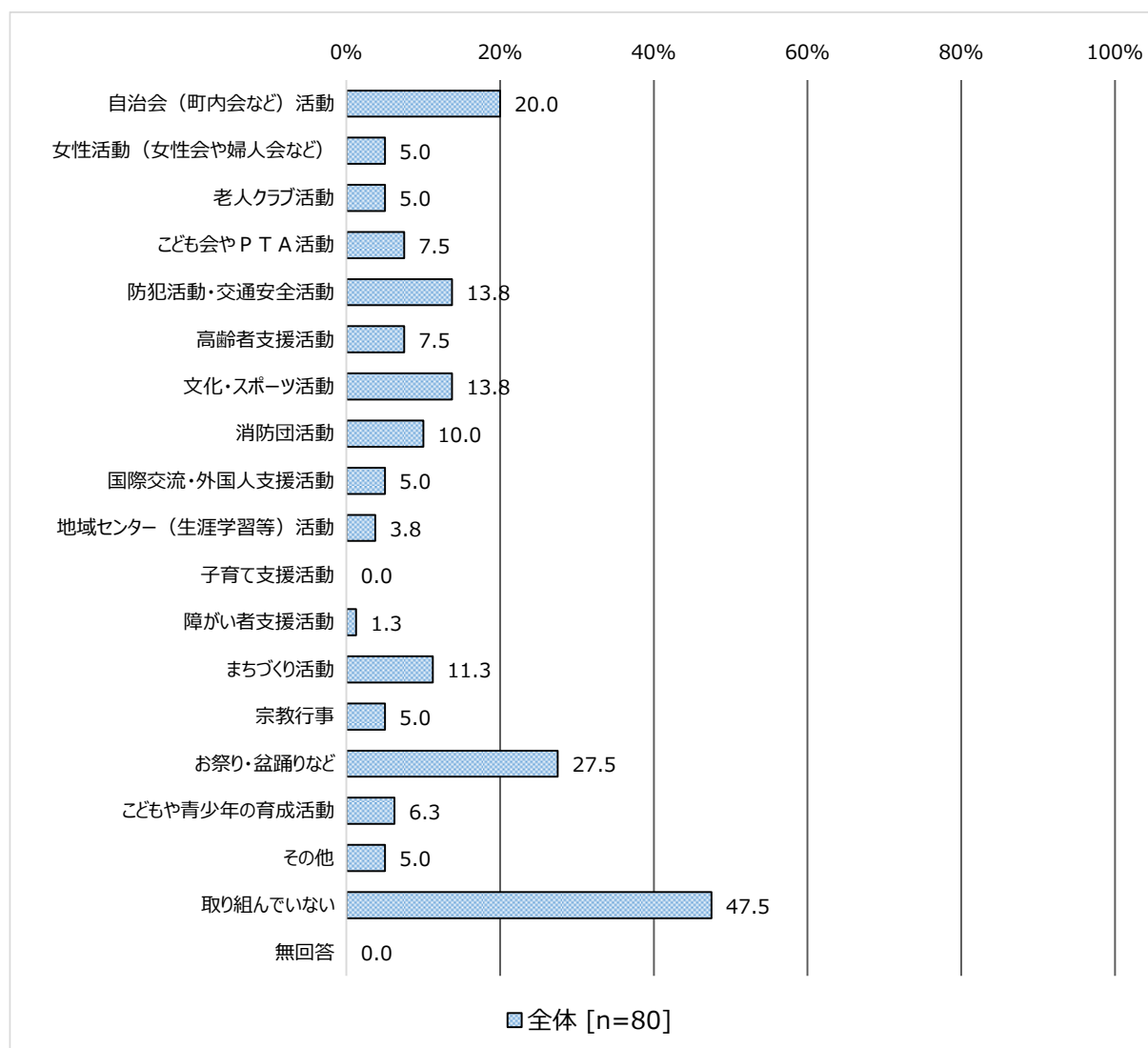
福祉事業所調査から、事業所等による地域貢献活動の活性化に必要なことは、「気軽に取り組める地域貢献活動が多数ある」が50.3%と最も高く、次いで「地域で行われている地域活動や行事等の情報が集約・発信されている」が45.7%、「地域に求められている地域貢献活動の情報が集約・発信されている」が44.7%、「地域に求められている地域貢献活動の情報が集約・発信されている」が44.7%となっています。

■事業所等による地域貢献活動の活性化に必要なこと（複数回答）■



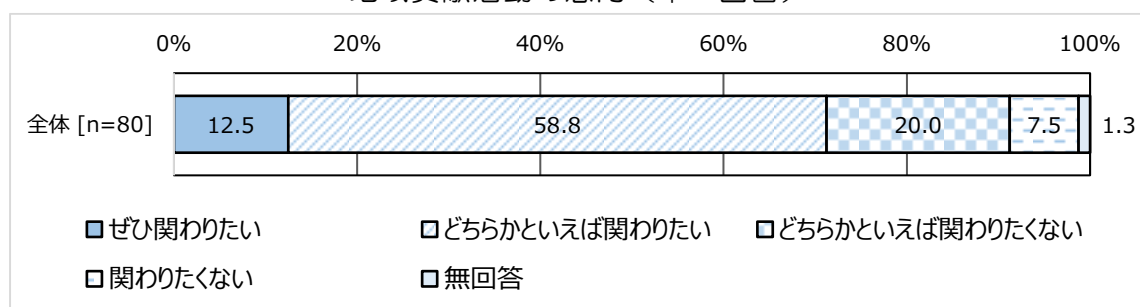
一般事業所調査から、取り組んでいる地域貢献活動は、「お祭り・盆踊りなど」が27.5%、「自治会（町内会など）活動」が20.0%、「防犯活動・交通安全活動」「文化・スポーツ活動」が13.8%となっています。

■取り組んでいる地域貢献活動（複数回答）■



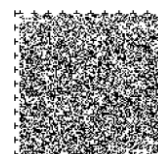
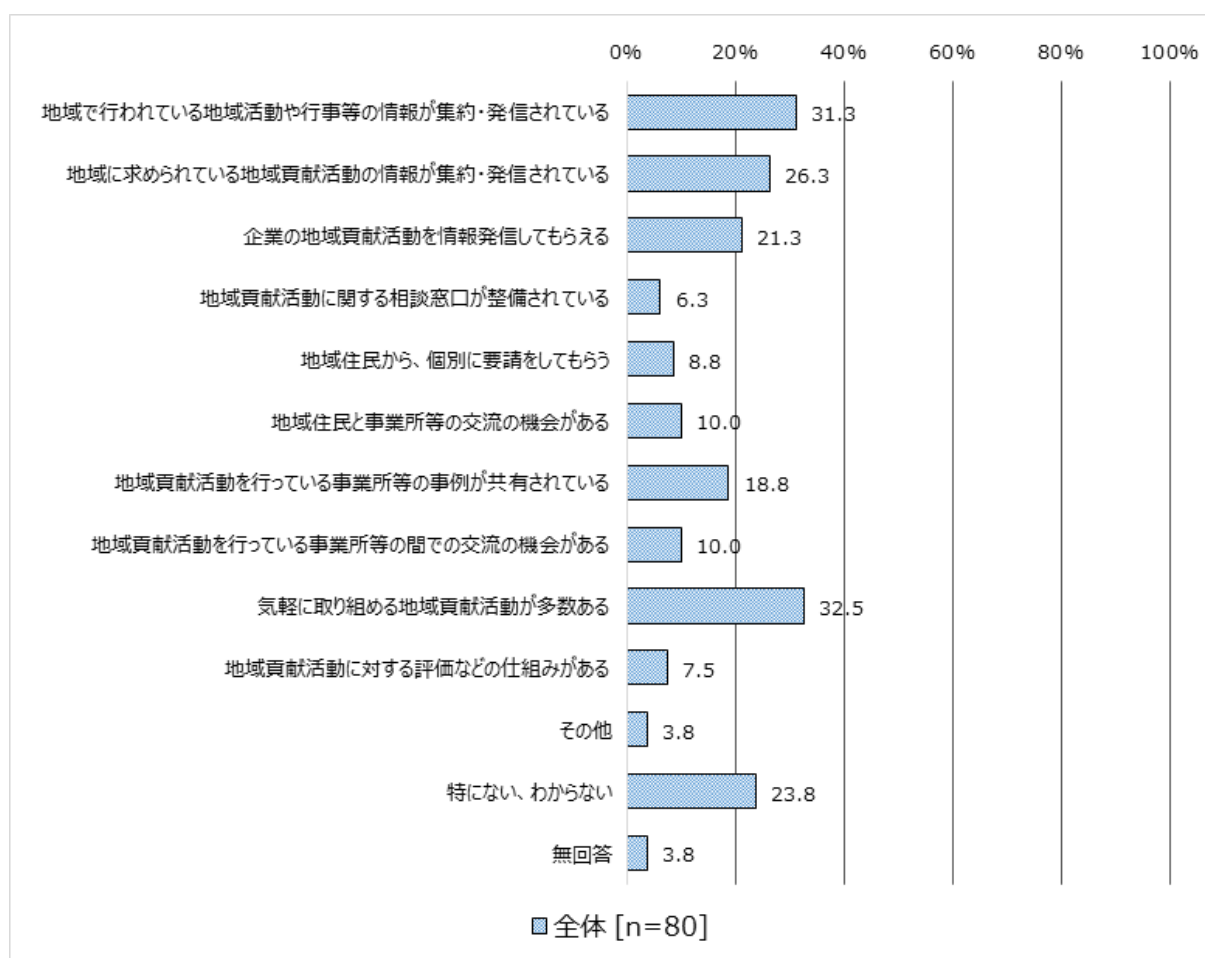
一般事業所調査から、地域貢献活動の意向について、「ぜひ関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」の合計は71.3%となっています。

■ 地域貢献活動の意向（単一回答） ■



一般事業所調査から、事業所等による地域貢献活動の活性化に必要なことは、「気軽に取り組める地域貢献活動が多数ある」が32.5%と最も高く、次いで「地域で行われている地域活動や行事等の情報が集約・発信されている」が31.3%、「地域に求められている地域貢献活動の情報が集約・発信されている」が26.3%、「地域に求められている地域貢献活動の情報が集約・発信されている」が26.3%となっています。

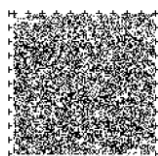
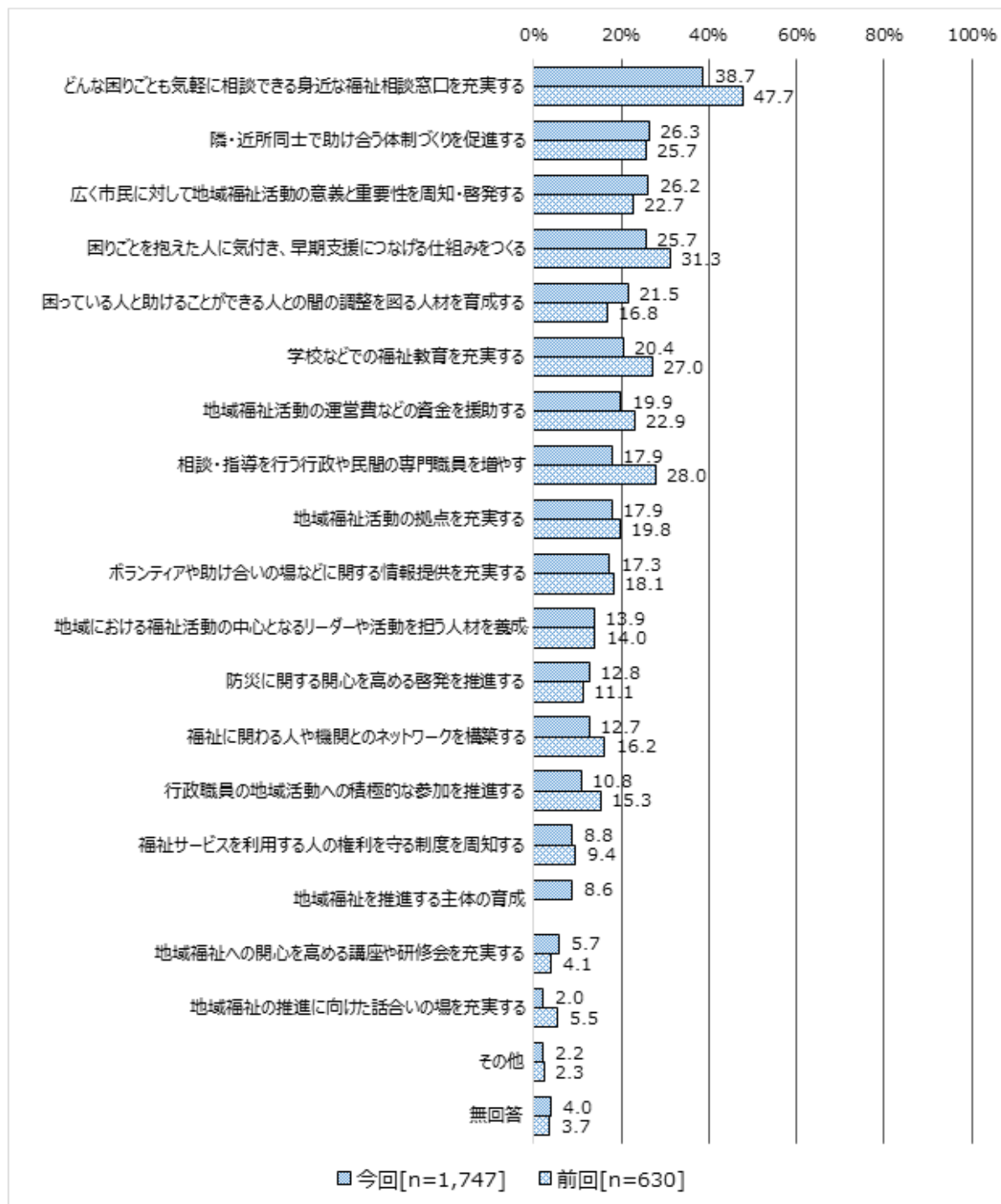
■ 事業所等による地域貢献活動の活性化に必要なこと（複数回答） ■



(14) 市が力を入れるべき福祉施策について

「東広島市」が力を入れるべきことは、「どんな困りごとにも気軽に相談できる身近な福祉相談窓口を充実する」が38.7%と最も高く、次いで「隣・近所同士で助け合う体制づくりを促進する」が26.3%、「広く市民に対して地域福祉活動の意義と重要性を周知・啓発する」が26.2%、「広く市民に対して地域福祉活動の意義と重要性を周知・啓発する」が26.2%となっています。

■「東広島市」が力を入れるべきこと（複数回答）■

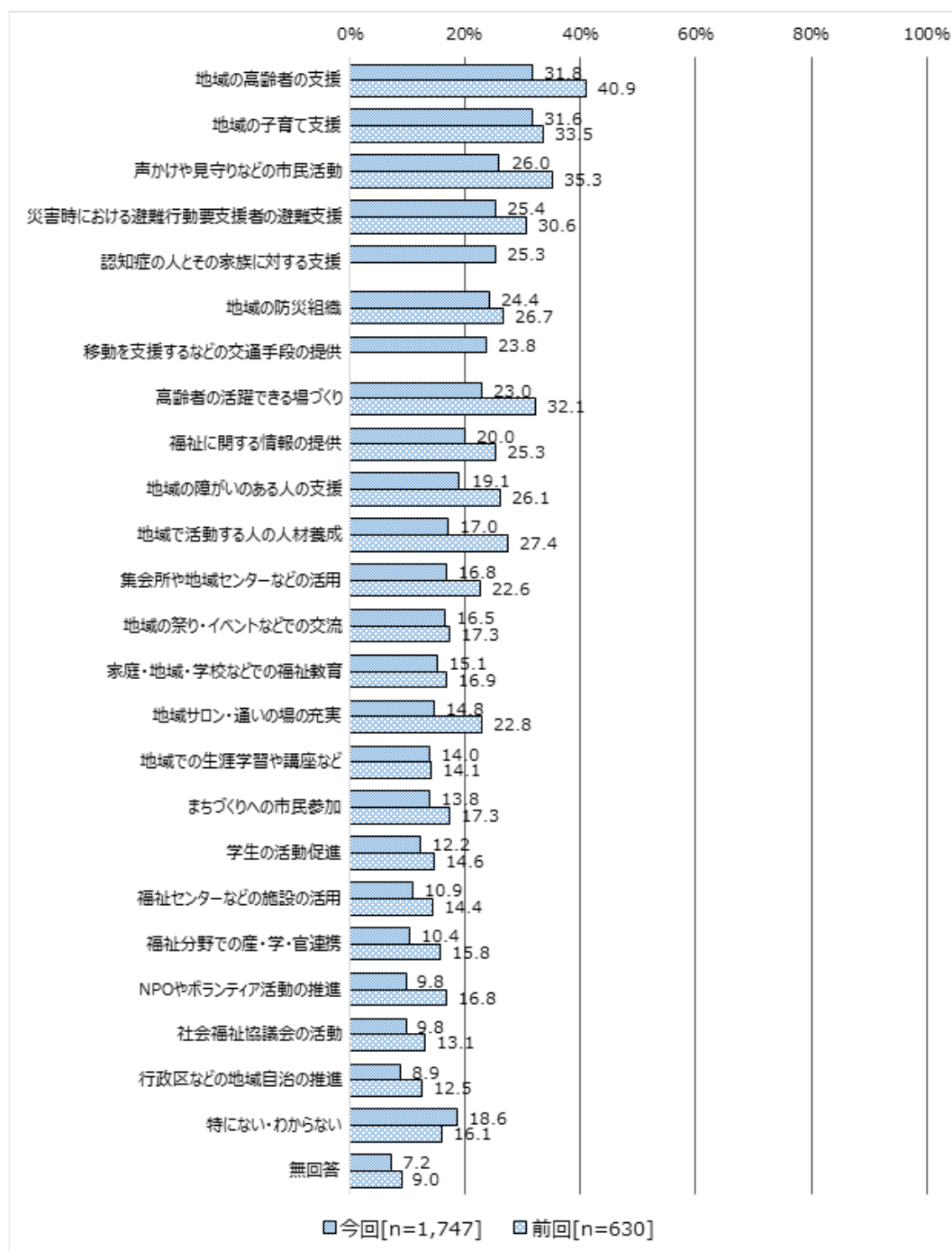


(15) 地域福祉を取り巻く関連施策の重要度

地域の福祉で今後、重要と思う取組みは、「地域の高齢者の支援」が31.8%、「地域の子育て支援」が31.6%とほぼ同じ割合となり、「声かけや見守りなどの市民活動」が26.0%となっています。

前回と比べて「地域の高齢者の支援」「声かけや見守りなどの市民活動」「高齢者の活躍できる場づくり」「地域で活動する人の人材養成」が特に低くなっています。

■ 今後、重要と思う取組み（複数回答） ■



3 日常生活圏域ごとの現状と課題

本市は、平成 17（2005）年の合併により広がった市域全体において、市としての一体感の醸成が進むとともに、各地域の特性を生かしたまちづくりを進めています。

こうした中、人口増加が続いている市の中心部や、過疎化・高齢化が進展している周辺部など、各日常生活圏域において人口動態や地域資源の状況が大きく異なることから、本計画では、各種アンケート調査や地域資源、地域懇談会等で頂いたご意見等を踏まえ、日常生活圏域ごとの現状と課題及び取組みの方向性をまとめました。

なお、本項では総論として記載することとし、日常生活圏域ごとの詳細な記載については第4章「施策の展開」に掲載しております。

（1）各日常生活圏域で抽出したデータ等

○地域の概要

- ・人口、世帯に関する基本情報
- ・圏域内総人口の推移
- ・高齢者の状況

○地域カルテ（地域活動・地域資源）

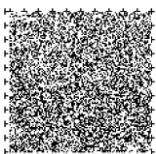
- ・地域資源の状況、子育て関係資源、保育施設等、教育関連施設、高齢者関連施設、障がい者関連施設、医療機関、防災関連施設、住民主体の支えあい活動

○住民から見た地域

- ・地域懇談会での意見など
- ・地域に関する課題と考えられるアンケート調査結果
- ・第 10 次東広島市高齢者福祉計画・第 9 期東広島市介護保険事業計画策定時に頂いた意見、調査結果

○各日常生活圏域の主な地域課題を踏まえた取組みの方向性

- ・課題
- ・取組みの方向性



(2) 地域別分析を踏まえた現状と課題（総論）

① 地域組織・団体

いずれの圏域においても、地域活動の担い手の育成・確保が課題となっています。

また、コロナ禍によりイベントや地域行事が減少したことにより、なかなか従前の実施状況に戻らないだけでなく、参加者なども減ってきているという声もありました。

一方で、住民主体による地域食堂・こども食堂や、こどもを含めて広い年代を対象とする居場所づくり活動も増えてきており、地域の重要なつながりの場となっています。

地域の貴重な活動の場を広げていくためにも、こうした活動を支援していくことが求められています。

② 地域交流・近所づきあい

いずれの圏域も、最も力を入れている活動は「つながりづくり」であり、あいさつ隊の結成や声かけ月間を設けるなど、圏域により様々な取組みが進んでいます。

また、サロン等の地域活動が様々な交流の場、地域の居場所となっている一方で、参加者の固定化や、男性の参加率が低いこと、交通手段の確保等が課題になっています。

現役世代にも地域活動に参加してもらいたい、という声が多くある一方で、現役世代からは、自分たちが活動できる場が少ない、という声もありました。

今後、地域活動や交流などに、より多様な属性が参加しやすい仕組みについて検討していく必要があります。

③ 高齢者支援

1人暮らしの高齢者が増えており、地域の困りごとを地域で解決し合う「支え合い活動・お助け活動」の促進も必要になっています。

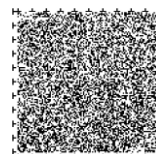
また、退職まで地域活動に関わらずに仕事をしていた人が、退職後、すぐに地域活動に参加することは難しいことから、現役時代から地域に関わることや、退職した高齢者が、地域活動に参加しやすくなる方法を検討することが求められています。

また、運転免許を返納する方もいることから、通院・買物等の移動について、地域特性やニーズに応じた交通網の形成が求められています。

④ こども・子育て支援

地域の子育てサロンなど、子育て世帯が気軽に集まることのできる場が求められる一方で、サロンなどのイベントがあっても、開催場所や開催時期を知らない、という声もあり、市民活動の効果的な広報が課題となっています。

また、子育て支援の必要性は多くの地域で重要と認識されている一方で、世代間交流の少なさが課題として挙がっているため、世代を超えた交流のきっかけづくり

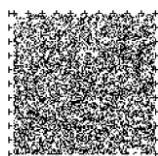


が必要となっています。

⑤ その他

外国人が比較的多く居住している地域では、外国人住民とのつながりを作る必要性を指摘する声が多くありました。

また、地域で困った時に、すぐに相談できる先があると良いという意見が多くの圏域でありました。「不登校や引きこもりの方の相談窓口が分からない」「学校として児童・生徒の変化に気づいたとき、相談に行ける先の情報があると良い」「孤立し、相談できる人がおらずあきらめている人が多く、事態が深刻化している」といった声です。市民にとって身近な相談窓口の設置や相談先の周知、気軽に相談できるような体制づくりなどが必要となっています。



4 前計画の振り返り

前計画では、当時の社会情勢とアンケート調査及び市民ワークショップの結果からみえた本市における地域福祉の現状を踏まえ、地域という視点から4つの基本目標を掲げ、施策を展開しました。それぞれの取組みについては、東広島市地域福祉推進協議会に状況を報告し、委員から意見を頂きながら計画の進捗管理を行いました。

基本目標1 地域の人づくり

- ✓ こどもから大人まで、あらゆる世代が助け合いや支え合いの心を培っていけるよう、家庭、地域、学校、職場等で各ライフステージを通じた福祉教育を行いました。
- ✓ 市民が地域福祉の必要性を認識し、学習する機会を提供するため、各種講座や講演会を開催するとともに、地域で活動できるきっかけづくりとしてボランティアの機会提供、また地域で活躍できる担い手の育成として人材の交流や情報共有の機会の提供などに取り組みました。

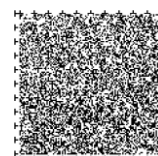
- こどもから大人まで福祉を学ぶ機会の創出については、概ね目標を達成していますが、参加者の固定化が見られるため、今後、新たな参加者を増やす工夫が必要となっています。
- 地域で活動できるきっかけづくりの推進については、活動の場への参加者の地域差や活動内容の認知に個人差があるため、より多くの市民への理解促進を図っていく必要があります。
- 地域で活躍できる担い手の育成については、引き続き課題となっていることから、今後も継続して取り組む必要があります。



【地域共生フォーラム】



【東広島熟年マイスター教育講座】



基本目標 2 地域のつながりづくり

- ✓ あらゆる世代の人が孤立せず人や社会とつながりを持つことができるよう、それぞれのニーズに合った居場所づくりに取り組みました。
- ✓ 身近な地域で日常的に支え合える関係づくりを進めるため、声かけ、見守り活動の推進や「そよかぜねっと事業」の広報活動などを行いました。
- ✓ 地域のつながり、助け合いによる避難支援の体制づくりを進め、災害後の被災者支援のためのボランティア活動の促進に取り組みました。

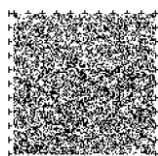
- 市民が参加できる様々な居場所づくりの推進については、男性の参加者が少ないことや、参加者の固定化が課題となっていることから、こうした課題を踏まえた取り組みが必要となっています。
- 日常的な地域の支え合いの支援については、地域差が見られるものの、概ね目標を達成しています。今後は、こうした取り組みの水平展開や、活動の継続性に関する取り組みが必要となります。
- 災害時の避難支援を通じた助け合いの促進については、地域と関係機関・団体との連携を強化していくことが必要となっています。



【高美が丘6丁目ニッコニコお助け隊】



【志和地域災害時連携会議】



基本目標 3 地域福祉活動を支える環境づくり

- ✓ 住民自治協議会による地域特性を生かした地域福祉活動が持続、発展するよう支援の充実に取り組みました。
- ✓ 社会福祉協議会をはじめ、NPO等の各種団体、民生委員児童委員等の育成や支援の充実に取り組みました。また、地域活動やボランティア活動に関する情報収集・提供に努めるとともに、団体間の交流、連携の充実に取り組みました。
- ✓ 福祉センターや地域センター等地域活動の拠点となる施設が、誰もが集い活動しやすくなるよう、施設の維持管理・利用促進に取り組みました。

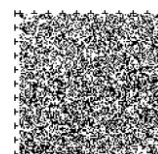
- 市民協働のまちづくりの推進については、地域の多様なニーズを踏まえつつ、継続して推進していく必要があります。また、活動内容について、多様な手段で発信していく必要があります。
- 市民活動の育成、支援については、概ね目標は達成していますが、他機関・他団体との連携の強化や情報共有をさらに充実させ、継続して支援を行う必要があります。
- 拠点づくりについては、概ね目標を達成しています。今後も施設の長寿命化対策に取り組み、計画的に維持管理を継続していく必要があります。



【ボランティア交流会】



【親子でカニカニ大調査】



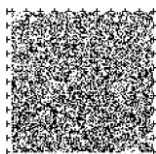
基本目標 4 必要とする人が必要な支援を受けられる仕組みづくり

- ✓ 必要とする人が必要な福祉サービスを受けることができるよう、利用者目線でのわかりやすい情報発信に努めました。また地域福祉に関わる様々な主体が、地域福祉に関する情報やそれぞれの活動状況を知ることができるよう広報の充実に取り組みました。
- ✓ 誰もが自立して地域で生活できるよう、様々な要因で生活困窮に陥っている方や陥る可能性のある方を早期に発見し、本人の意思を尊重しながらニーズにあった支援を行うなど、生活を支えるセーフティネットの充実に取り組みました。
- ✓ 高齢者世帯、障がい者世帯やこども子育て世帯等が地域において自分らしく活躍できるよう、高齢者、障がい者、こども等の福祉サービスの深化、充実に取り組みました。
- ✓ 高齢者や障がい者等、誰もが安全かつ安心して住み、活動することができるよう、移動手段の確保に努めるとともに、バリアフリーやユニバーサルデザインの推進に取り組みました。

- 福祉情報については、広報紙をはじめ、SNS やポータルサイトを活用して発信してきましたが、必要な情報が得にくいという声もあることから、世代に合った情報発信に努めていく必要があります。
- セーフティネットの充実については、概ね目標を達成していますが、どこに相談すればいいかわからないという声もあることから、引き続き利用しやすい相談支援体制の構築を図っていく必要があります。
- 福祉サービスの充実については、複雑化・複合化した課題を抱える世帯が増えており、包括的な支援に結びつけるため、関係機関との連携や相談支援体制を充実させていく必要があります。
- バリアのないまちづくりについては、概ね目標を達成していますが、高齢者の移動手段の確保など、さらなる取組みが必要となっています。



【東広島市地域共生ポータルサイト】



5 地域共生社会推進計画策定に際しての課題

本章で取り上げた「本市の状況」「アンケート調査の結果」「前計画の振り返り」のとりまとめ結果を踏まえ、本計画の策定に際し、考慮すべきと思われる主な課題は次のとおりです。

（１）地域課題を知り、地域活動などへの関心を高める機会の充実

アンケート調査では、「ほとんど（近所）付き合いがない」との回答が 17.1%となっており、特に 40 代までの若い世代や、中心市街地などにおいて高くなっています。また、地域に市内外から移住してきた人ほど付き合いが少ない傾向がみられ、近所付き合いが少ない人ほど、地域に愛着を感じていない傾向にありました。地域懇談会等においては、昔からその地域に住んでいる人と、新たに転入してきた世帯との交流がなく、つながりが希薄化している、という意見もありました。

一方で、多くの市民が住民相互の支え合いや助け合いが必要だと感じています。また、地域福祉を推進する担い手としての活動意向では、市民の約 40%が活動してみたいと回答していますが、是非活動してみたいという人は少なく、自分でできる範囲のことであれば活動してみたいという人がほとんどでした。

地域活動に関しては、30 代以下の傾向として、一緒に参加する人がいない、きっかけがないことが参加しない理由として高くなっており、また、20 代以下では活動があることや、その内容を知らないという回答が過半数を超えていました。

さらに、関心がある人でも支援の方法を知らない、相談先を知らないなどの実態があることも分かりました。

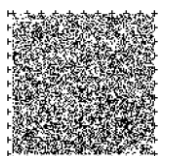
こうしたことから、まずは自分の住む地域の課題を知るとともに、地域活動、市民活動の意義、やりがい等の共有、また活動の内容や参加方法等について幅広く周知するなど、活動に対する市民の意識の醸成や、参加への第一歩を踏み出せるようなきっかけづくりが必要となっています。

（２）具体的なアクションにつながる取組みの強化

アンケート調査では、地域活動に興味・関心がある人でも、「実際に活動してみる」という第一歩を踏み出すことが難しいことが分かりました。そのため、市民活動について、立上げなど初期段階における支援が必要となっています。

また、活動にあたっては、地元企業や大学生、地域の児童生徒などとの協働も有効ですが、企業や学生等とつながるきっかけがないという声、また学生からも活動の場がわかれば手伝えるという声もあることから、こうした方々とのマッチングの促進が求められています。

一方で、地域住民による地域食堂・こども食堂の立上げや、地域での支え合い、お助け隊などの活動も増えてきています。地域懇談会を通じて、担い手や活動を継続する



ための資金の確保や他団体との連携などについての課題が多く寄せられ、活動が継続できるような支援や、活動団体同士の交流機会の確保などが求められています。

また、アンケート調査では、地域において日頃からの声かけや見守りが大切な取り組みであると認識されており、実際にこうした取り組みを進めている地域も数多くありました。

地域における緩やかな見守りや気かけあいは、災害時の対応や防犯にも有効であることから、こうした取り組みを促進し、これまで以上に「地域の福祉力」を高めていく必要があります。

（３）誰もが身近に相談でき、寄り添ってくれるような支援体制の確保・充実

アンケート調査では、困ったときの相談先は家族、友人が多数を占め、市の関係機関の窓口の割合が相対的に低くなっています。家族や友人に相談できること自体は良いことですが、様々な課題を抱える人が、市や関係機関、支援者等に気軽に相談できる体制づくりが必要となっています。

困ったときに相談しない理由としては、「相談しても意味がない」「他人に迷惑をかけたくない」などの回答も多く、こうしたあきらめ感から相談機関につながらず、つらさや困り感が解消されなかったり、地域からの孤立につながったりしています。そのため、身近に相談できるだけでなく、相談者に寄り添ってくれるような支援が必要になっています。

また、世帯において課題が複雑化・複合化している場合も少なくないため、こうした世帯の課題解決のため、各相談機関の連携体制の構築や、制度の狭間のない支援が求められています。

（４）市民一人ひとりの生活の質が高まるような各種制度の充実

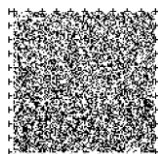
地域のつながりの希薄化や、核家族・単独世帯の増加等による家庭の力の低下などにより、これまで潜在化していた様々な地域課題や社会課題が顕在化してきています。

こうした課題に対しては、「地域の福祉力」を高めていくとともに、各種福祉サービスを充実させていくことも重要です。

また、近年は高齢者や障がい者など、住居の確保が困難になってきていることに加え、地域懇談会では、移動の困難さが社会参加の阻害要因となっているという意見もありました。

こうしたことを踏まえ、各種福祉サービスの充実にあたっては、既存の制度の充実・深化に加え、住居の確保や移動に困難を抱える方など、多様なニーズに応えていく必要があります。

また、こうしたまちづくりを支える道路や交通、公民館などの公共施設の維持管理、空き家の福祉的活用など、福祉の視点も取り入れた環境整備も必要です。



（５）あらゆる市民の権利擁護や、再チャレンジが可能な社会の構築

市民一人ひとりがいきいきと安心して暮らしていくためには、社会的弱者を含め、全ての市民の権利が守られなければなりません。そのため、権利擁護の支援体制の充実が必要です。

また、犯罪や非行をした人の多くが、事件への反省を踏まえて生活を立て直し、社会の健全な一員として暮らしていくことから、こうした人たちが再犯者とならないような支援が求められています。

